

# 令和 3 年度

## 男女平等・共同参画に関する区民意識調査報告

### 目 次

ページ

Ⅲ 令和 3 年度 男女平等・共同参画に関する区民意識調査報告・・・・・・ Ⅲ-1

資料 男女平等・共同参画に関する区民意識調査 調査票・・・・・・ Ⅲ-55

# 令和３年度 男女平等・共同参画に関する区民意識調査報告

## １ 調査の目的

この調査は、男女平等・共同参画に関する区民の意識を把握し、今後の関係施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

## ２ 調査の内容

- I 男女平等に関する意識と実態
- II ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
- III 人権の尊重
- IV 区の男女平等・共同参画施策

## ３ 調査方法と回収状況

- (１) 調査地域 目黒区全域
- (２) 調査対象 目黒区在住の 18 歳以上の個人
- (３) 対象者数 2,500 人（女性 1,250 人、男性 1,250 人）
- (４) 抽出方法 住民基本台帳を基に男女別に無作為抽出
- (５) 調査方法 郵送配布－郵送回収
- (６) 調査期間 令和３年 4 月 27 日（調査票発送）～令和３年 5 月 31 日（返送締切）
- (７) 調査実施機関 目黒区総務部人権政策課
- (８) 回収状況

	標本数	有効回収数	有効回収率
総 数	2,500	1,118	44.7%
女 性	1,250	621	49.7%
男 性	1,250	497	39.8%

### 【参考】令和元年度 男女平等・共同参画に関する意識調査報告

#### ○調査方法と回収状況

- (１) 調査地域 目黒区全域
- (２) 調査対象 目黒区在住の 18 歳以上の個人
- (３) 対象者数 2,500 人（女性 1,250 人、男性 1,250 人）
- (４) 抽出方法 住民基本台帳を基に層化無作為抽出
- (５) 調査方法 郵送配布－郵送回収
- (６) 調査期間 平成 31 年 4 月 26 日（調査票発送）～令和元 5 月 31 日（返送締切）
- (７) 調査実施機関 目黒区総務部人権政策課
- (８) 回収状況

	標本数	有効回収数	有効回収率
総 数	2,500	772	30.9%
女 性	1,250	438	35.0%
男 性	1,250	334	26.7%

## 4 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（n）を基礎とした百分率（％）で表示した。
- (2) 百分率は、小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合には、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- (4) 信頼度を 95%とした場合、標本誤差は下式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

{

N = 母集団数

n = 比率算出の基数（回答者数）

P = 回答の比率

母集団数（令和 3 年 4 月 1 日現在の目黒区の 18 歳以上の人口）は 244,500 人

今回の調査結果の標本誤差は以下のとおり。

回答比率 (P) n	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
1,118	±1.8	±2.4	±2.7	±2.9	±3.0
900	±2.0	±2.7	±3.0	±3.3	±3.3
700	±2.3	±3.0	±3.5	±3.7	±3.8
500	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
300	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
100	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0

### 【表の見方】

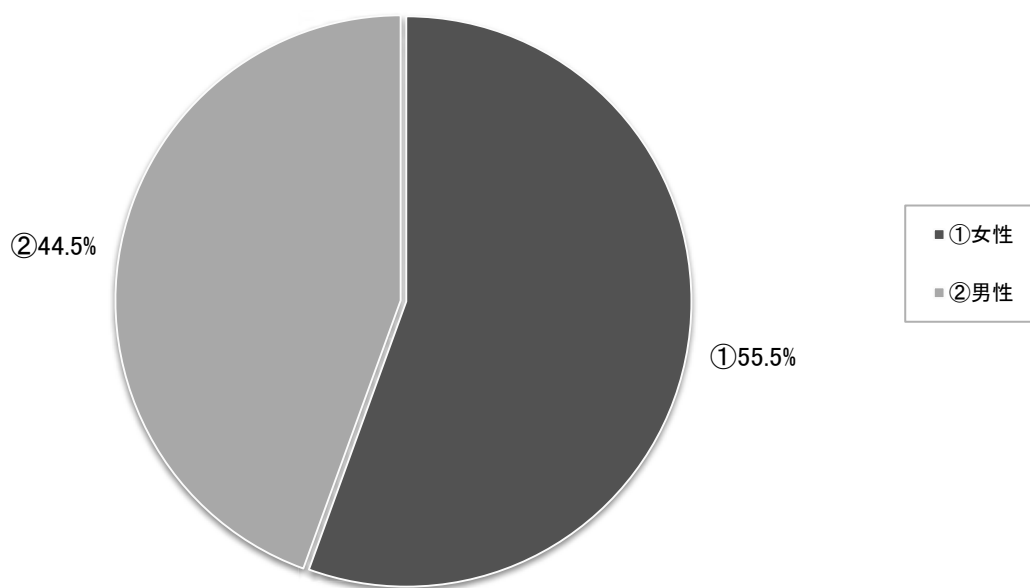
たとえば、ある設問に「そう思う」と回答した人が全体（n=1,118）の 20.0%であった場合、上記表の回答比率にあてはめると、20%程度の標本誤差は±2.4%であるため、「そう思う」と考えている人は、標本誤差を補正すると、17.6%から 22.4%の間にあることが、95%の信頼度でいえることとなります。

## (5) コメント掲載基準

- ア 性別により回答に大きく偏りがあるものについてコメントしている。
- イ 令和元年度の調査と比較可能な設問については、令和元年度の結果と比べて変化の大きいものについてコメントしている。（標本誤差の範囲内のものについてはコメントしていない。）
- ウ 区の施策への要望等については、要望の多い項目を記載している。（問 5・7・9・11・18・19）

【 回答者のプロフィール 】

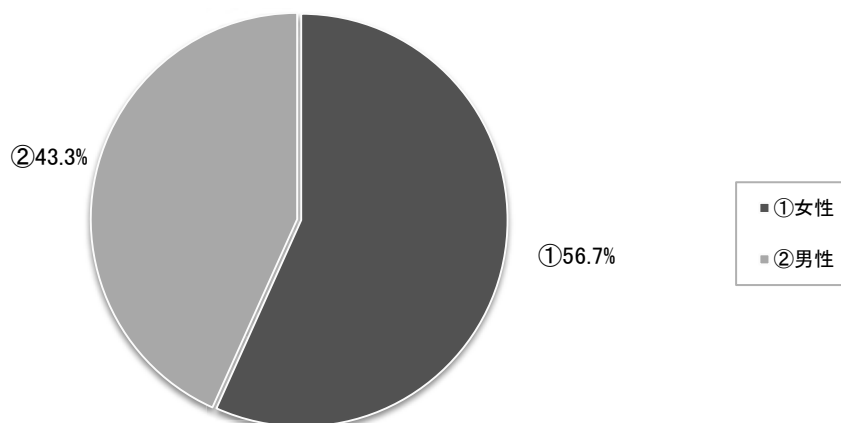
F 1 あなたの性別はどちらですか。



全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

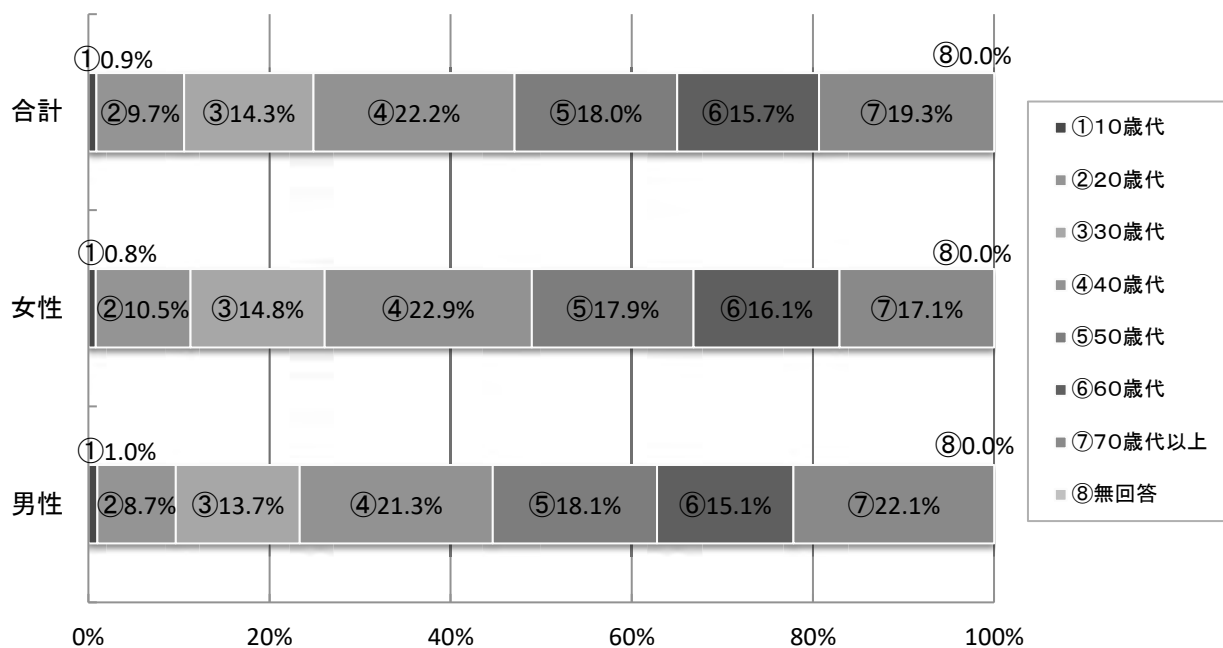
■ 令和元年度調査

F 1 あなたの性別はどちらですか。



全体 N= 772 女性 N= 438 男性 N= 334

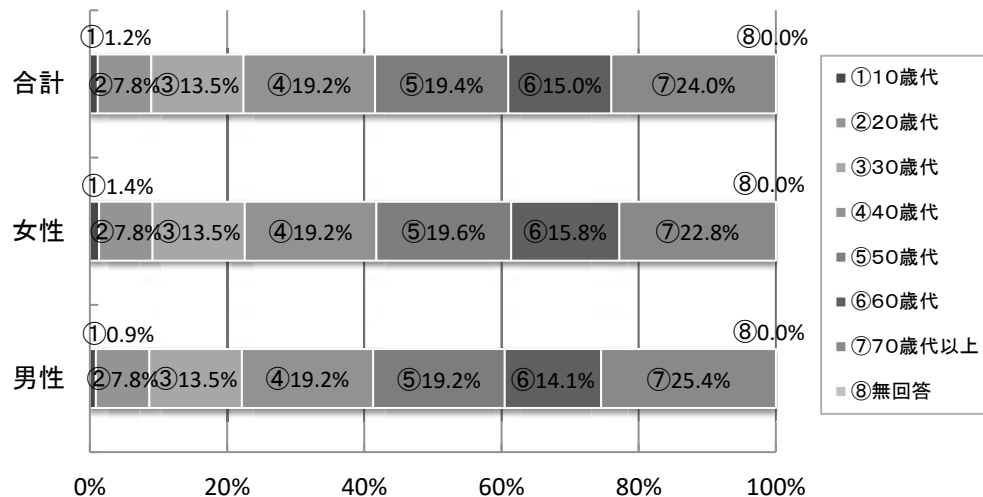
**F 2 あなたの年齢は次のどれですか。**



全体 N = 1118    女性 N = 621    男性 N = 497

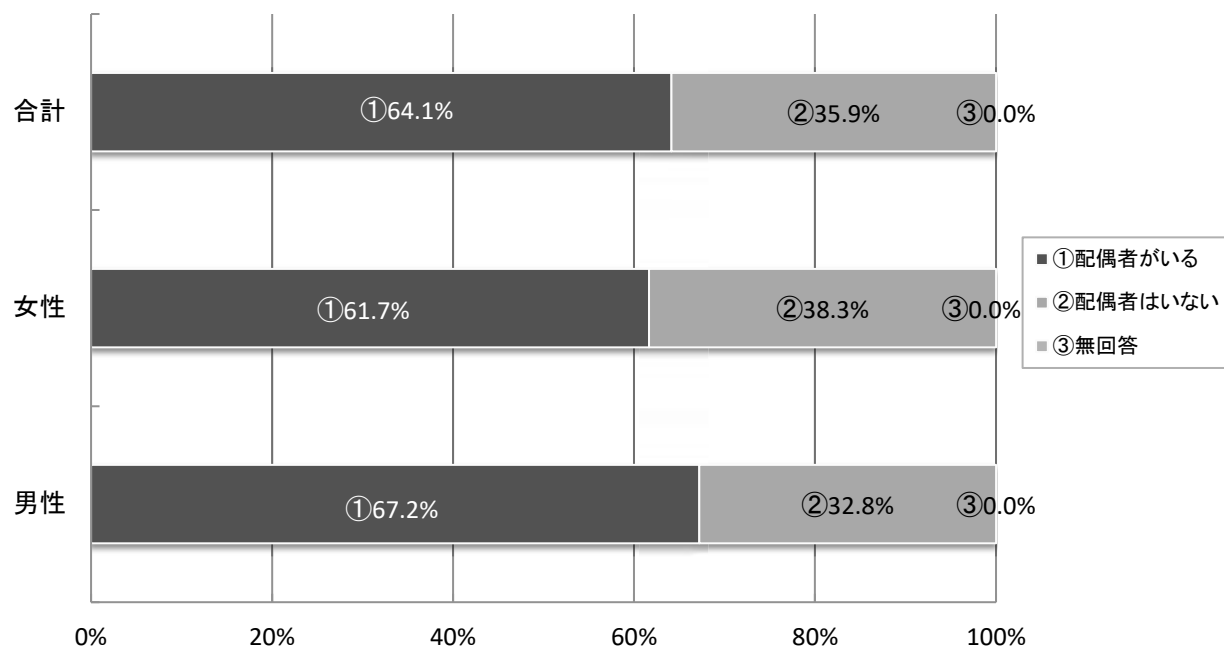
■ 令和元年度調査

**F 2 あなたの年齢は次のどれですか。**



全体 N = 772    女性 N = 438    男性 N = 334

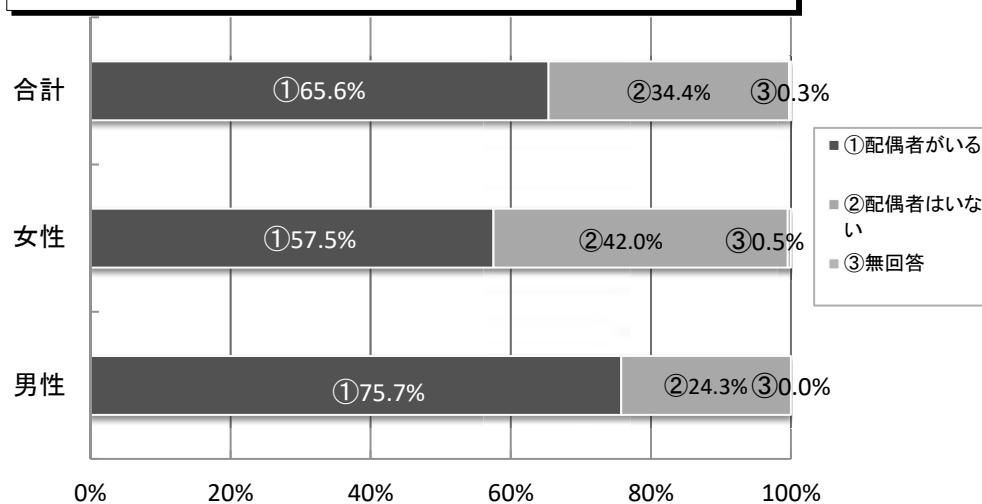
**F 3 あなたに配偶者（事実婚のパートナーを含む。）はいらっしゃいますか。**



全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

■ 令和元年度調査

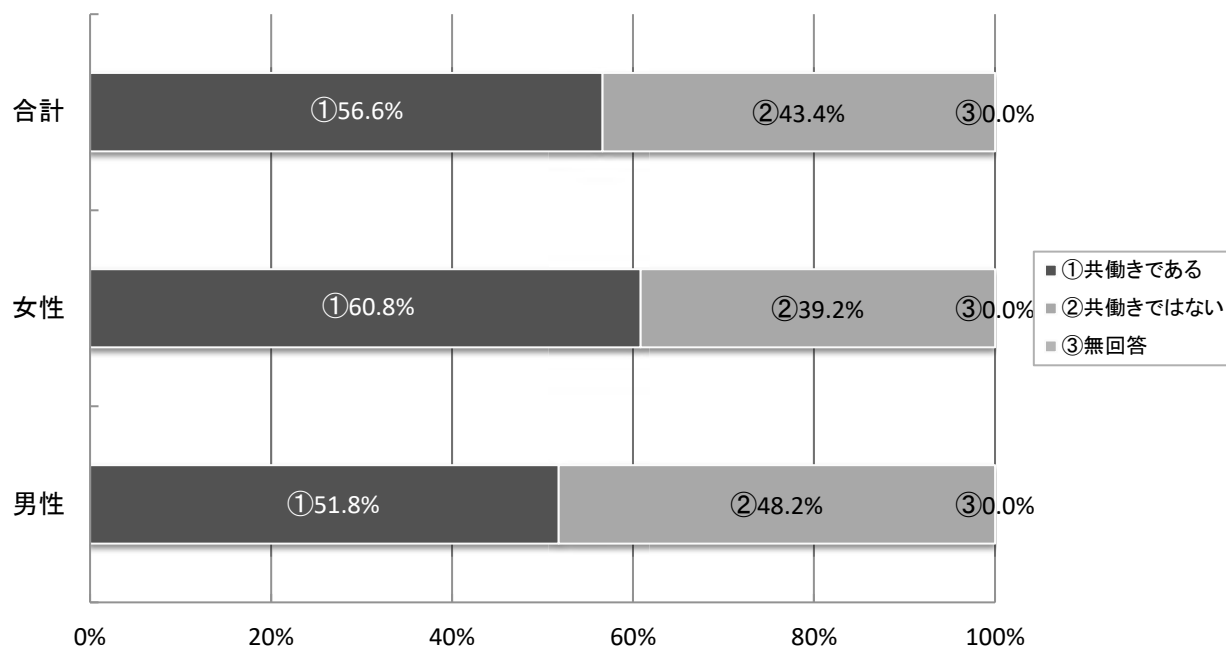
**F 3 あなたに配偶者（事実婚のパートナーを含む。）はいらっしゃいますか。**



全体 N=772 女性 N=438 男性 N=334

F3で配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいると回答があった中で

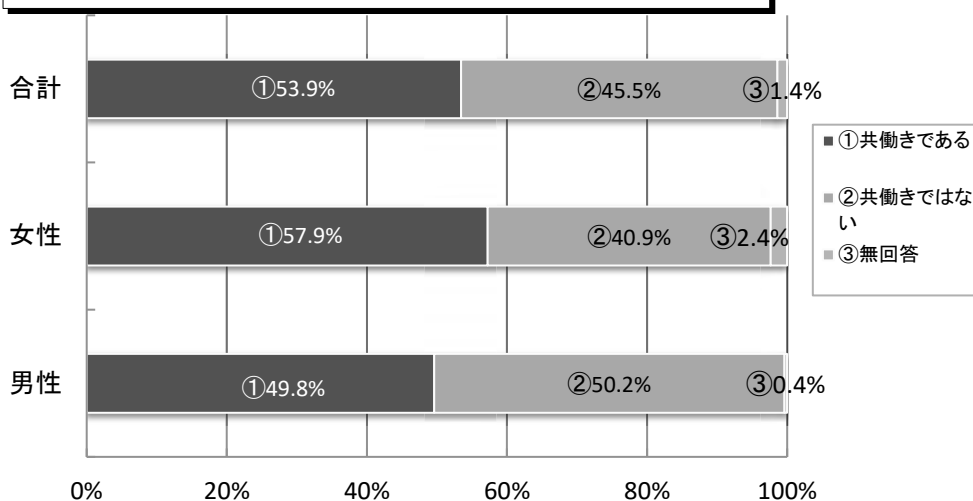
**F3-1 あなたの世帯は共働き（パート・アルバイトを含む。）ですか。**



全体 N = 717    女性 N = 383    男性 N = 334

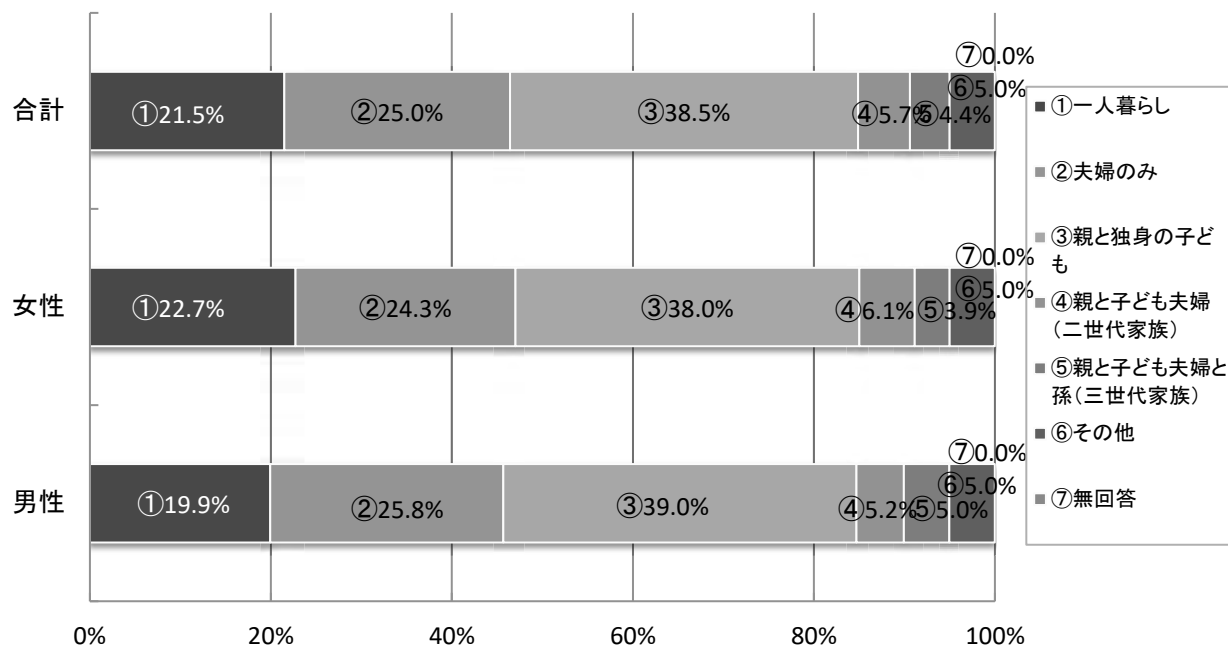
■ 令和元年度調査

**F3-1 あなたの世帯は共働き（パート・アルバイトを含む。）ですか。**



全体 N = 509    女性 N = 255    男性 N = 254

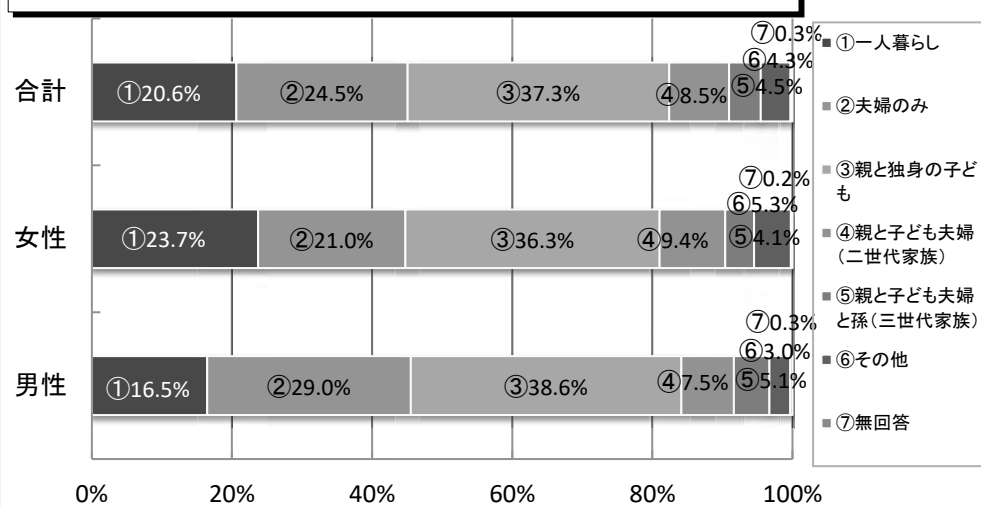
**F 4 あなたの世帯の構成は、次のどれに該当しますか。ご自身の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。**



全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

■ 令和元年度調査

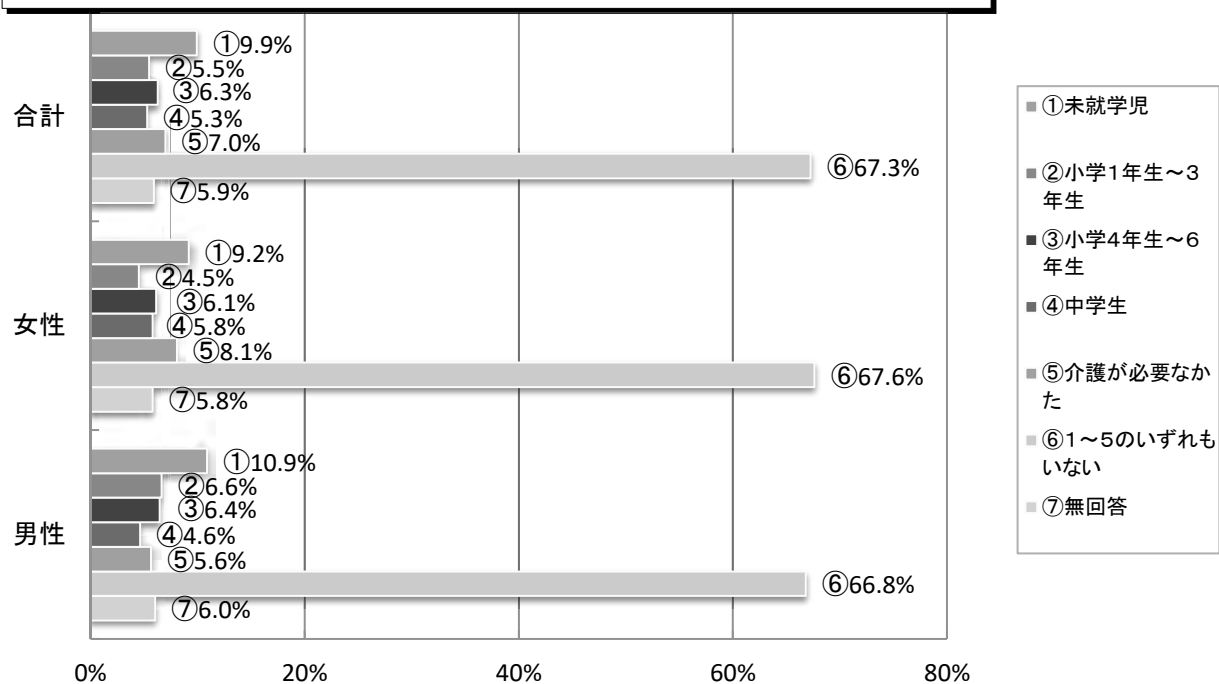
**F 4 あなたの世帯の構成は、次のどれに該当しますか。ご自身の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。**



全体 N=772 女性 N=438 男性 N=334



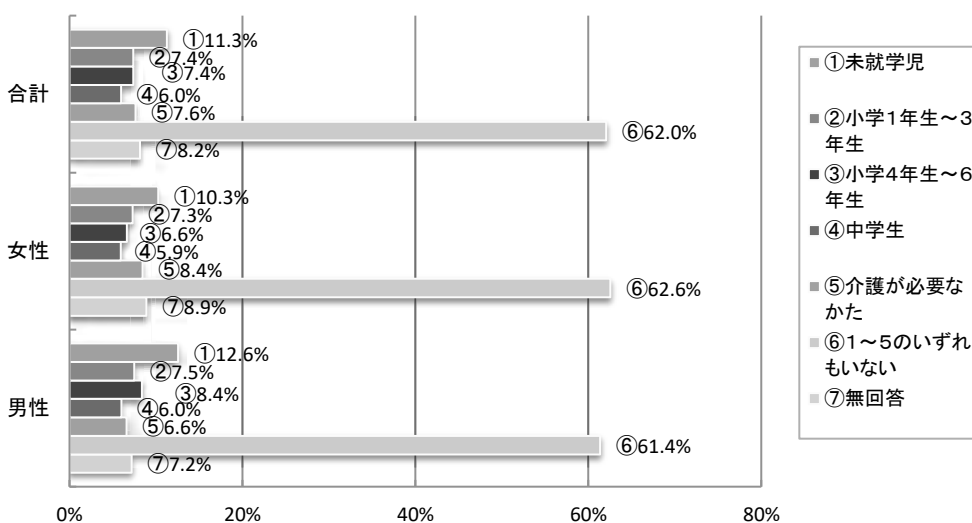
**F 5 あなたの家庭には、次に該当するかがいらっしゃいますか。（○は該当するものすべて）**



全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

■ 令和元年度調査

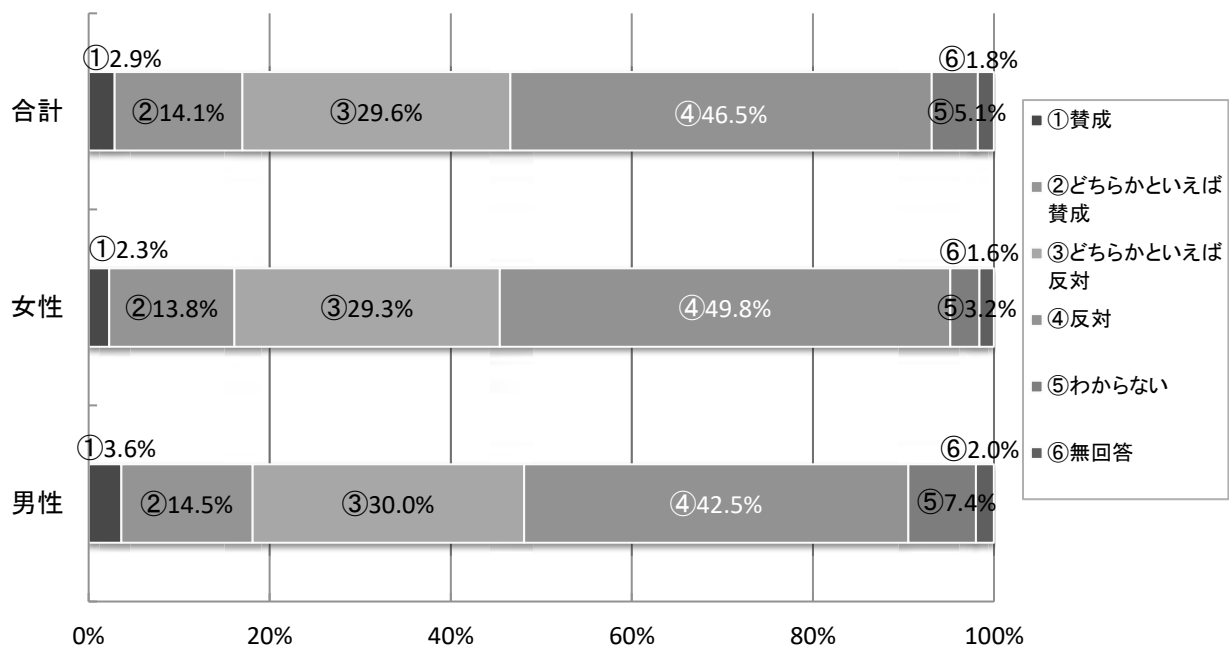
**F 5 あなたの家庭には、次に該当するかがいらっしゃいますか。（○は該当するものすべて）**



全体 N= 772 女性 N= 438 男性 N= 334

## 【 I 男女平等に関する意識と実態 】

問1 男女には社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

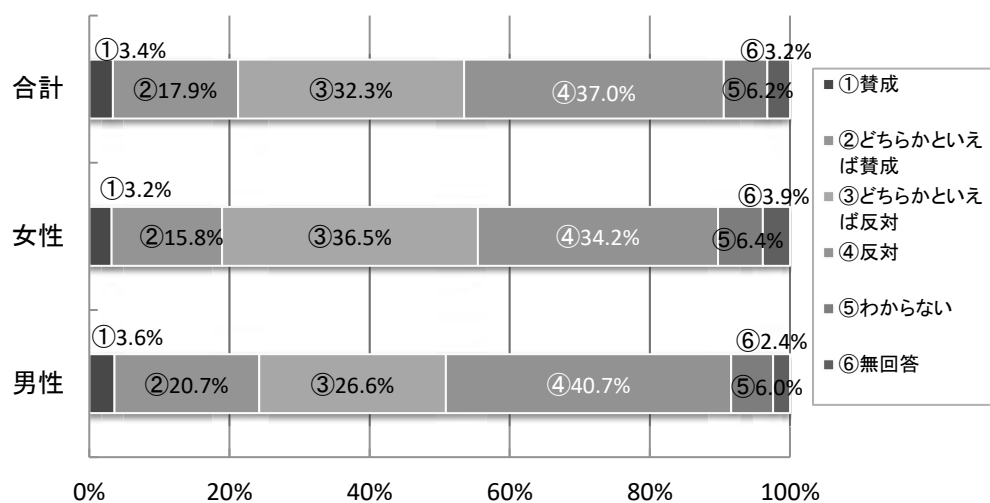


全体 N = 1118 女性 N = 621 男性 N = 497

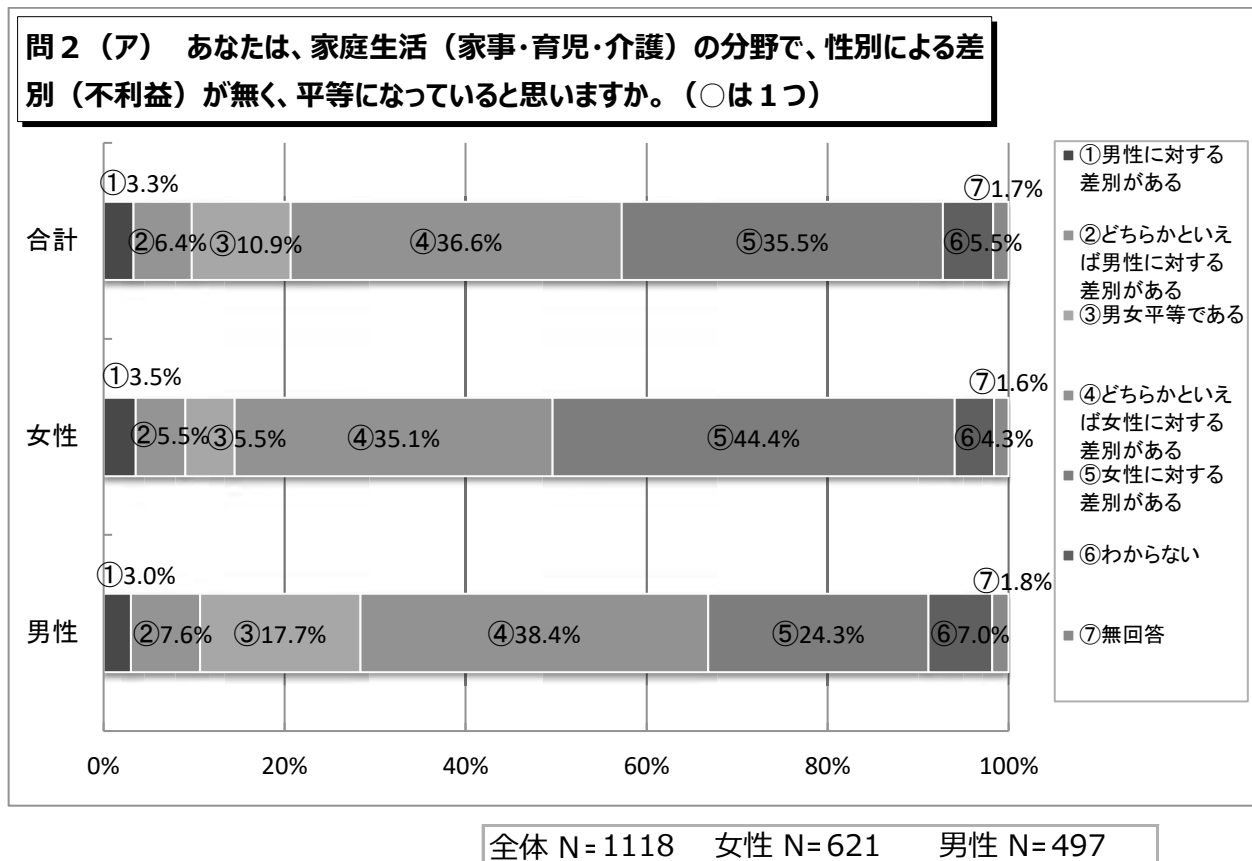
■男女には社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方に「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人は全体で17.0%、「どちらかといえば反対」「反対」は76.1%となった。

## ■ 令和元年度調査

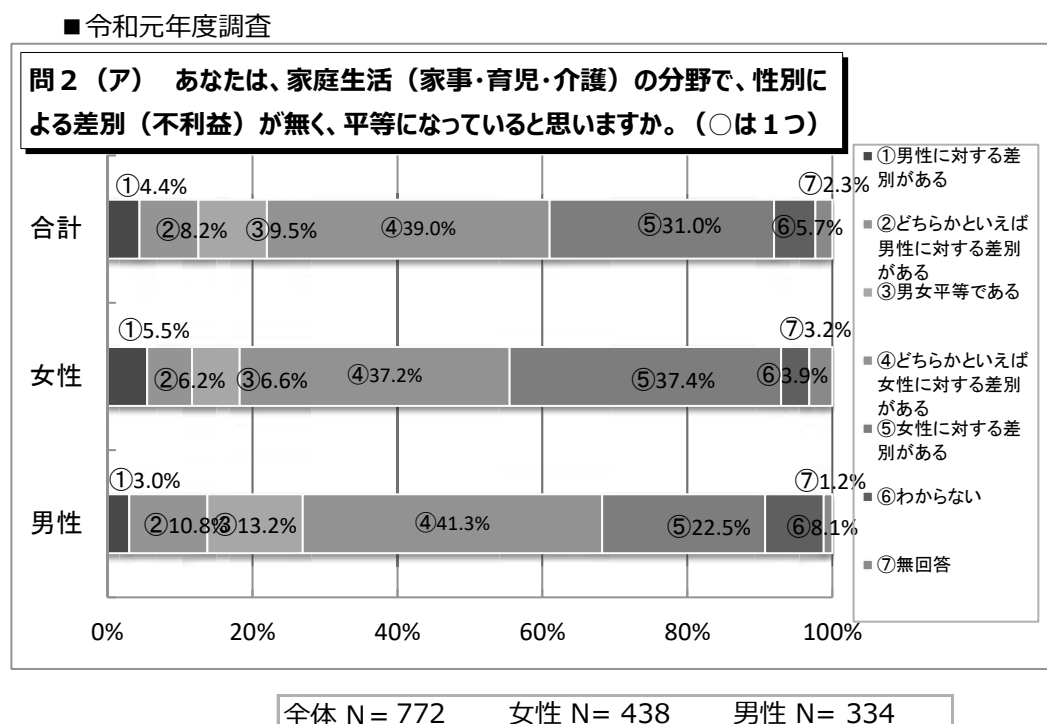
問1 男女には社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）



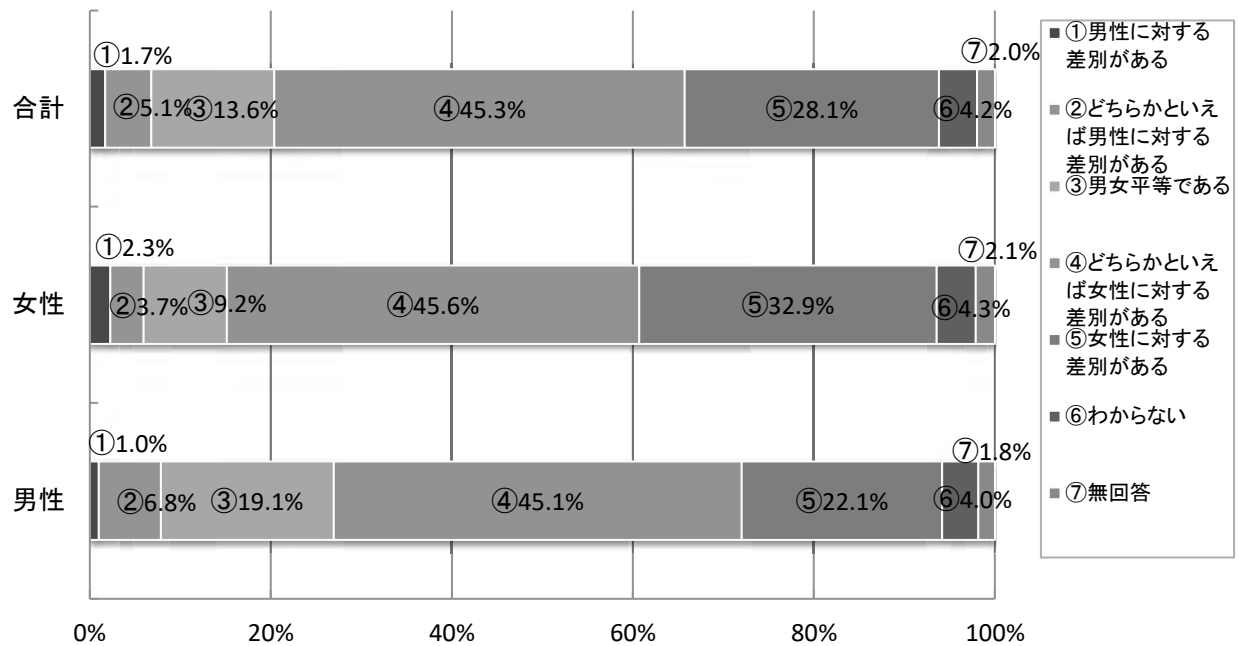
全体 N = 772 女性 N = 438 男性 N = 334



■ 家庭生活の分野について、「男女平等である」と回答した人は、女性が5.5%、男性が17.7%で、男女差がある。また、「女性に対する差別がある」と回答した人は、女性が44.4%、男性が24.3%で、男女差がある。



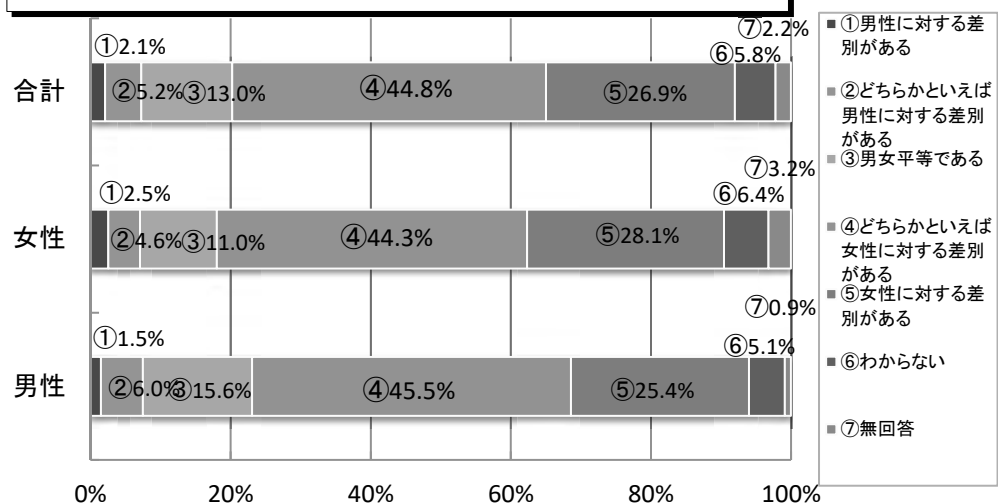
**問 2 (イ) 労働・雇用・職場で、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は1つ）**



全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

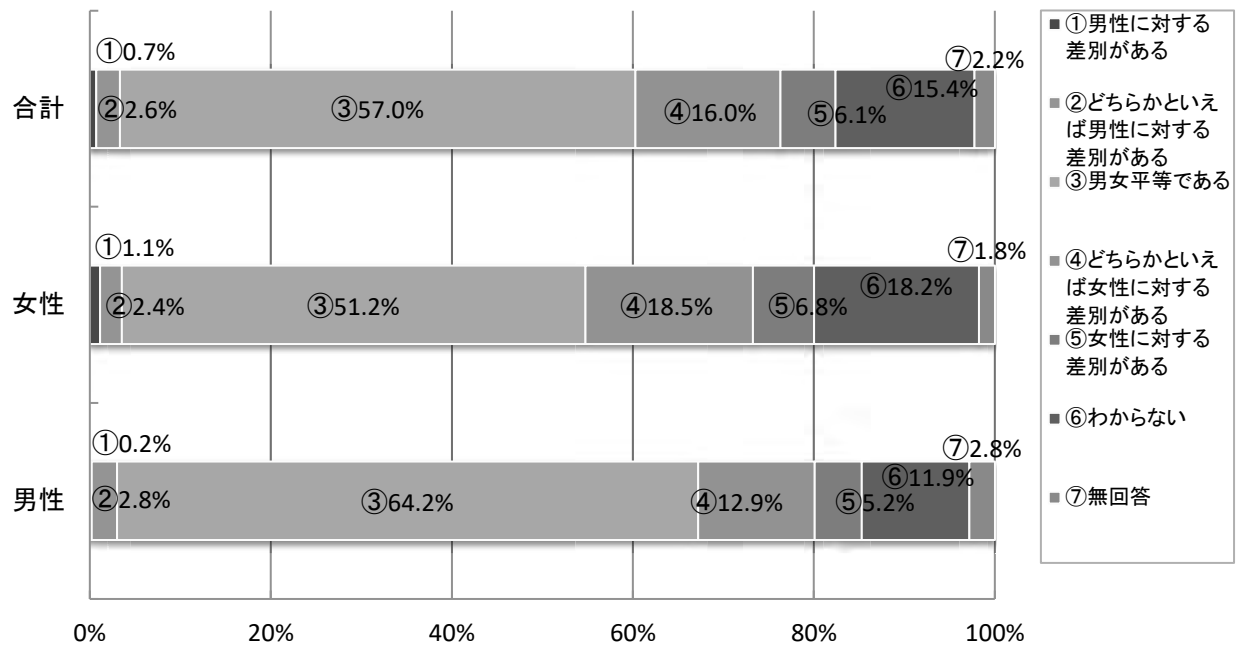
■ 令和元年度調査

**問 2 (イ) 労働・雇用・職場で、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は1つ）**



全体 N=772 女性 N=438 男性 N=334

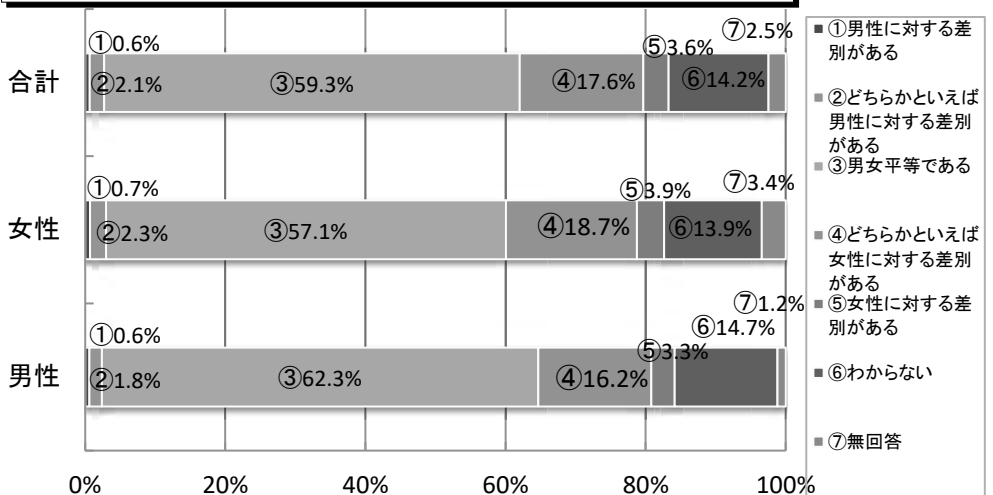
問 2 (ウ) 学校教育について、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は 1 つ）



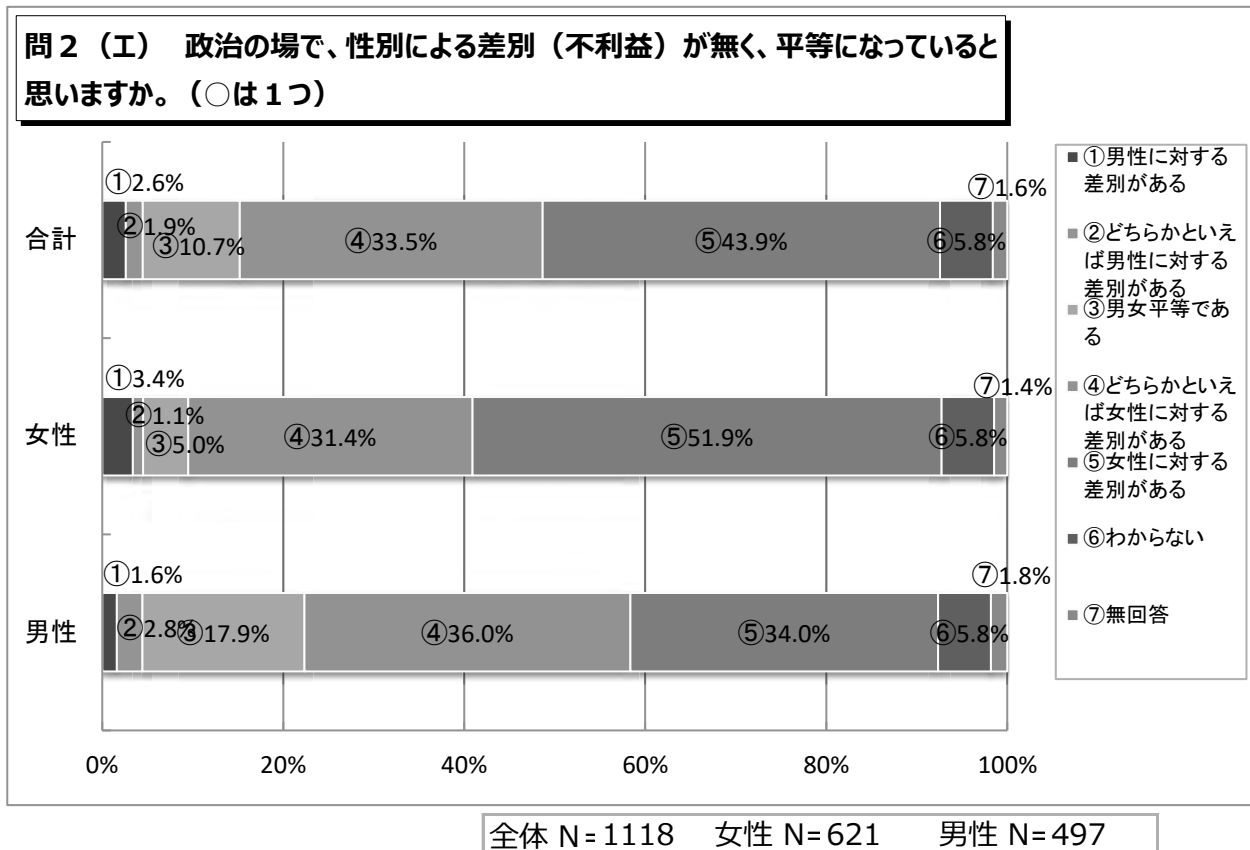
全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

■ 令和元年度調査

問 2 (ウ) 学校教育について、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は 1 つ）

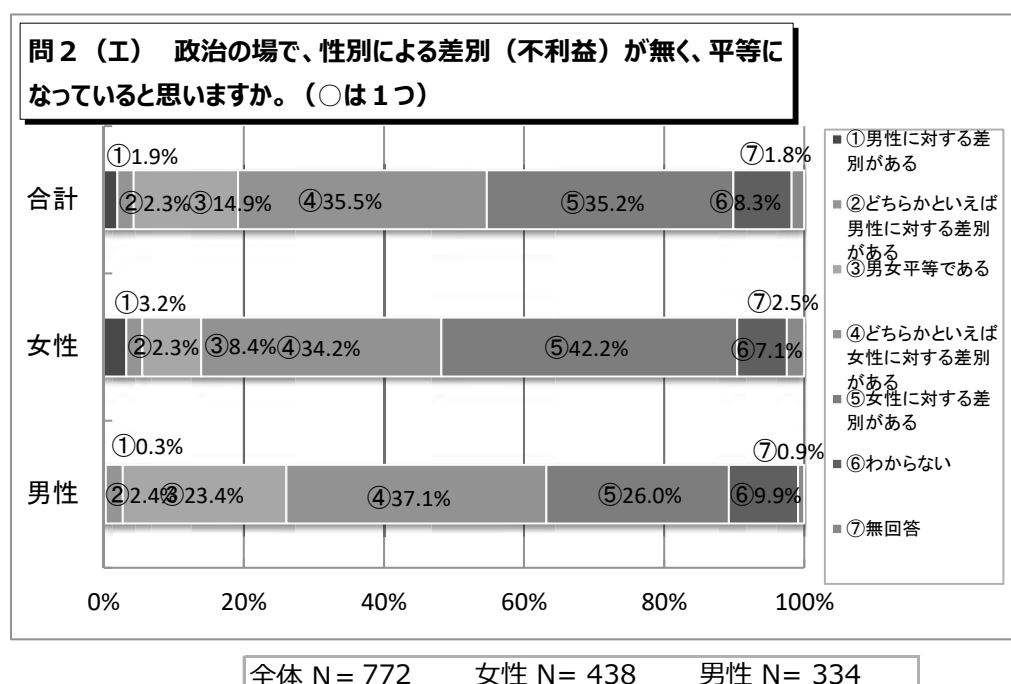


全体 N=772 女性 N=438 男性 N=334

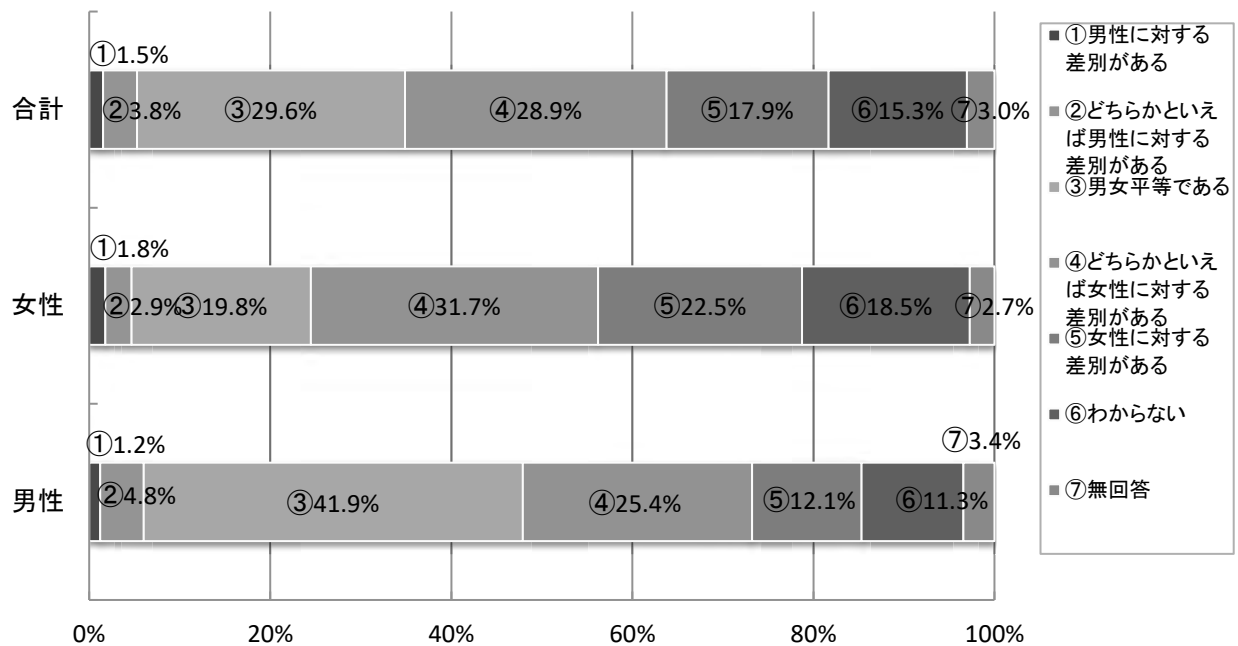


■政治の場について、「男女平等である」と回答した人は、女性が5.0%、男性が17.9%で、男女差がある。また、「女性に対する差別がある」と回答した人は、女性が51.9%、男性は34.0%で、男女差がある。

#### ■令和元年度調査



**問 2 (オ) 法律・制度で、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は 1 つ）**

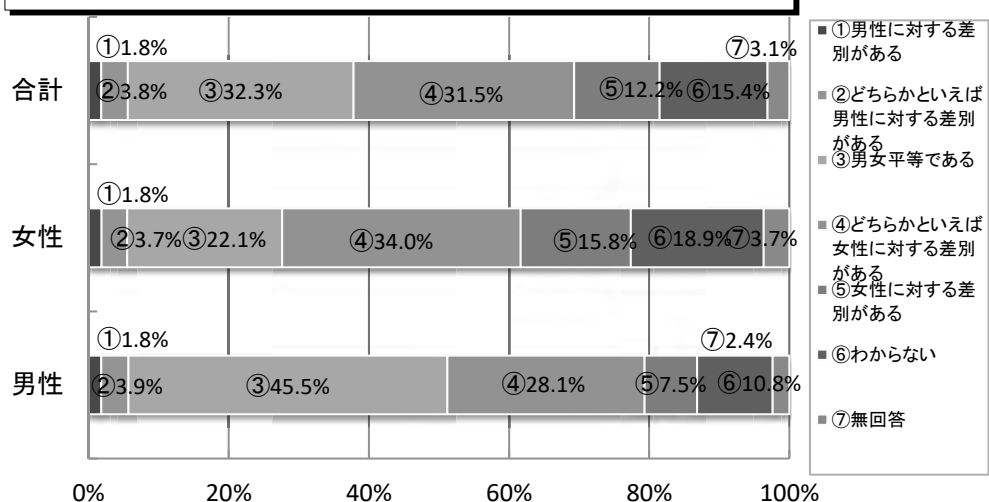


全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

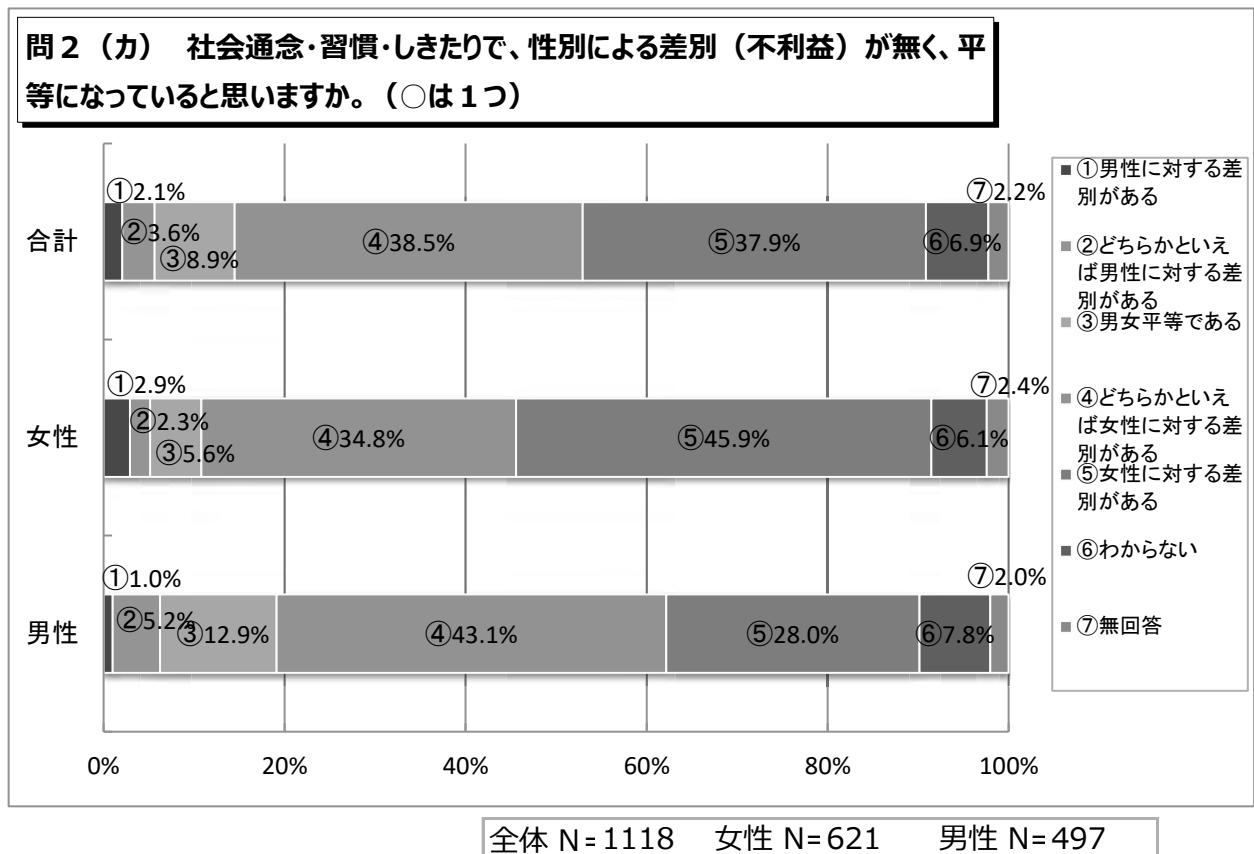
■ 法律・制度について、「男女平等である」と回答した人は、女性が19.8%、男性が41.9%で、男女差がある。

■ 令和元年度調査

**問 2 (オ) 法律・制度で、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は 1 つ）**

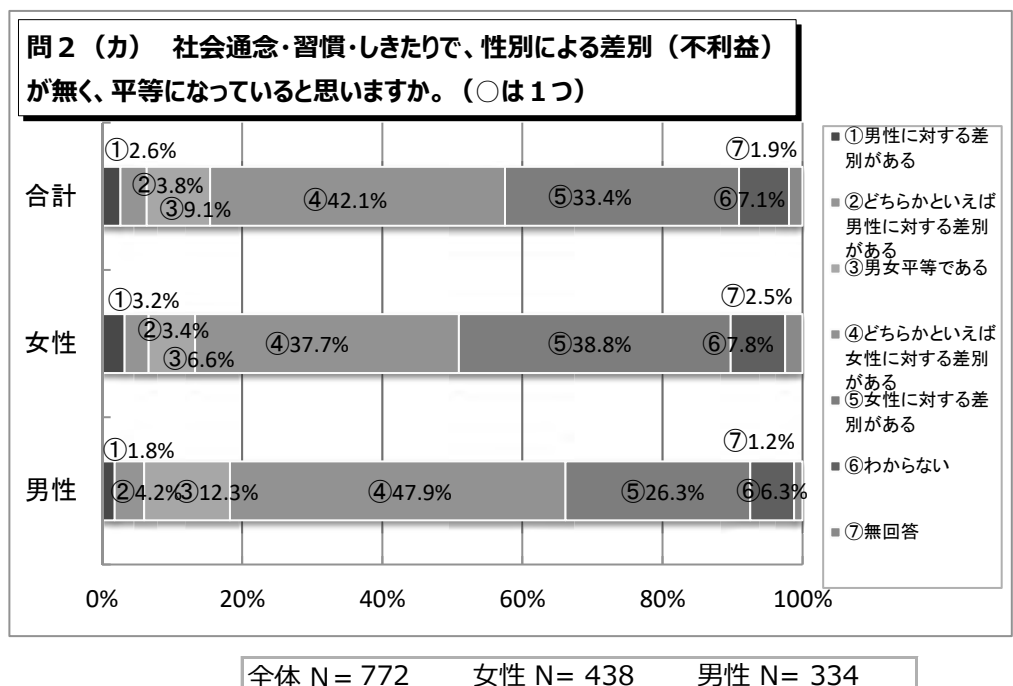


全体 N=772 女性 N=438 男性 N=334



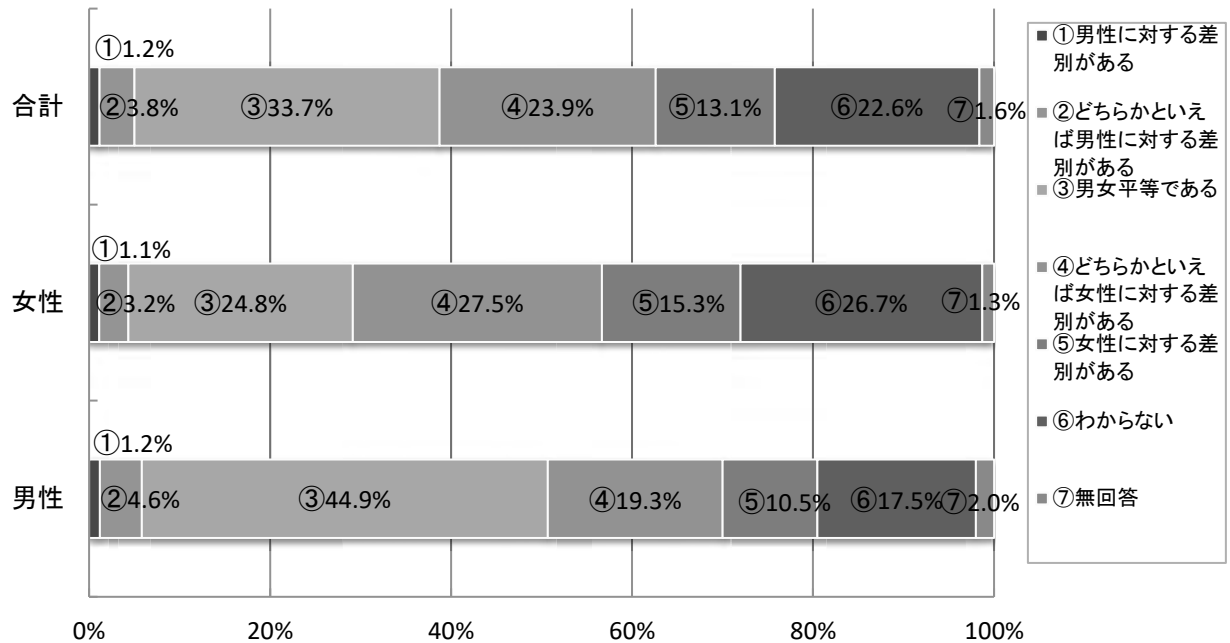
■社会通念・習慣・しきたりについて、「どちらかといえば女性に対する差別がある」「女性に対する差別がある」と回答した人は、全体で76.4%となり、高い割合である。

#### ■令和元年度調査





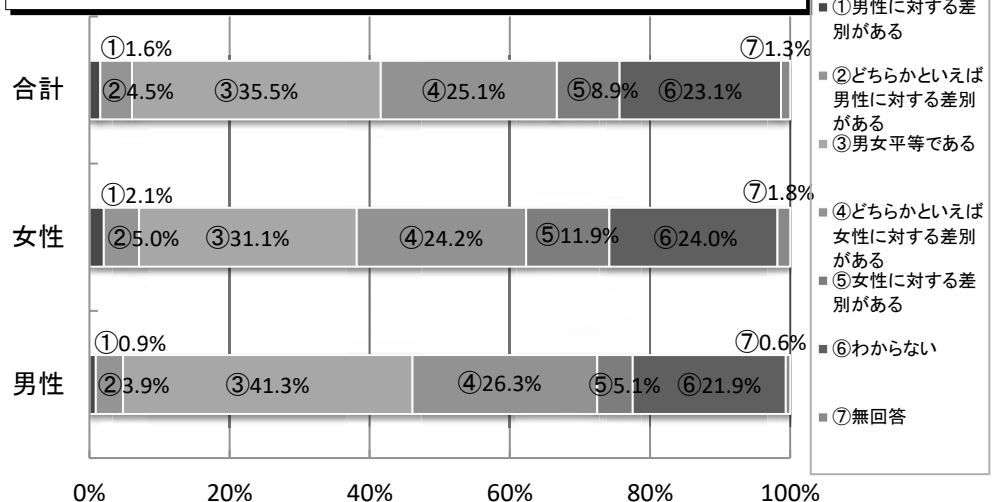
問 2 (キ) 地域の活動や行事で、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は 1 つ）



全体 N = 1118 女性 N = 621 男性 N = 497

■ 令和元年度調査

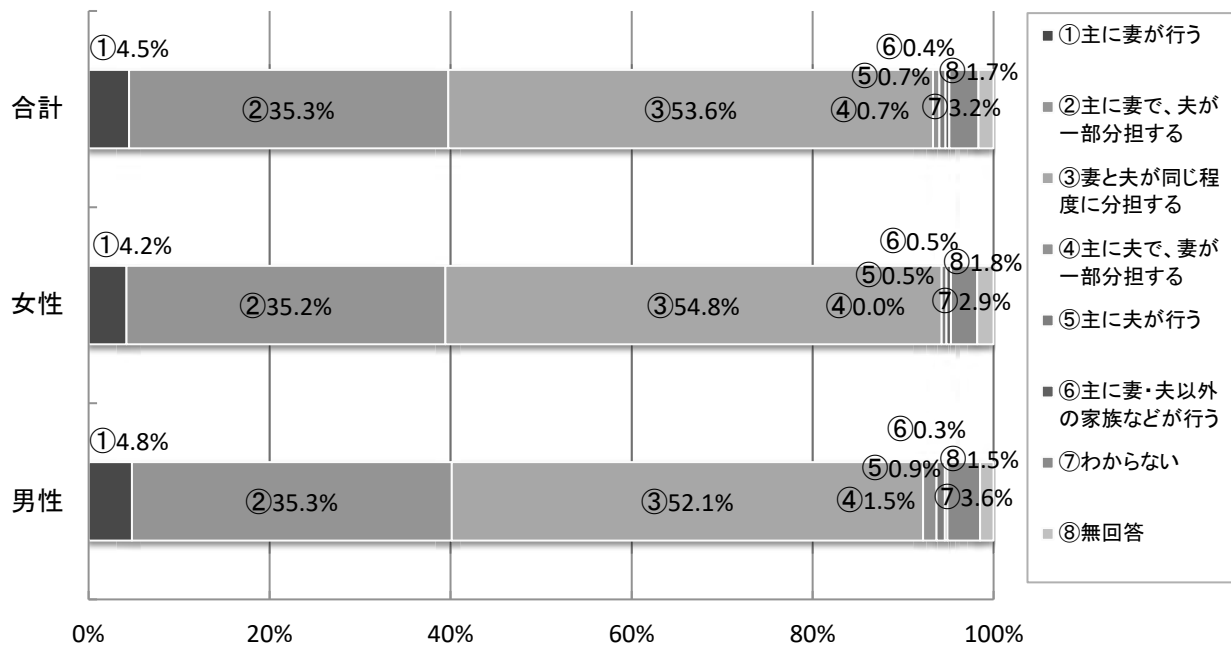
問 2 (キ) 地域の活動や行事で、性別による差別（不利益）が無く、平等になっていると思いますか。（○は 1 つ）



全体 N = 772 女性 N = 438 男性 N = 334

配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ

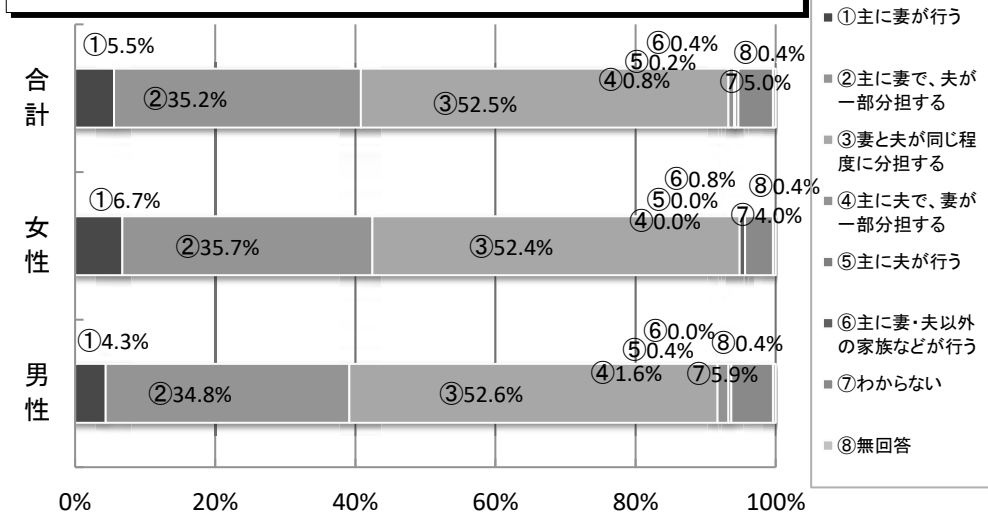
**問3（ア） あなたは、炊事・洗濯・掃除などの家事を家庭の中でどのように分担することが望ましいと思いますか。（○は1つ）**



全体 N = 717 女性 N = 383 男性 N = 334

■ 令和元年度調査

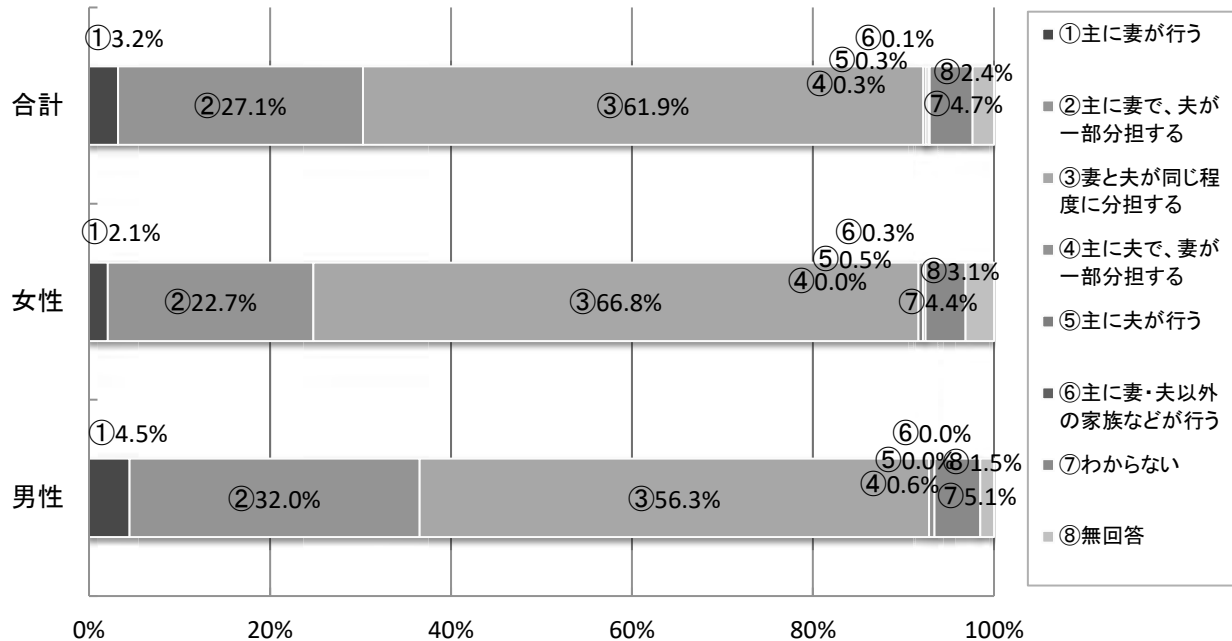
**問3（ア） あなたは、炊事・洗濯・掃除などの家事を家庭の中でどのように分担することが望ましいと思いますか。（○は1つ）**



全体 N = 505 女性 N = 252 男性 N = 253

配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ

問3（イ） あなたは、育児を家庭の中でどのように分担することが望ましいと思いますか。（○は1つ）

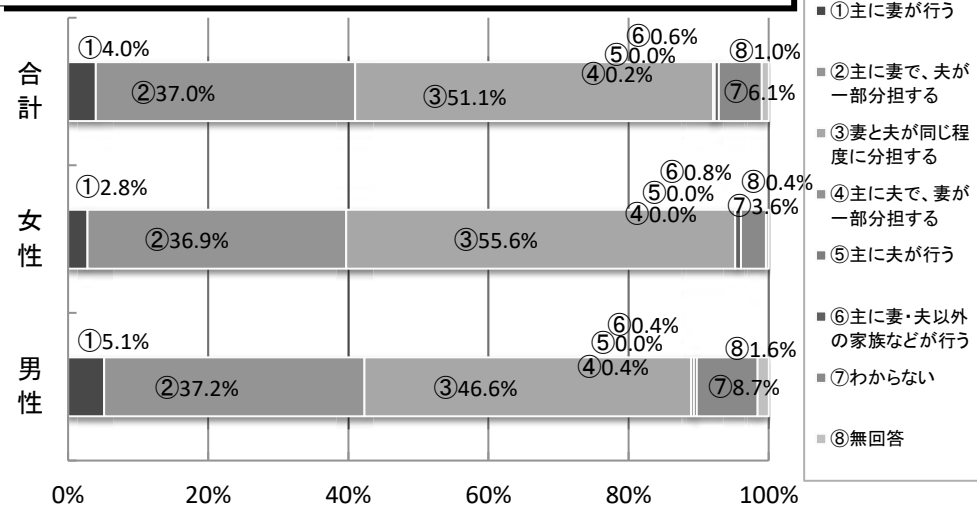


全体 N = 717 女性 N = 383 男性 N = 334

■ 家庭の中の育児について、望ましい分担のあり方を「妻と夫が同じ程度に分担する」と回答した人は全体で61.9%で、前回の調査と比較して女性、男性ともに割合が高くなっている。

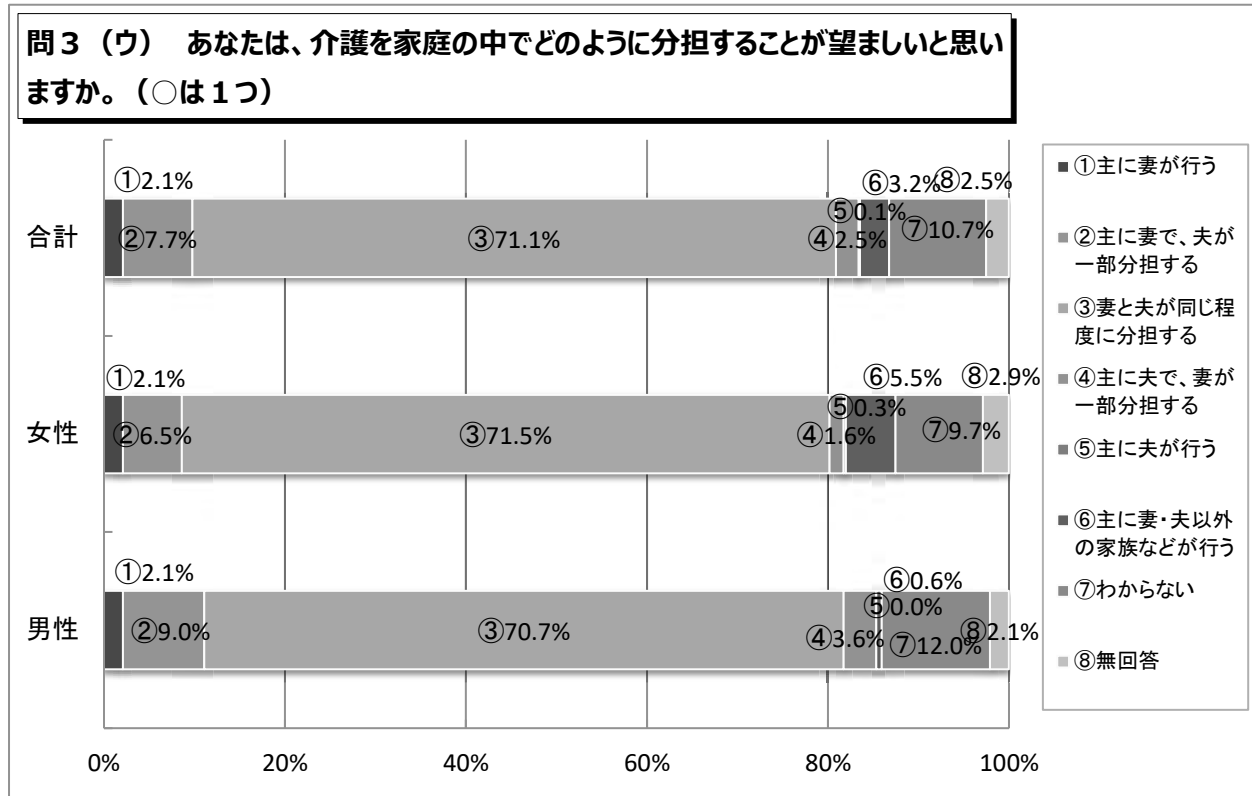
#### ■ 令和元年度調査

問3（イ） あなたは、育児を家庭の中でどのように分担することが望ましいと思いますか。（○は1つ）



全体 N = 505 女性 N = 252 男性 N = 253

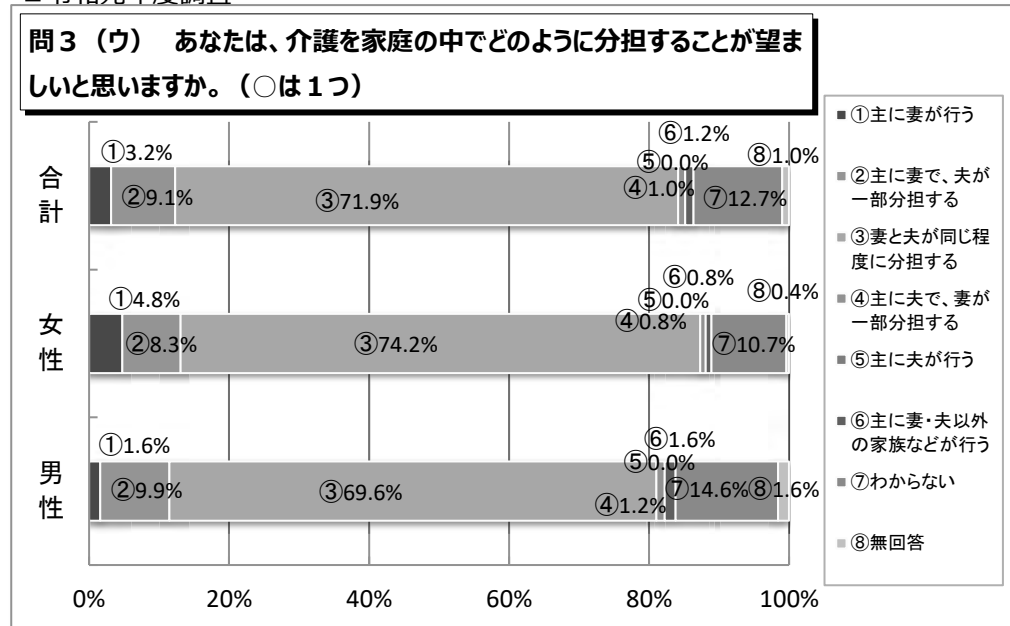
配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ



全体 N = 717    女性 N = 383    男性 N = 334

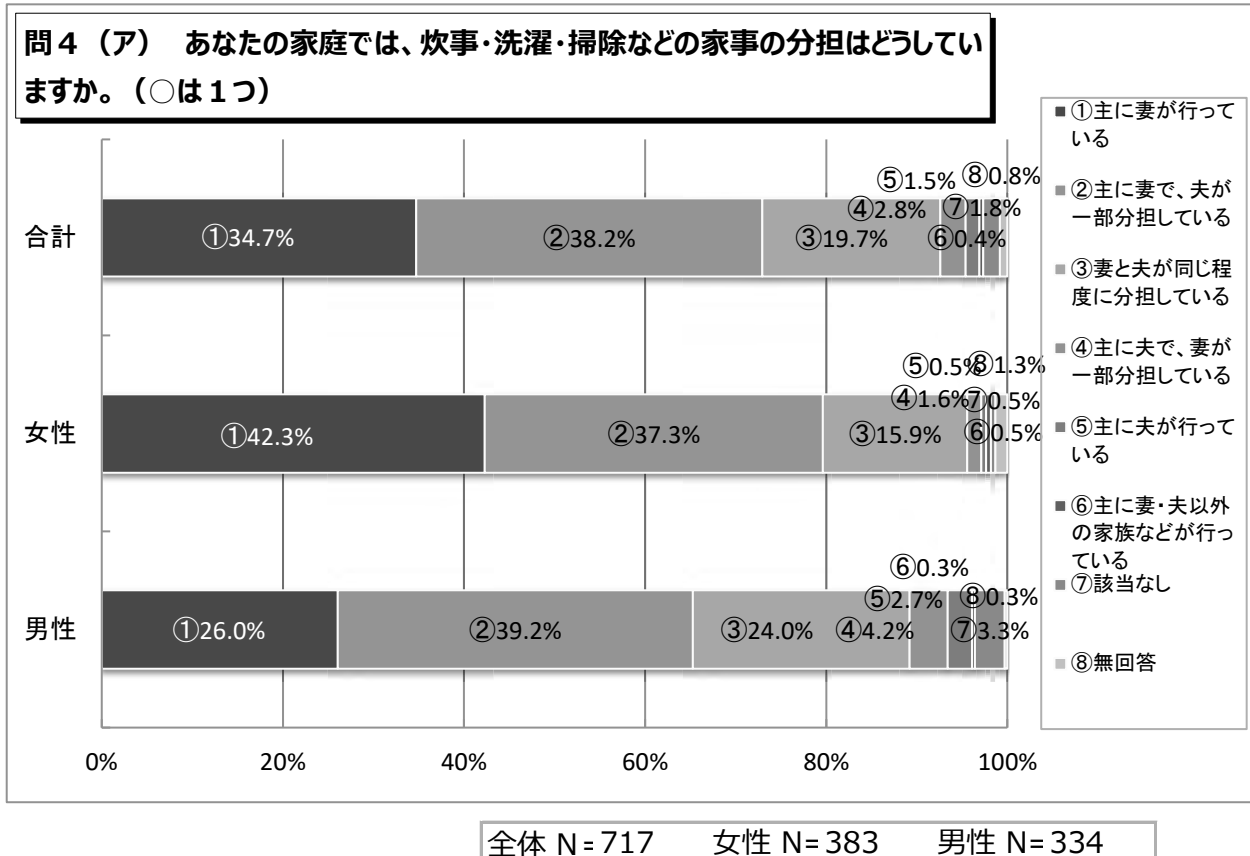
■ 家庭の中での介護について、望ましい分担のあり方を「妻と夫が同じ程度に分担する」と回答した人は全体で71.1%となり、家事や育児に比べこの回答の割合が高い。

#### ■ 令和元年度調査



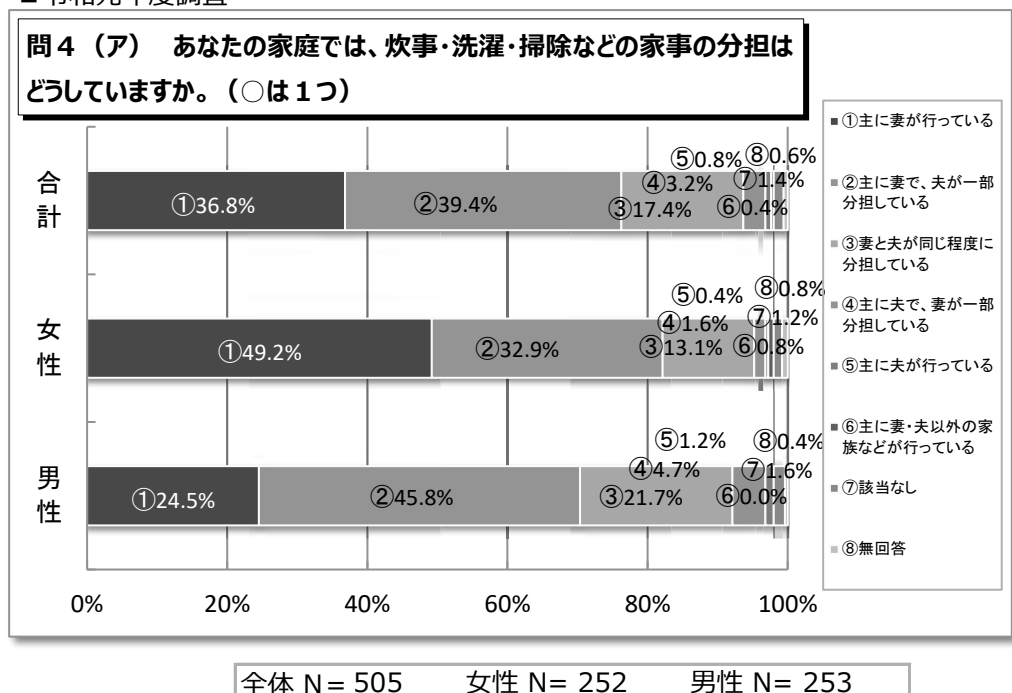
全体 N = 505    女性 N = 252    男性 N = 253

配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ



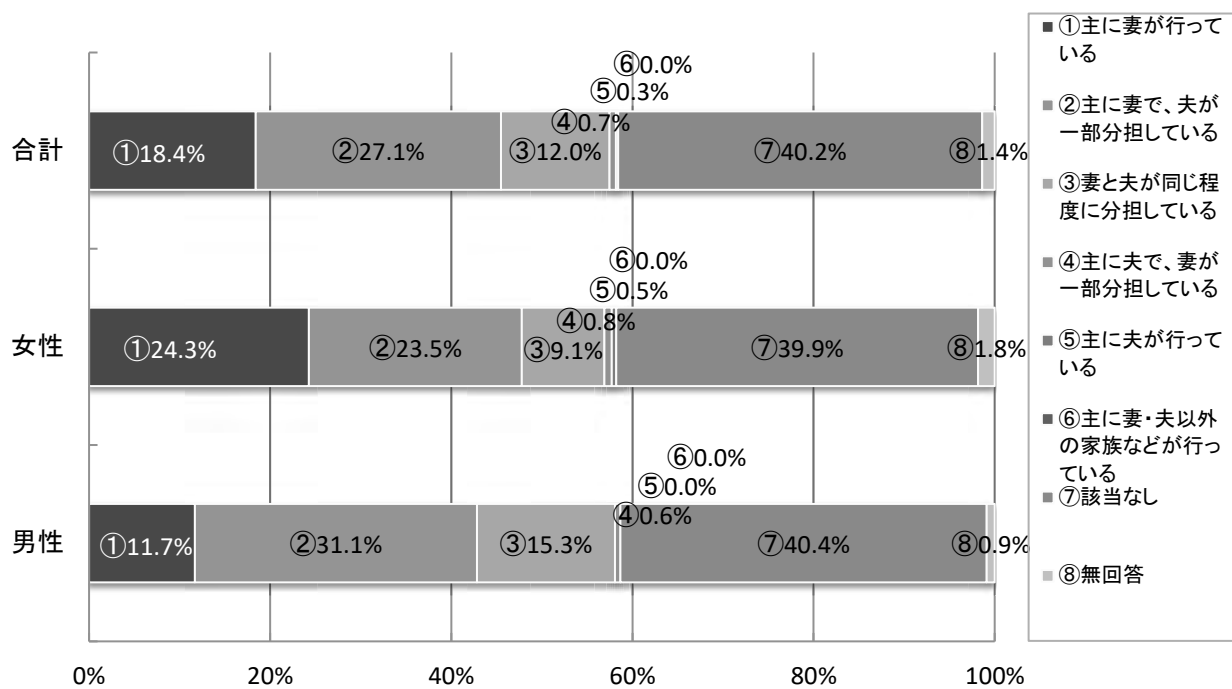
■家事の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は、女性が42.3%、男性が26.0%で、男女差がある。

■令和元年度調査



配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ

## 問4（イ） あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。（○は1つ）

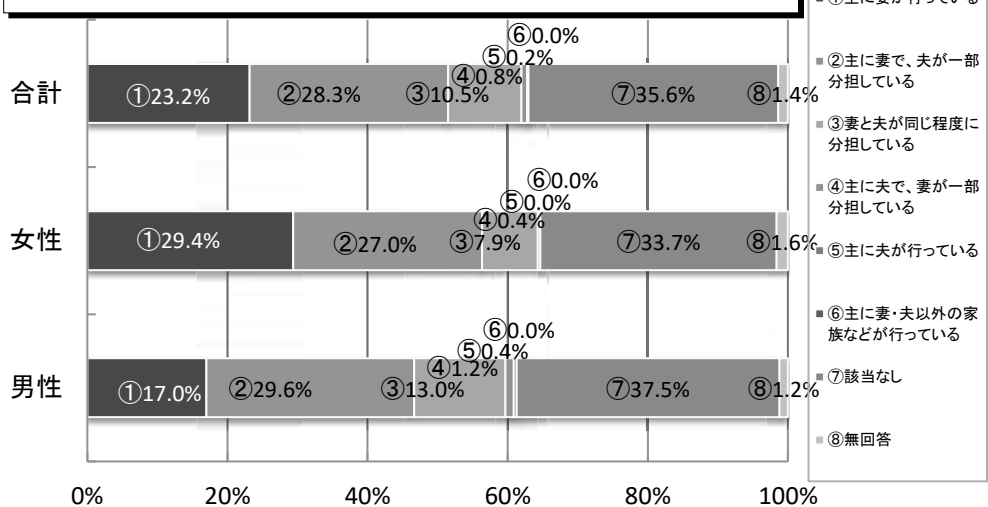


全体 N = 717 女性 N = 383 男性 N = 334

■ 育児の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は、女性が24.3%、男性が11.7%で、男女差がある。

## ■ 令和元年度調査

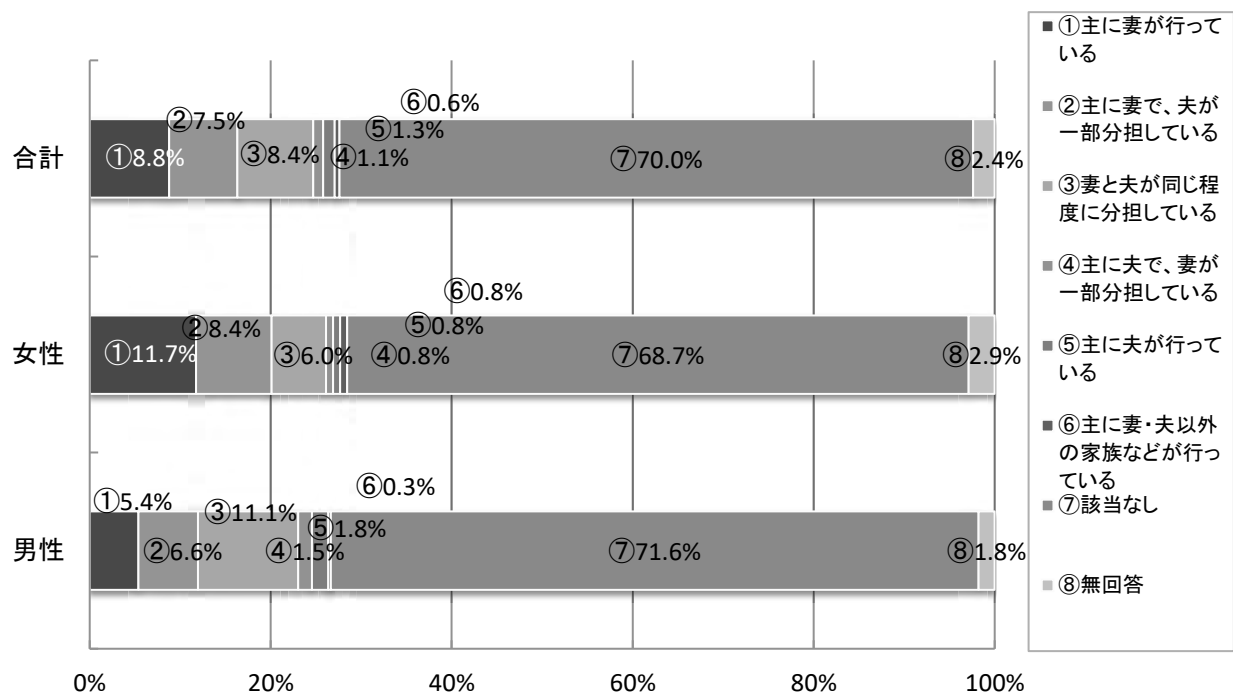
## 問4（イ） あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。（○は1つ）



全体 N = 505 女性 N = 252 男性 N = 253

配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ

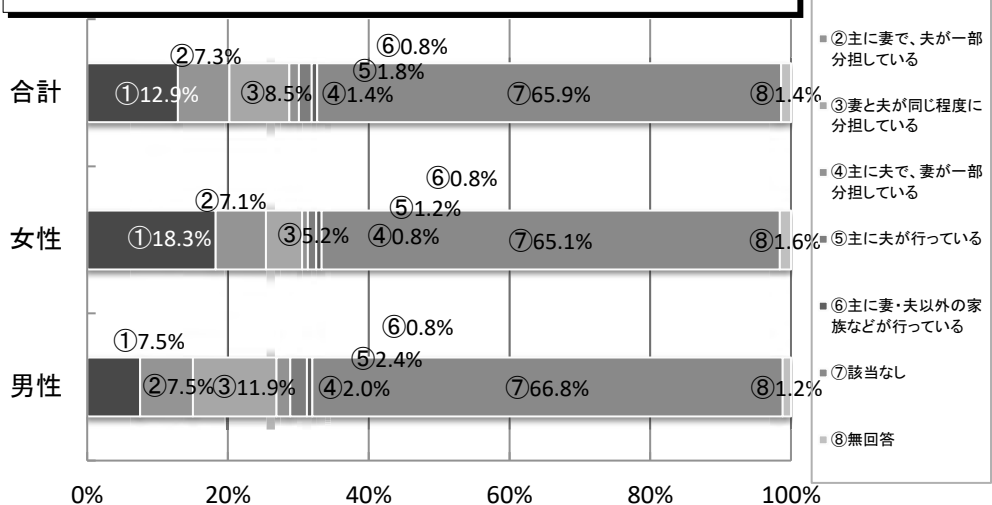
## 問4（ウ） あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。（○は1つ）



全体 N = 717 女性 N = 383 男性 N = 334

## ■ 令和元年度調査

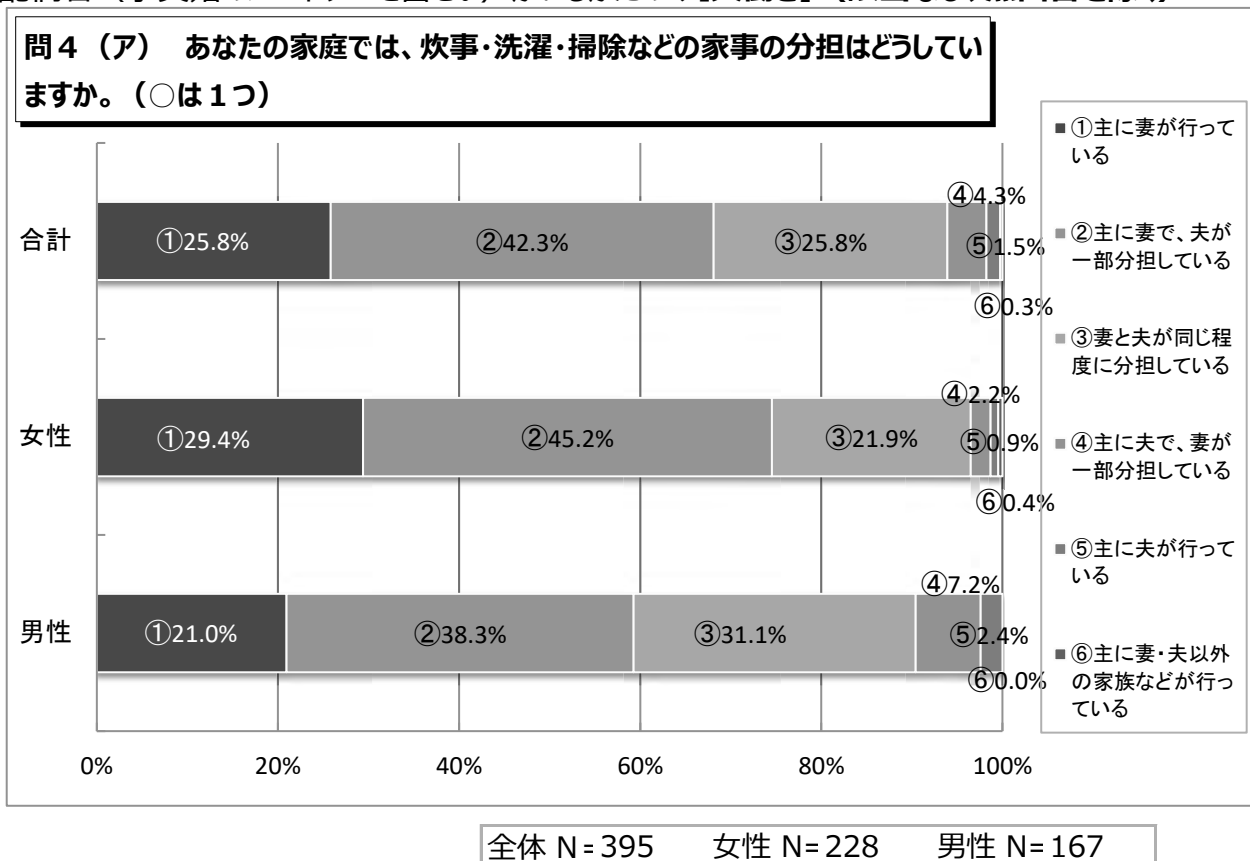
## 問4（ウ） あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。（○は1つ）



全体 N = 505 女性 N = 252 男性 N = 253

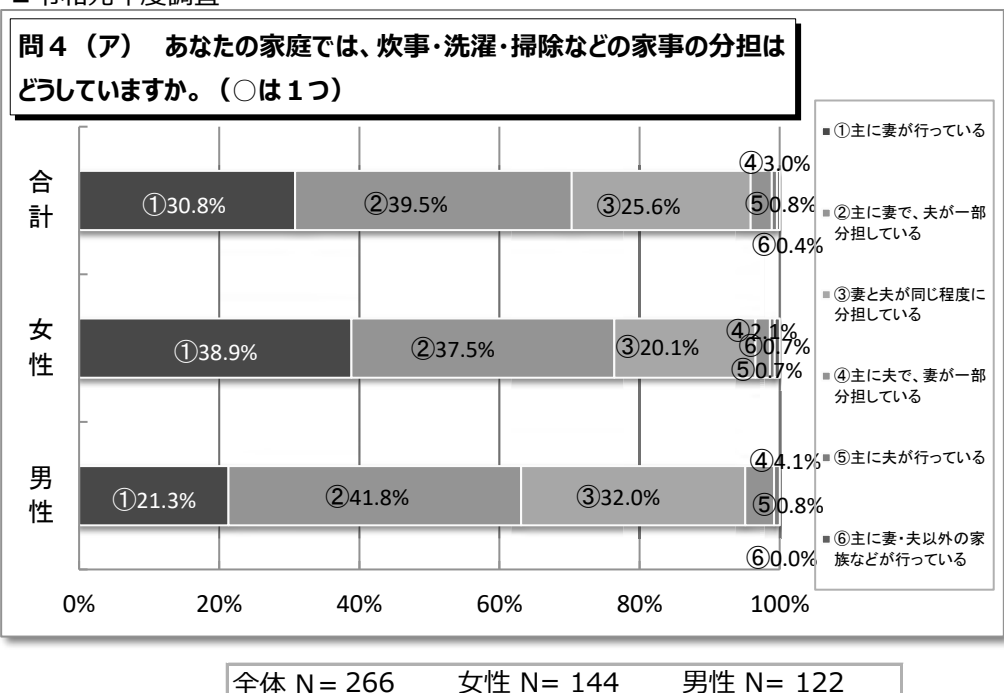
## ※問4（ア）のみ「共働き」の条件で抽出した集計

配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ【共働き】（該当なし、無回答を除く）



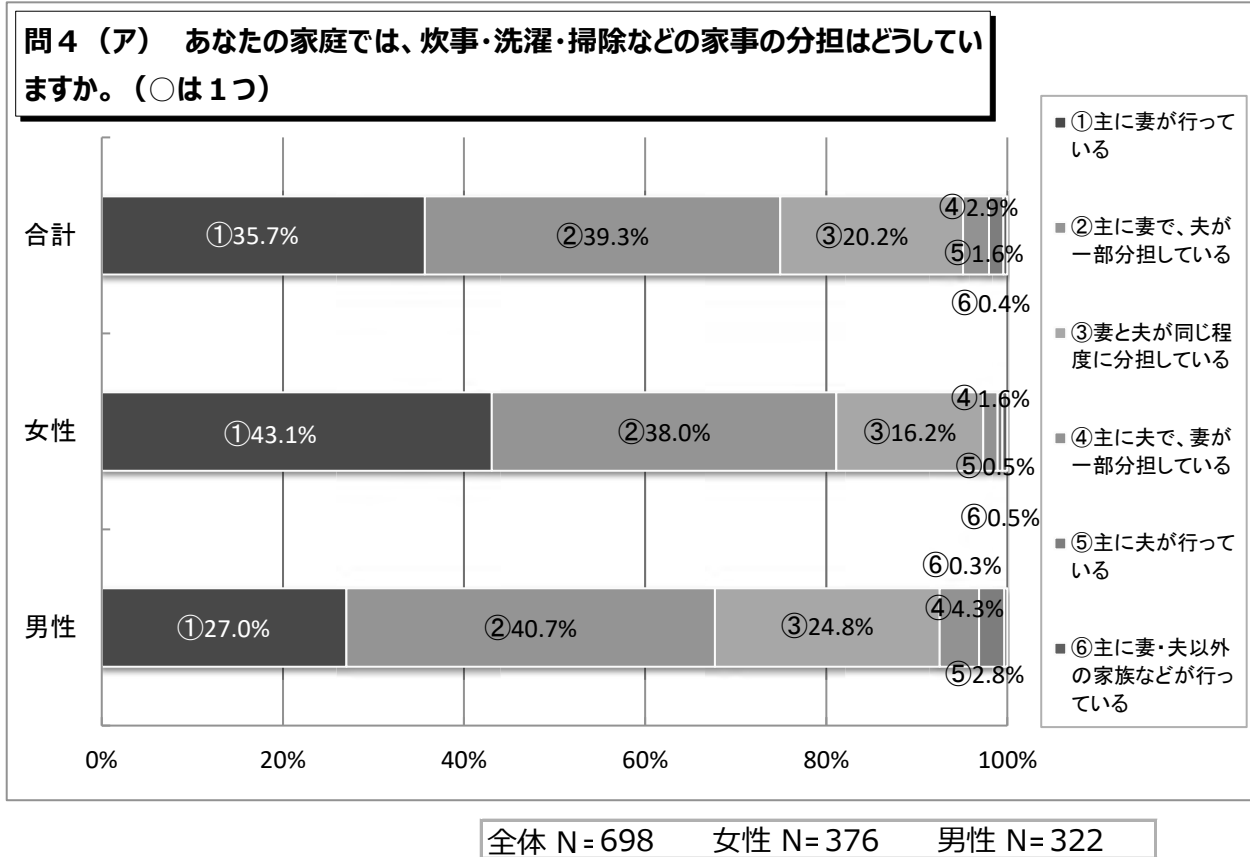
■ 家事の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は、女性が29.4%、男性が21.0%で、男女差がある。

## ■ 令和元年度調査



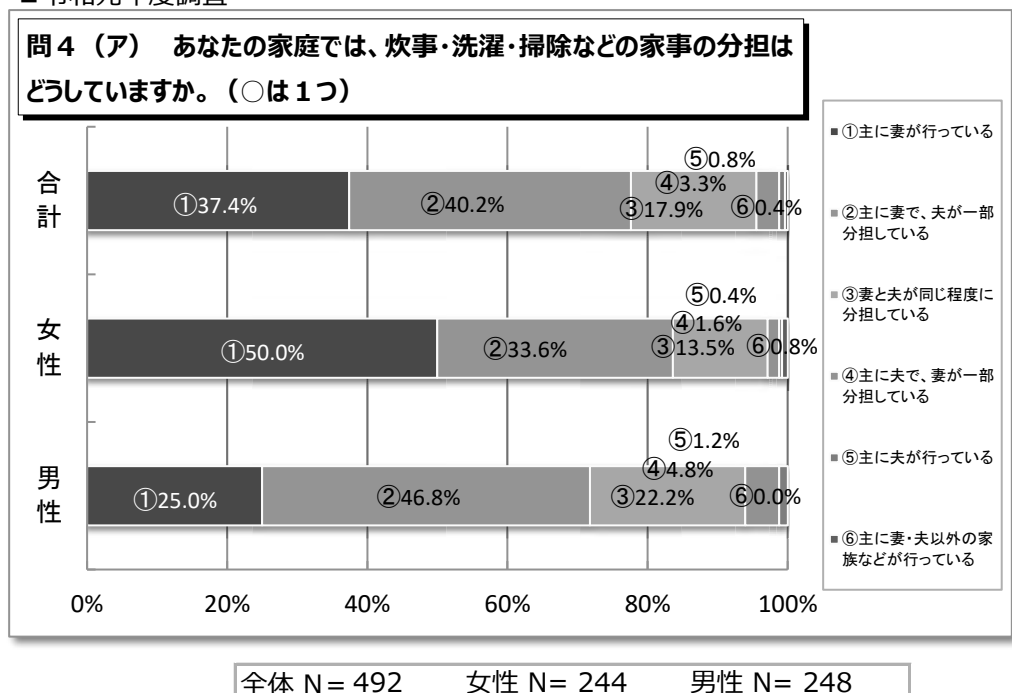


配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ（該当なし、無回答を除く）



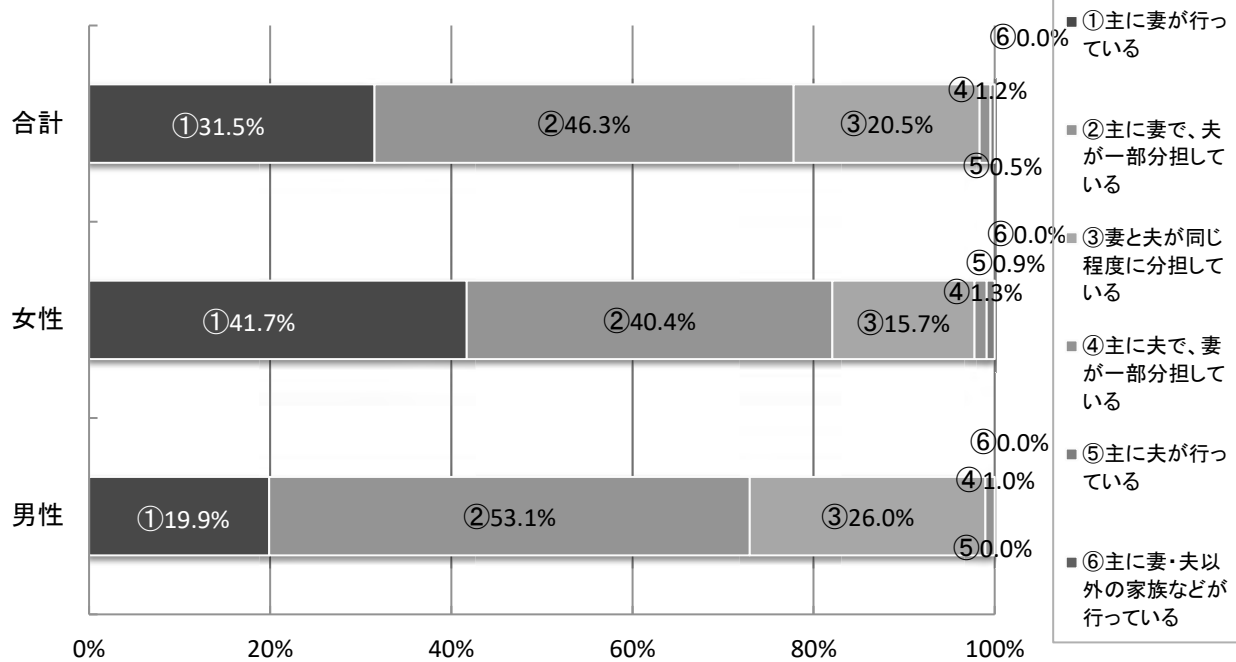
■家事の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は、女性が43.1%、男性が27.0%で、男女差がある。

■令和元年度調査



配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ（該当なし、無回答を除く）

**問4（イ） あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。（○は1つ）**

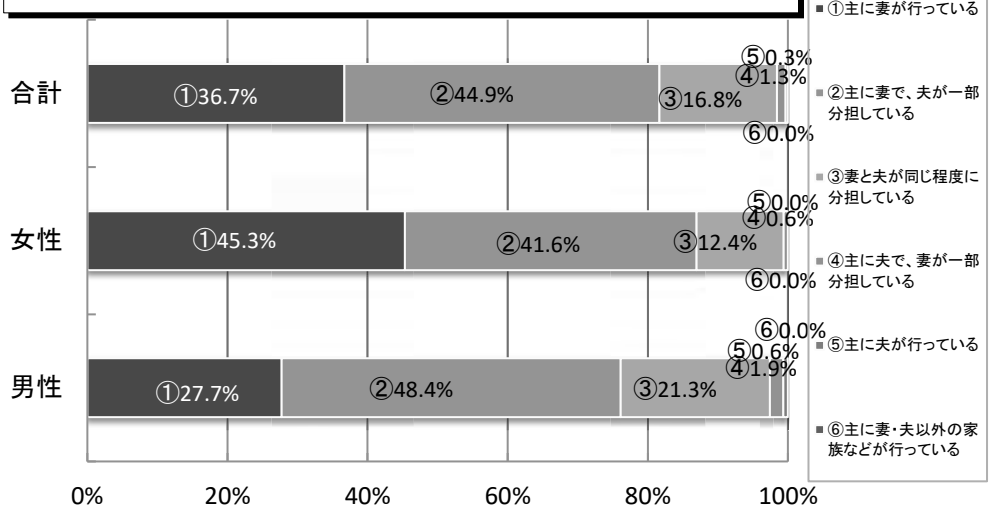


全体 N = 419    女性 N = 223    男性 N = 196

■ 育児の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は、女性が41.7%、男性が19.9%で、男女差がある。

■ 令和元年度調査

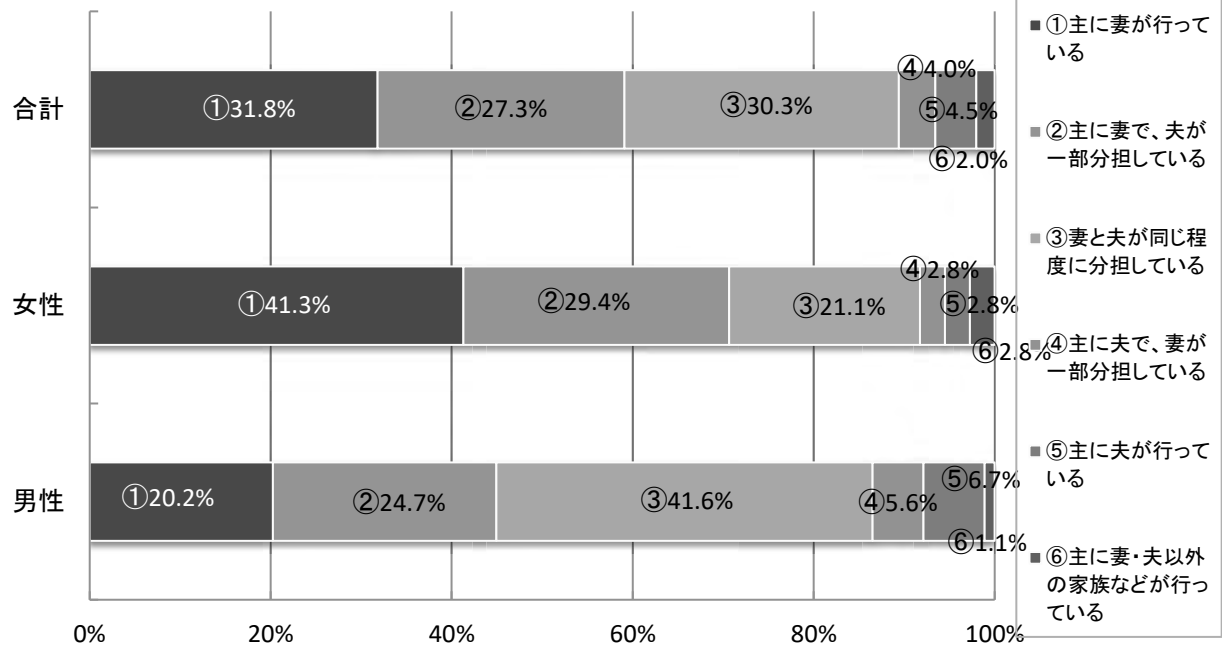
**問4（イ） あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。（○は1つ）**



全体 N = 316    女性 N = 161    男性 N = 155

配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいるかたのみ（該当なし、無回答を除く）

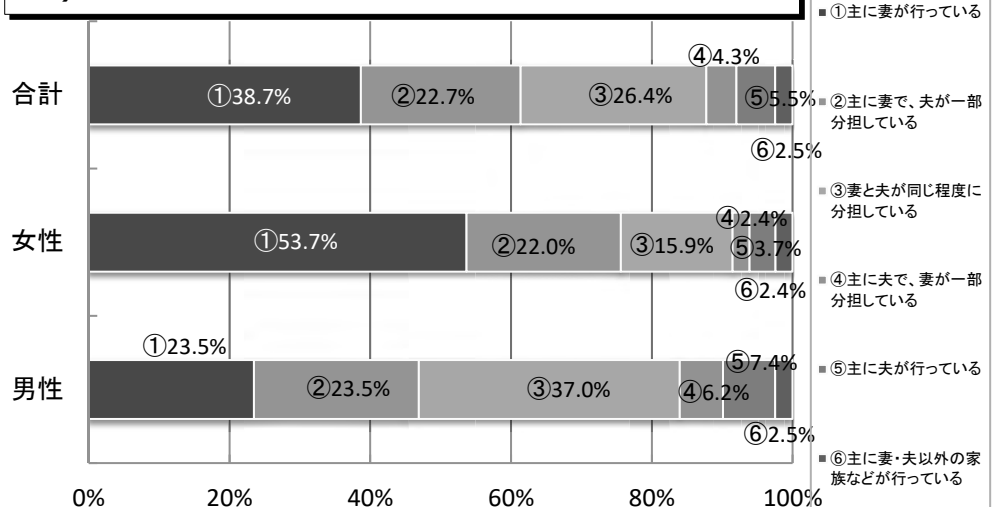
問4（ウ） あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。（○は1つ）



全体 N = 198 女性 N = 109 男性 N = 89

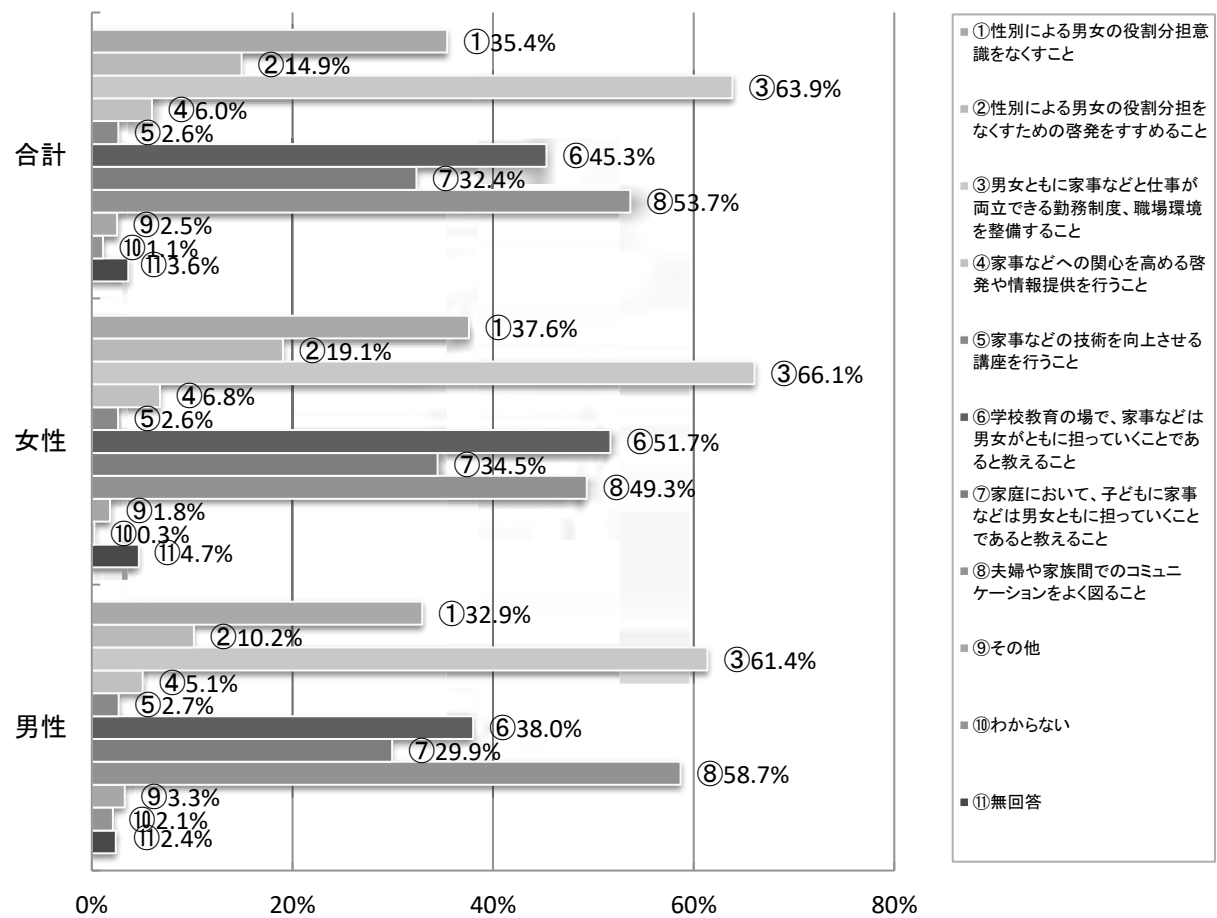
■ 令和元年度調査

問4（ウ） あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。（○は1つ）



全体 N = 163 女性 N = 82 男性 N = 81

問5 あなたは、家事・育児・介護（以下、「家事など」という。）の分担が一方の配偶者に偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）



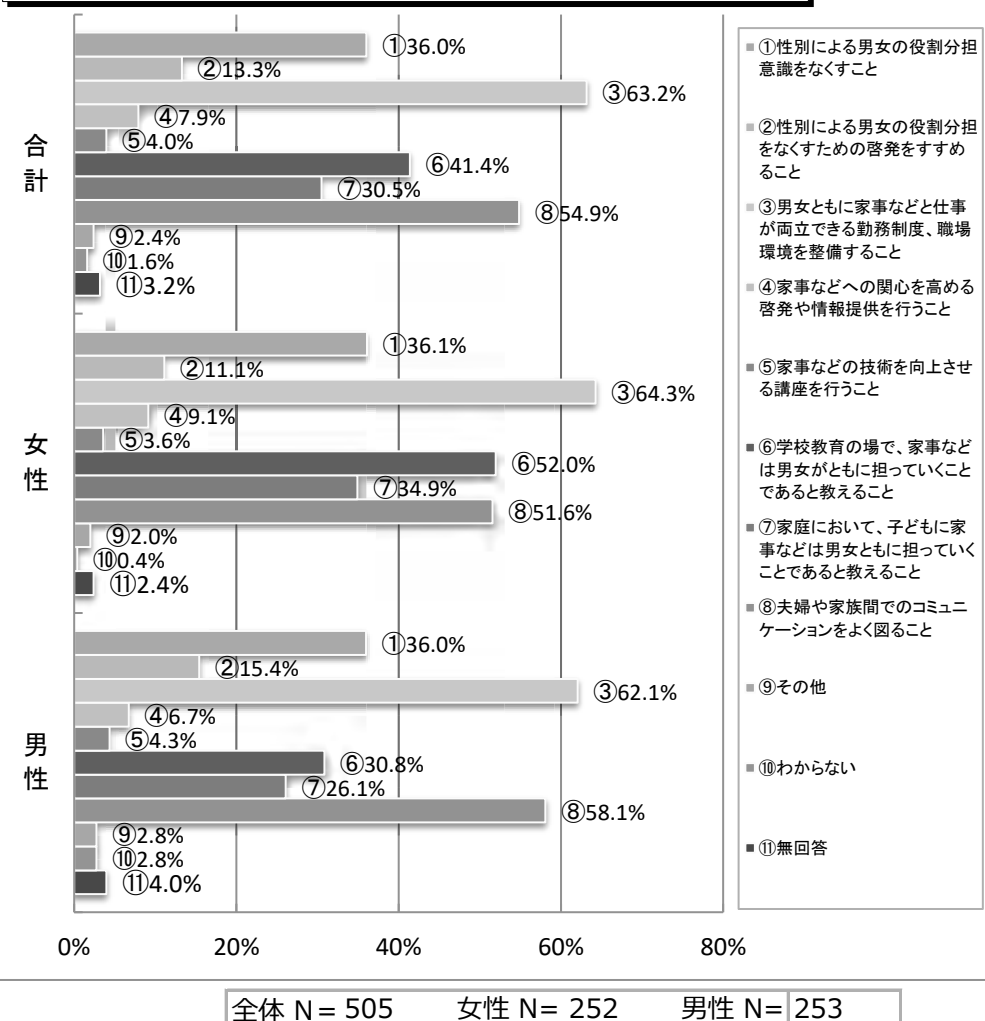
全体 N = 717    女性 N = 383    男性 N = 334

■ 家事などの分担が一方の配偶者に偏らないようにするために必要なこととしては、「男女ともに家事などと仕事が両立できる勤務制度、職場環境を整備すること」という回答が全体で63.9%と最も多い。

次に「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」（53.7%）、「学校教育の場で、家事などは男女がともに担っていくことであると教えること」（45.3%）と続く。

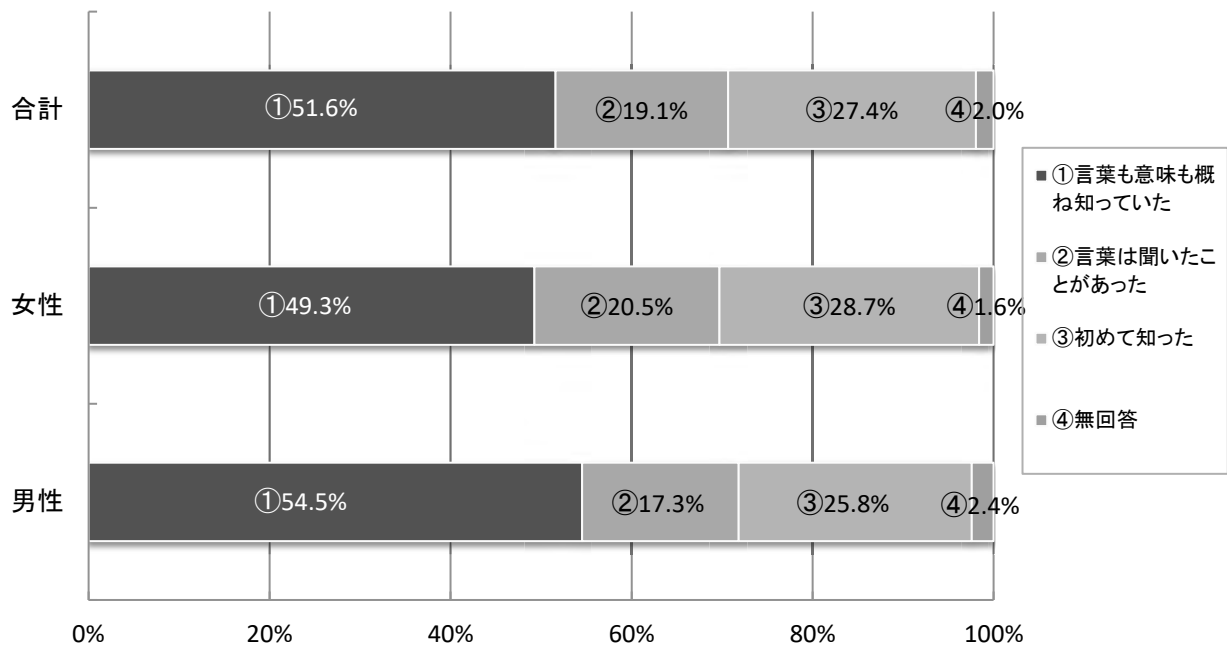
## ■ 令和元年度調査

問5 あなたは、家事・育児・介護（以下、「家事など」という。）の分担が一方の配偶者に偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）



【 Ⅱ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） 】

問6 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つ）

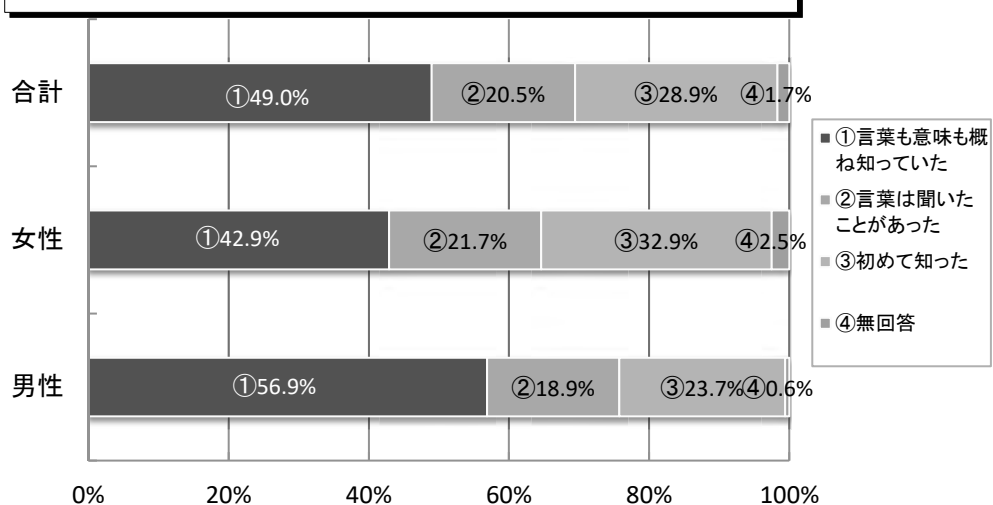


全体 N = 1118 女性 N = 621 男性 N = 497

■「ワーク・ライフ・バランス」という言葉やその意味を知っているかについて、「言葉も意味も概ね知っていた」「言葉は聞いたことがあった」と回答した人は、全体で70.7%となった。

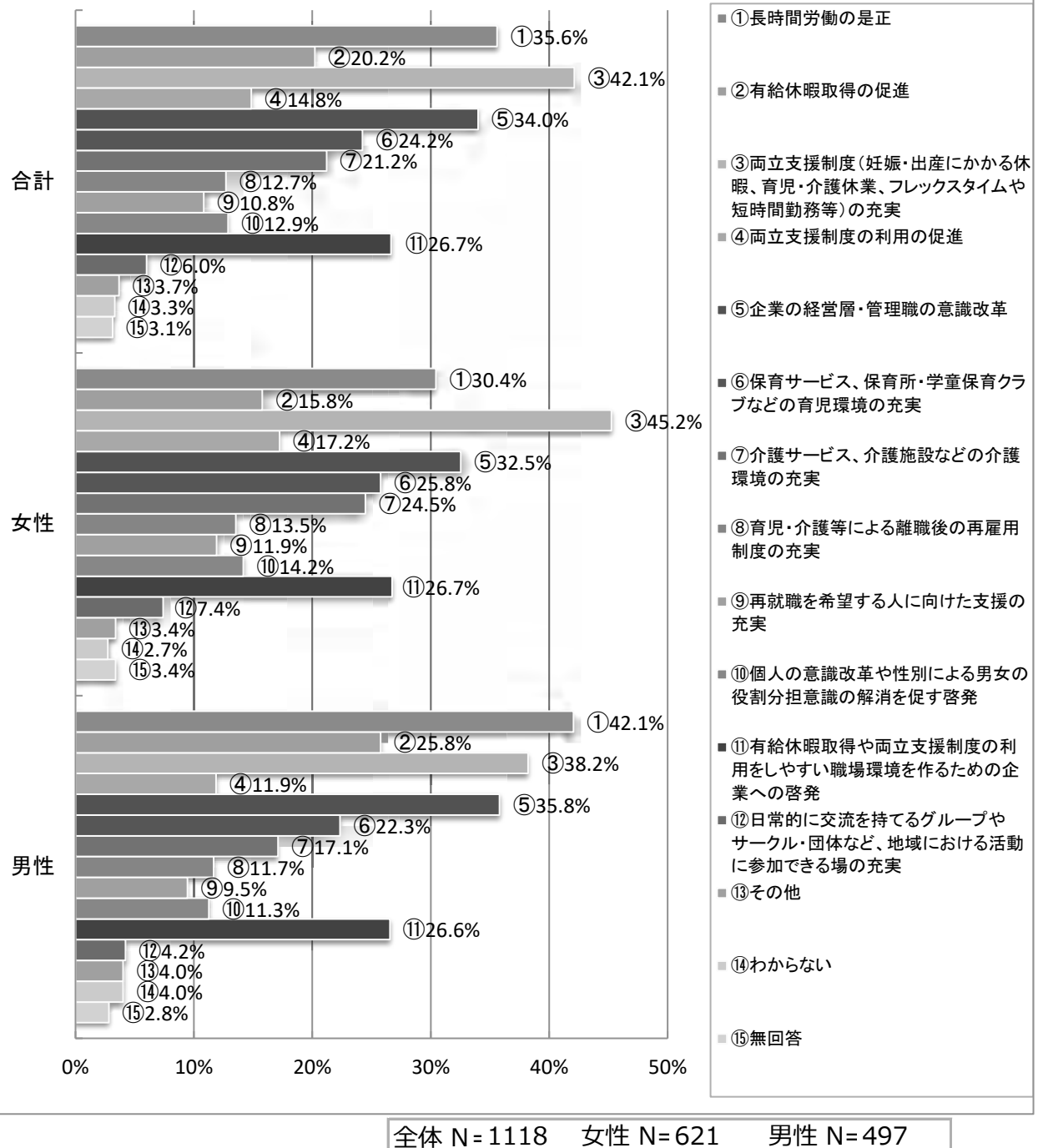
■ 令和元年度調査

問6 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つ）



全体 N = 772 女性 N = 438 男性 N = 334

**問7 あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）**

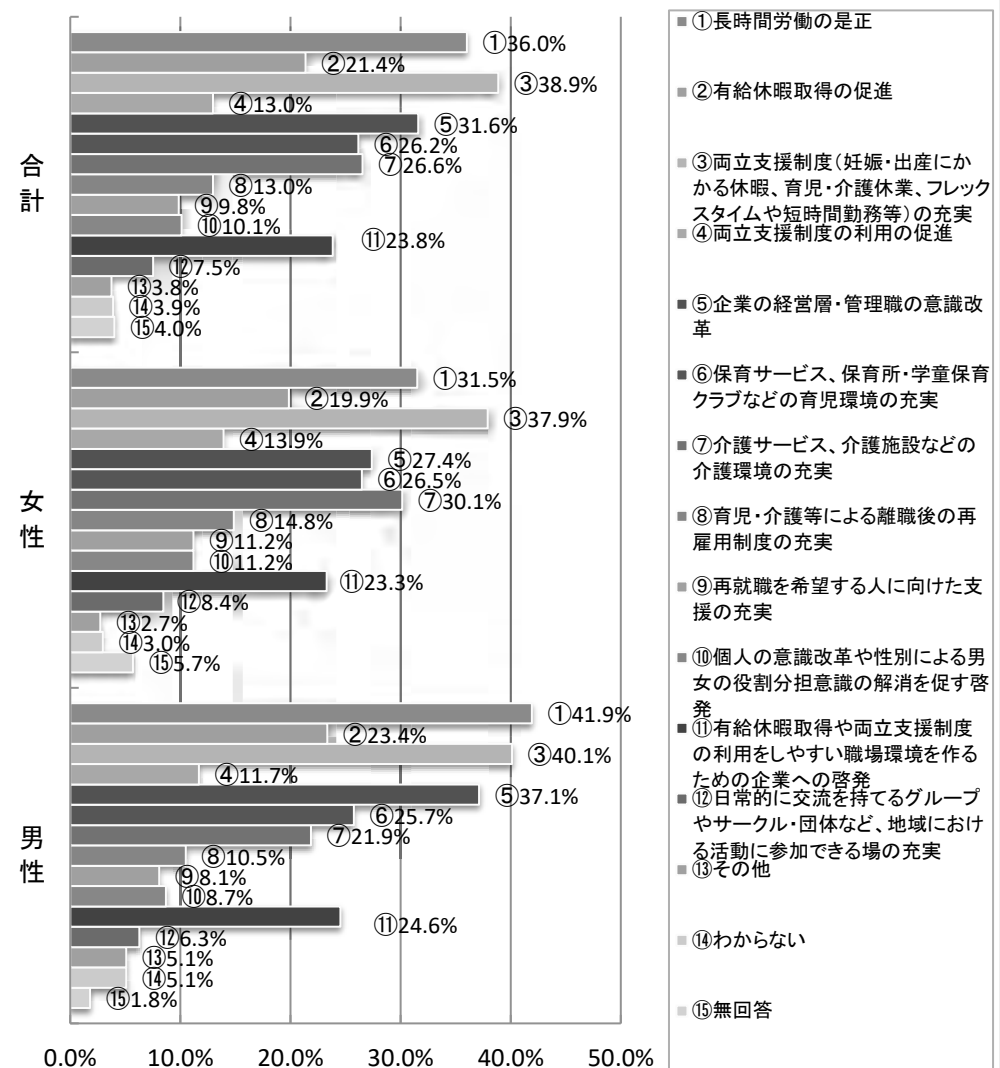


■ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要なこととしては、「両立支援制度（妊娠・出産にかかる休暇、育児・介護休業、フレックスタイムや短時間勤務等）の充実」という回答が全体で42.1%と最も多い。

次に「長時間労働の是正」（35.6%）、「企業の経営層・管理職の意識改革」（34.0%）、「有給休暇取得や両立支援制度の利用をしやすい職場環境を作るための企業への啓発」（26.7%）と続く。

■ 令和元年度調査

問7 あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）



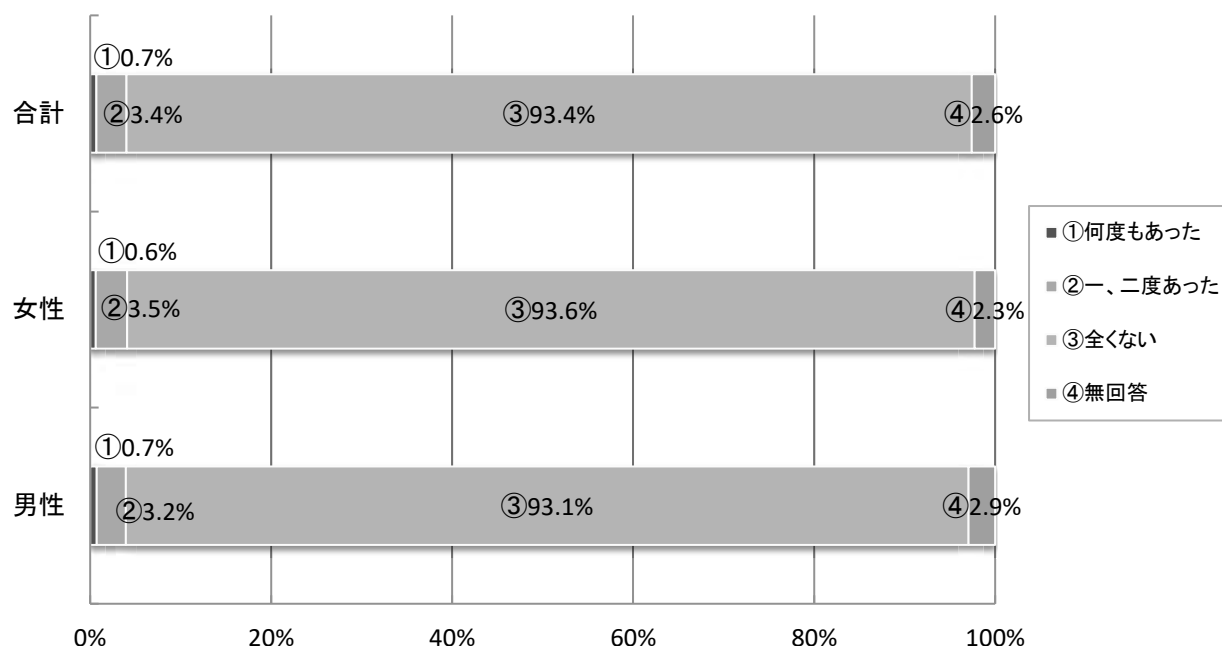
全体 N = 772      女性 N = 438      男性 N = 334



## 【 Ⅲ 人権の尊重 】

配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）がいる（いた）かたのみ

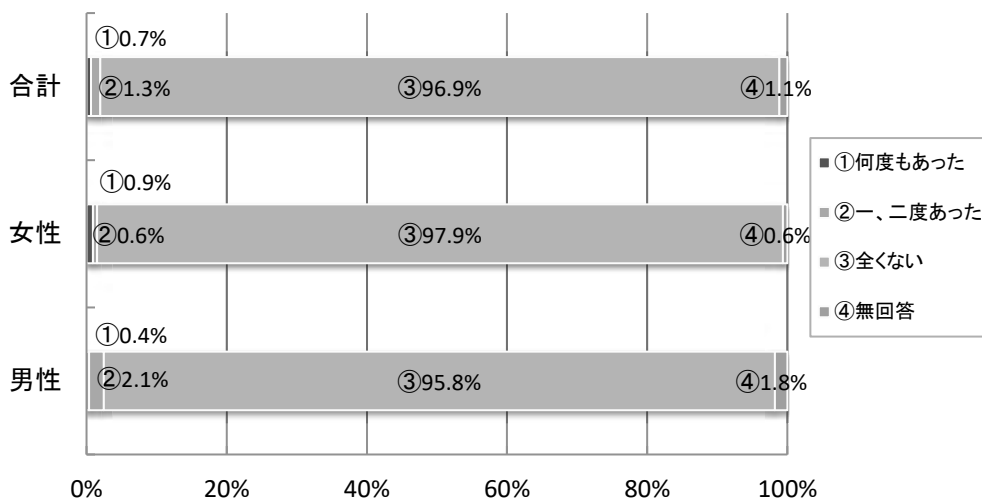
問 8（ア） あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（身体的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



全体 N = 895    女性 N = 488    男性 N = 407

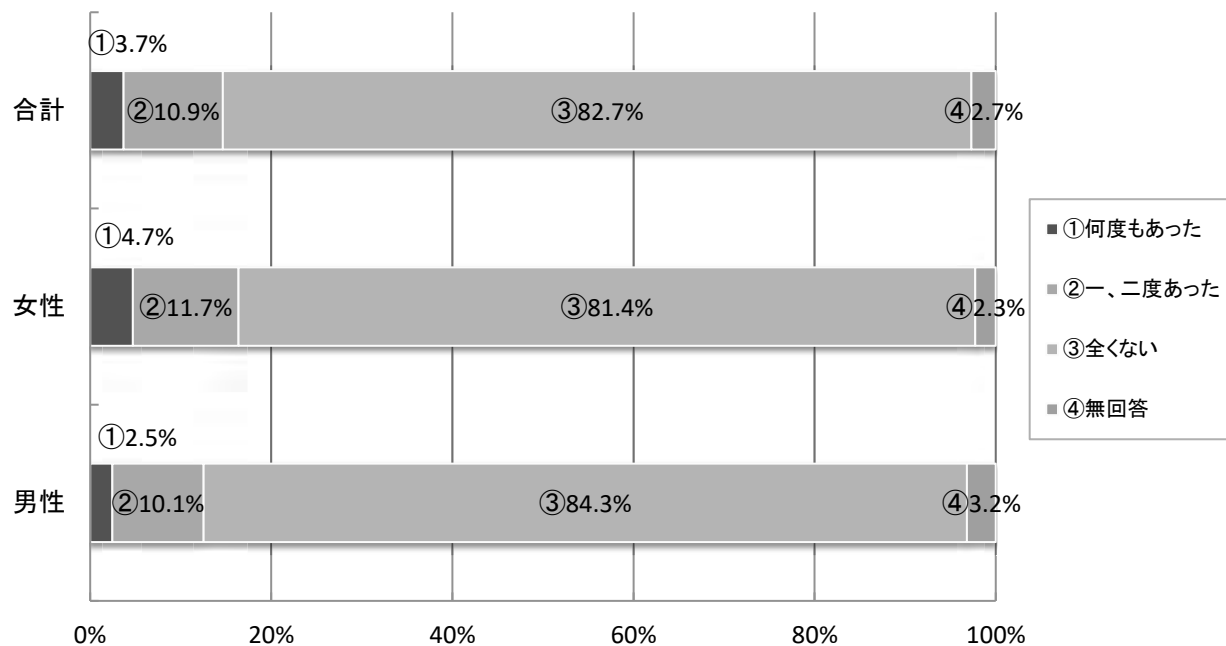
## ■ 令和元年度調査

問 8（ア） あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（身体的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



全体 N = 613    女性 N = 329    男性 N = 284

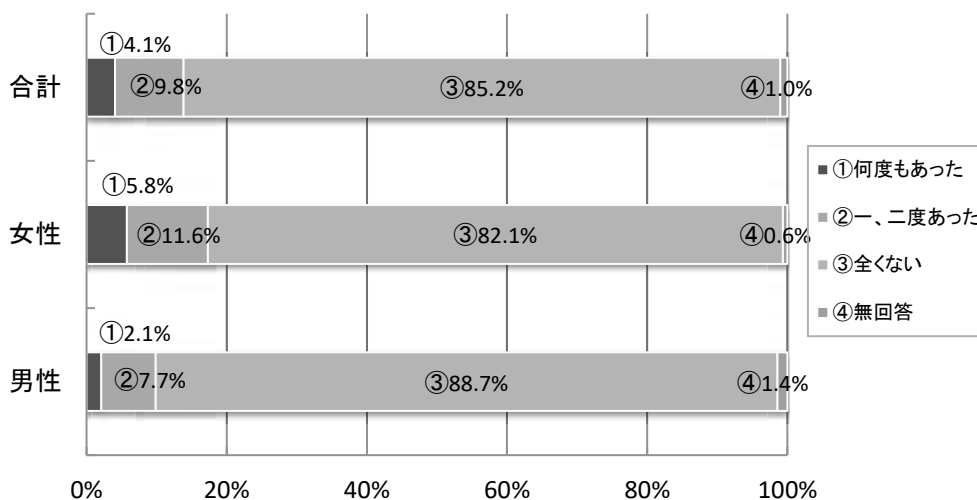
問 8（イ） あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（精神的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



全体 N = 895    女性 N = 488    男性 N = 407

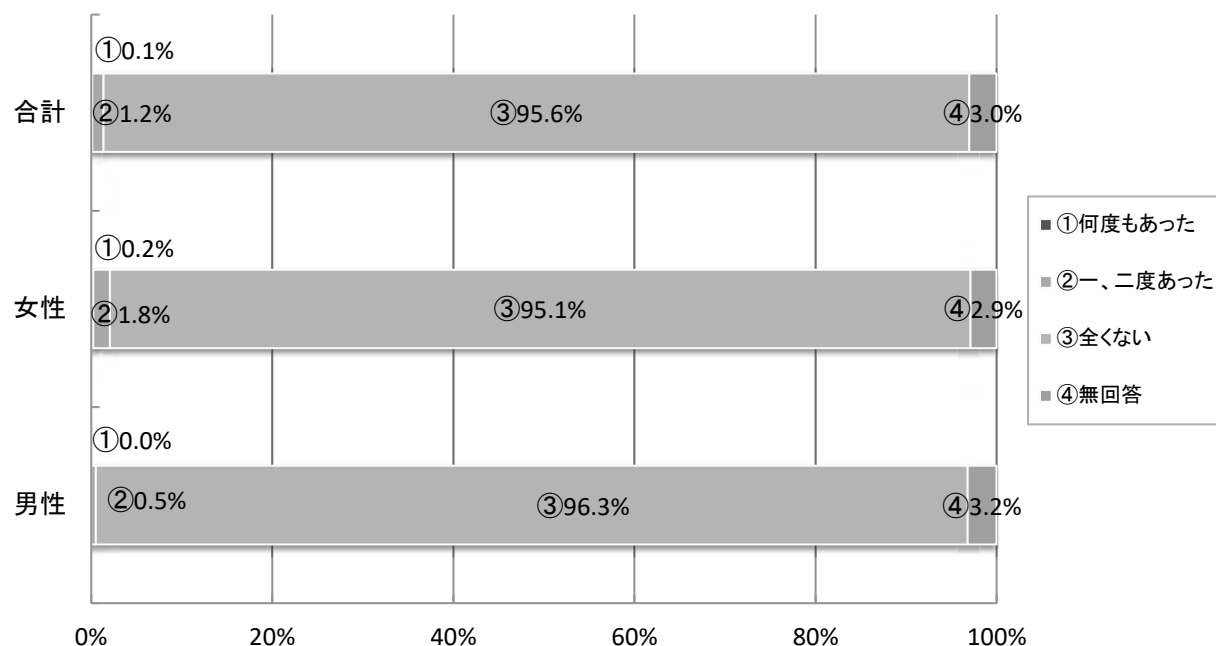
■ 令和元年度調査

問 8（イ） あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（精神的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



全体 N = 613    女性 N = 329    男性 N = 284

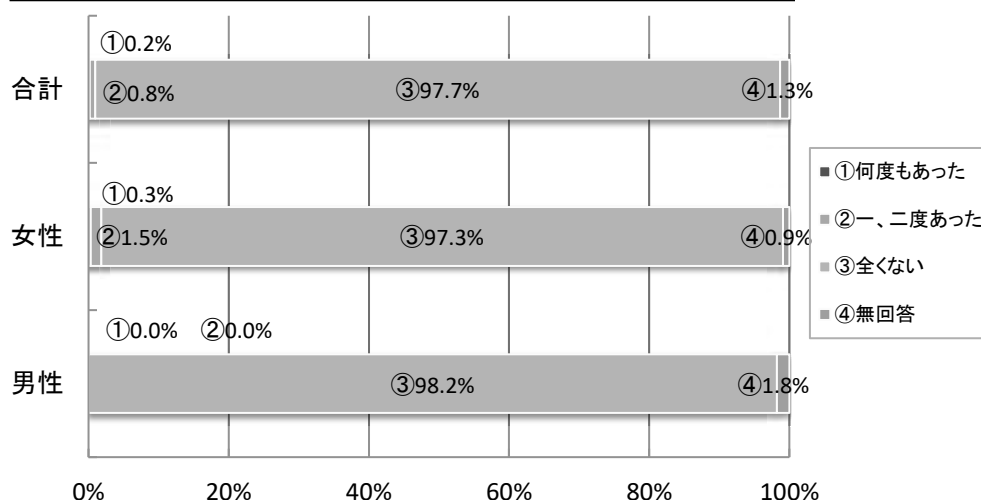
問 8 (ウ) あなたはこの1年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（性的暴力）をされたことがありますか。（○は1つ）



全体 N = 895    女性 N = 488    男性 N = 407

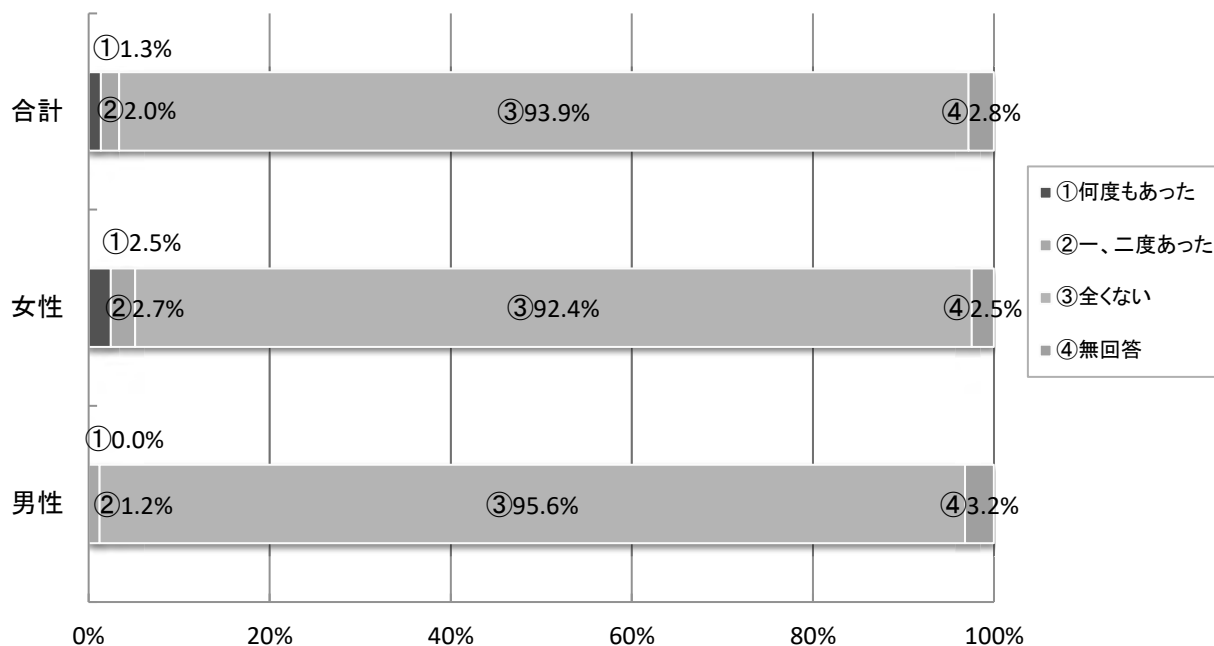
■ 令和元年度調査

問 8 (ウ) あなたはこの1年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（性的暴力）をされたことがありますか。（○は1つ）



全体 N = 613    女性 N = 329    男性 N = 284

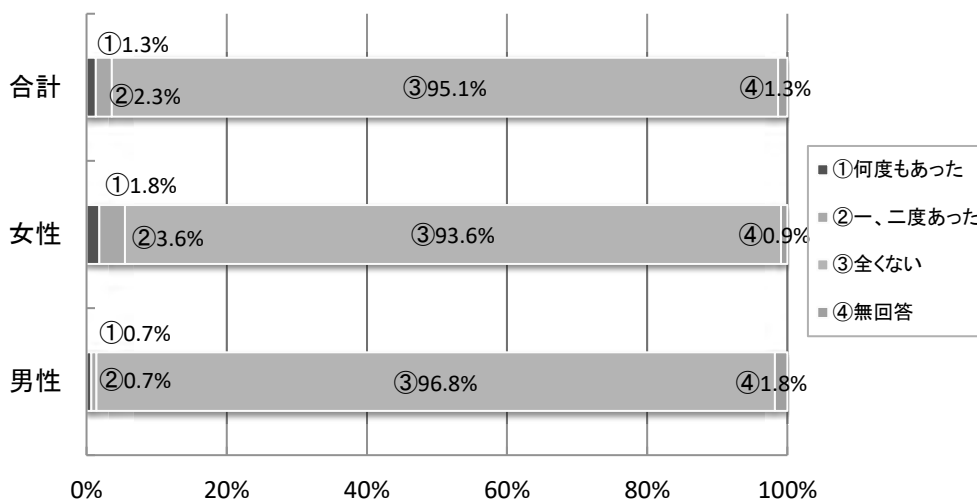
問 8 (工) あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（経済的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



全体 N = 895 女性 N = 488 男性 N = 407

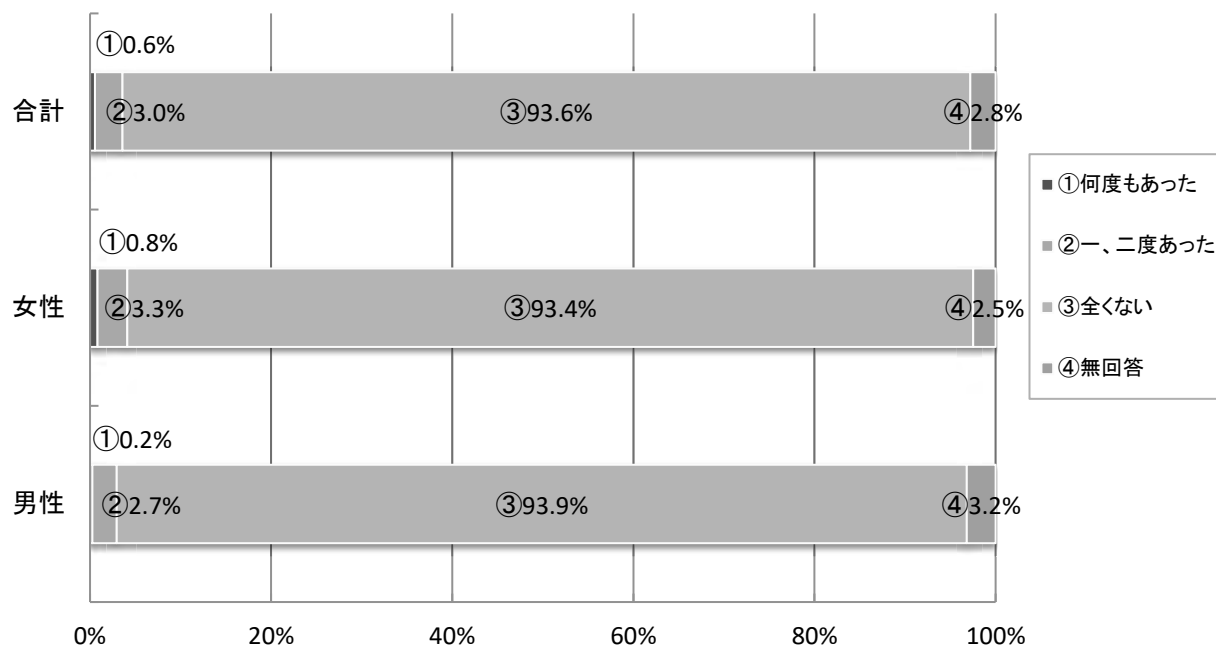
■ 令和元年度調査

問 8 (工) あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（経済的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



全体 N = 613 女性 N = 329 男性 N = 284

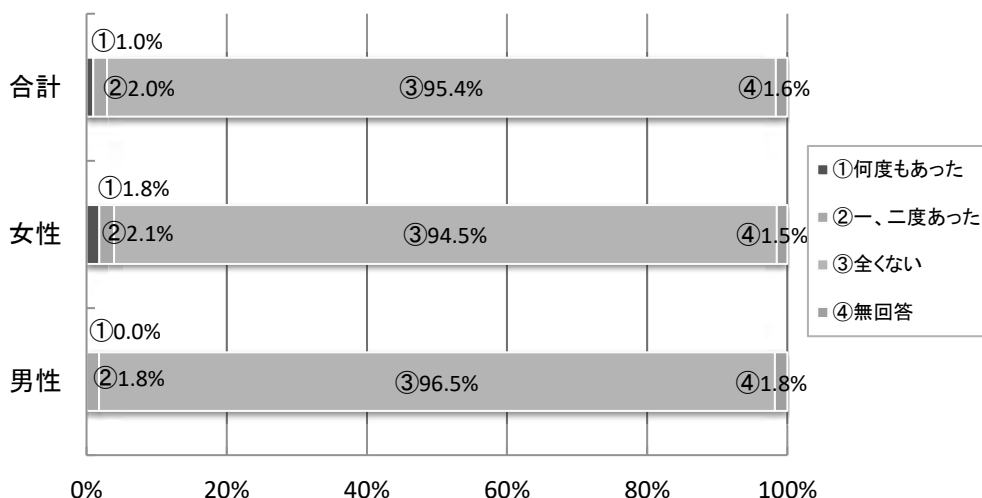
問 8（オ） あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（社会的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



全体 N = 895      女性 N = 488      男性 N = 407

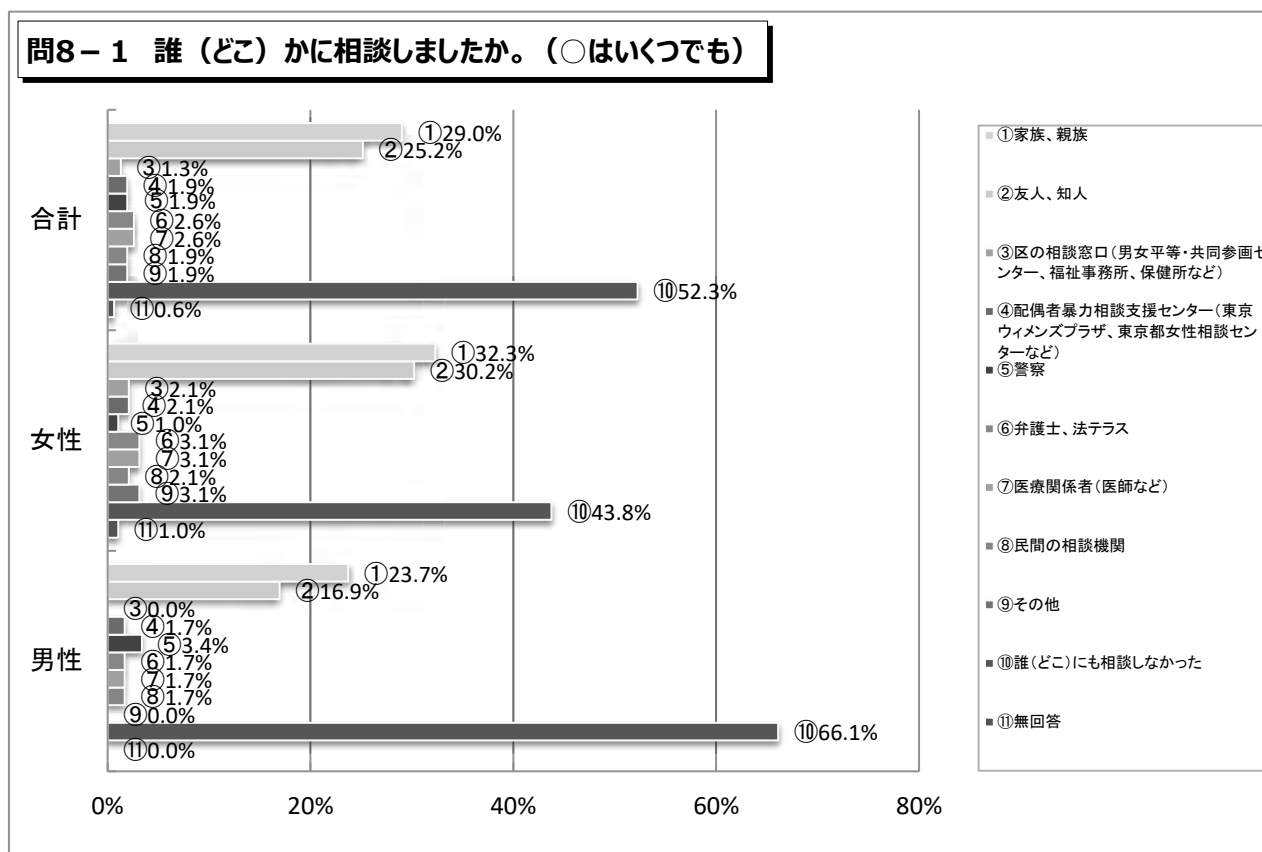
■ 令和元年度調査

問 8（オ） あなたはこの 1 年間に、配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）から、次のようなこと（社会的暴力）をされたことがありますか。（○は 1 つ）



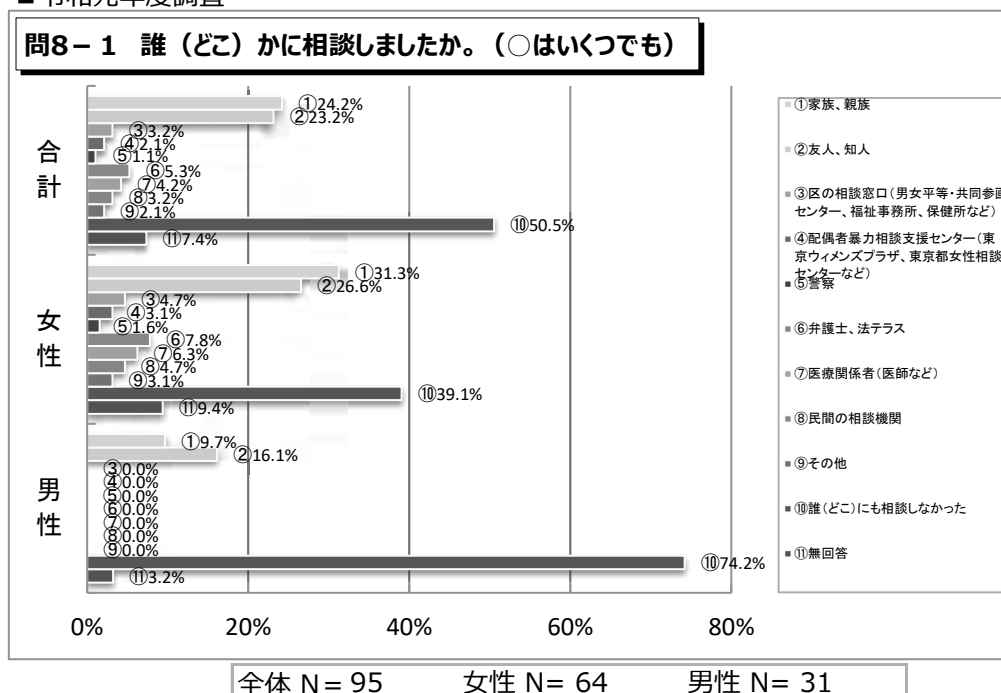
全体 N = 613      女性 N = 329      男性 N = 284

問8（ア）～（オ）で、1つでも「何度もあった」「一、二度あった」と回答があった中で

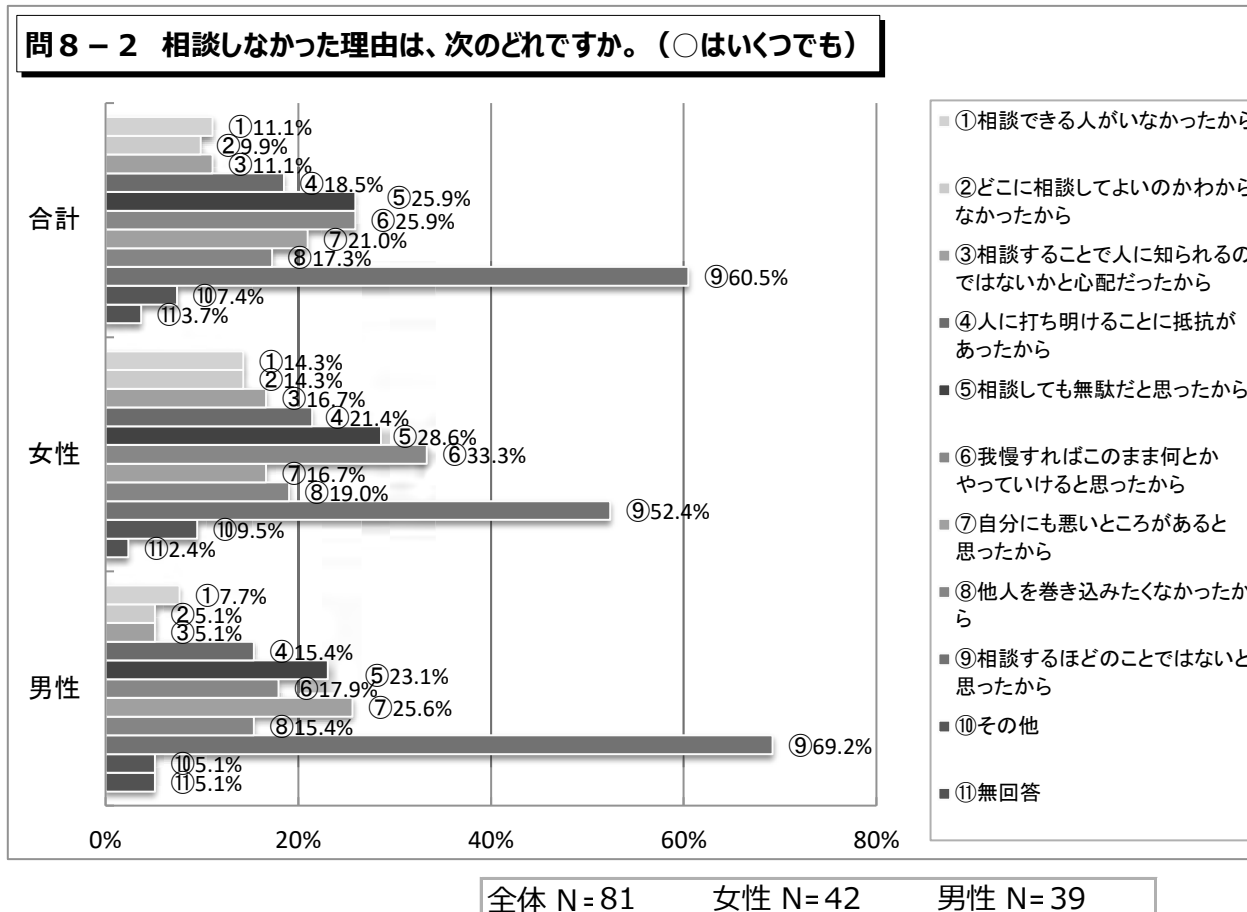


- 暴力を受けたときに相談したかについて、男女ともに、「誰（どこ）にも相談しなかった」という回答が多い。
- 暴力を受けたときの相談先として回答が多いのは、男女ともに「家族、親族」や「友人、知人」である。

■ 令和元年度調査

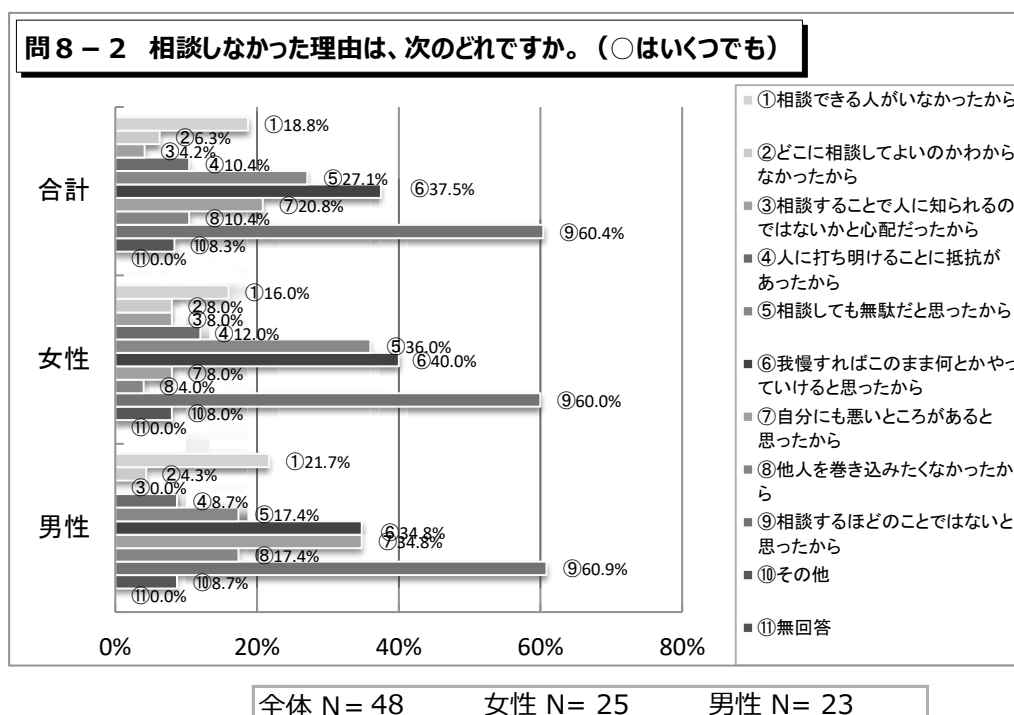


問 8 - 1 で「誰(どこ)にも相談しなかった」と回答があった中で



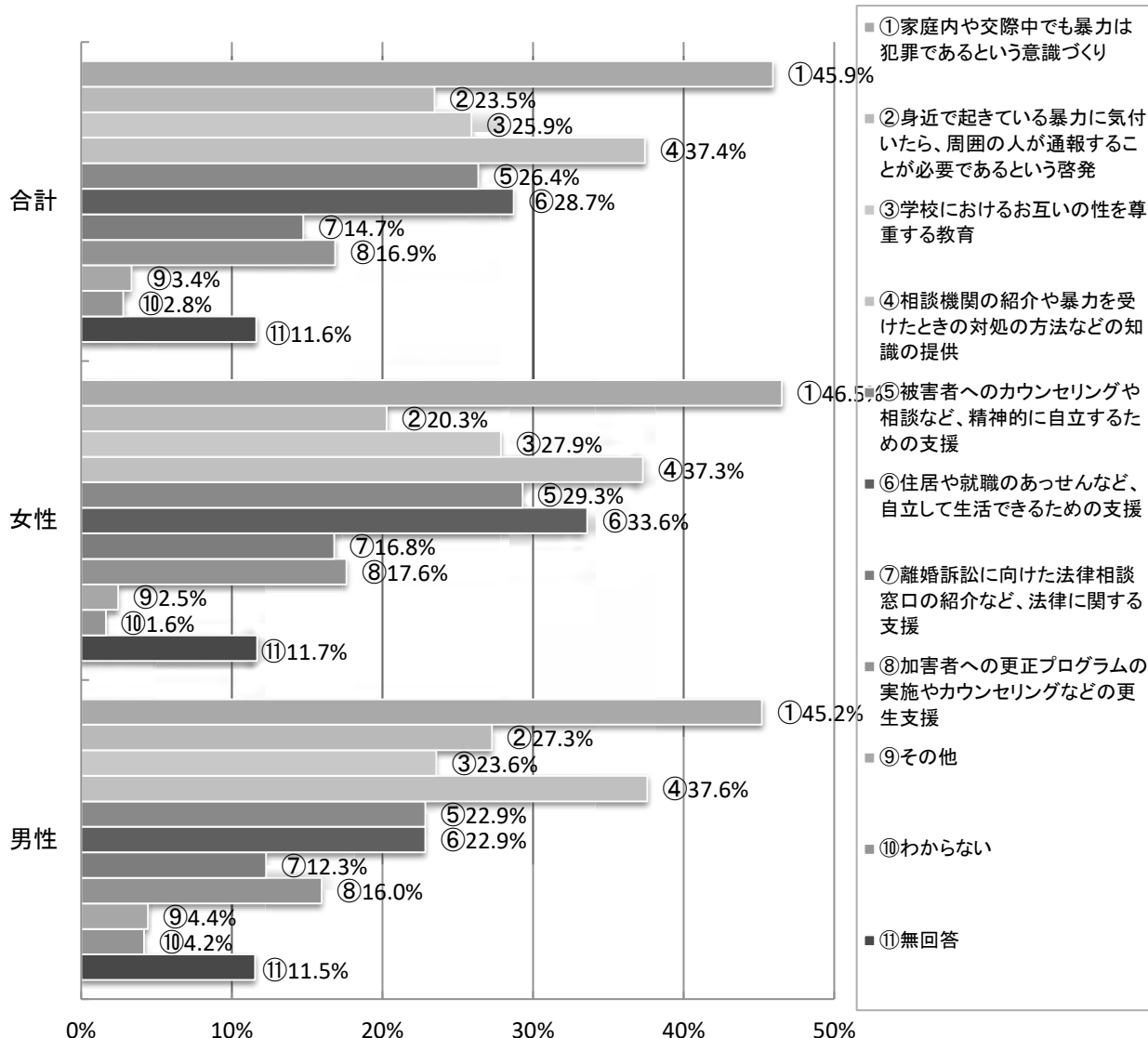
■ 相談しなかった理由としては、「相談するほどのことではないと思ったから」という回答が多い。

■ 令和元年度調査



配偶者等（事実婚のパートナーや交際相手を含む）がいる（いた）かたのみ

**問9 あなたは、配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（○は3つまで）**



全体 N = 895    女性 N = 488    男性 N = 407

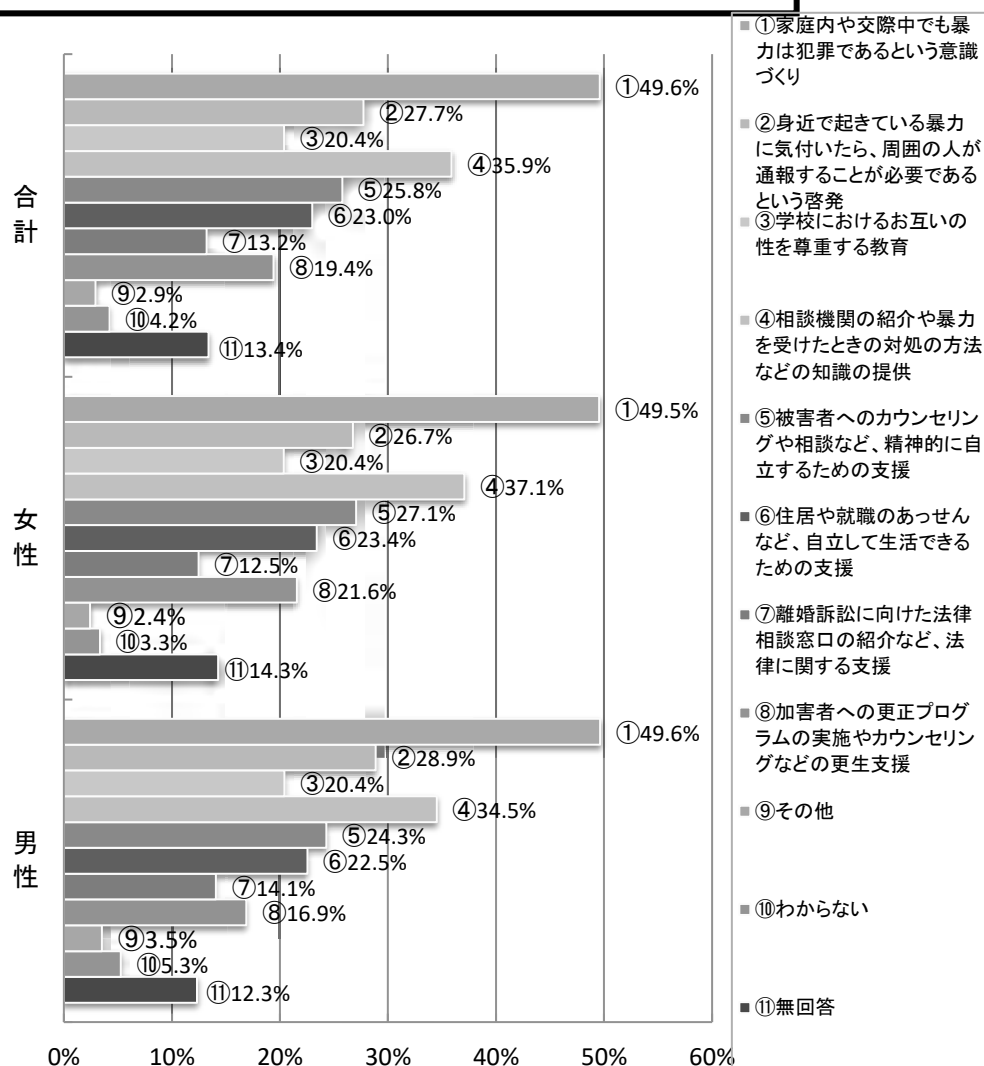
■ 配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援のために必要なことについては、「家庭内や交際中でも暴力は犯罪であるという意識づくり」という回答が全体で45.9%と最も多い。

次に「相談機関の紹介や暴力を受けたときの対処の方法などの知識の提供」（37.4%）、「住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援」（28.7%）、「被害者へのカウンセリングや相談など、精神的に自立するための支援」（26.4%）と続く。

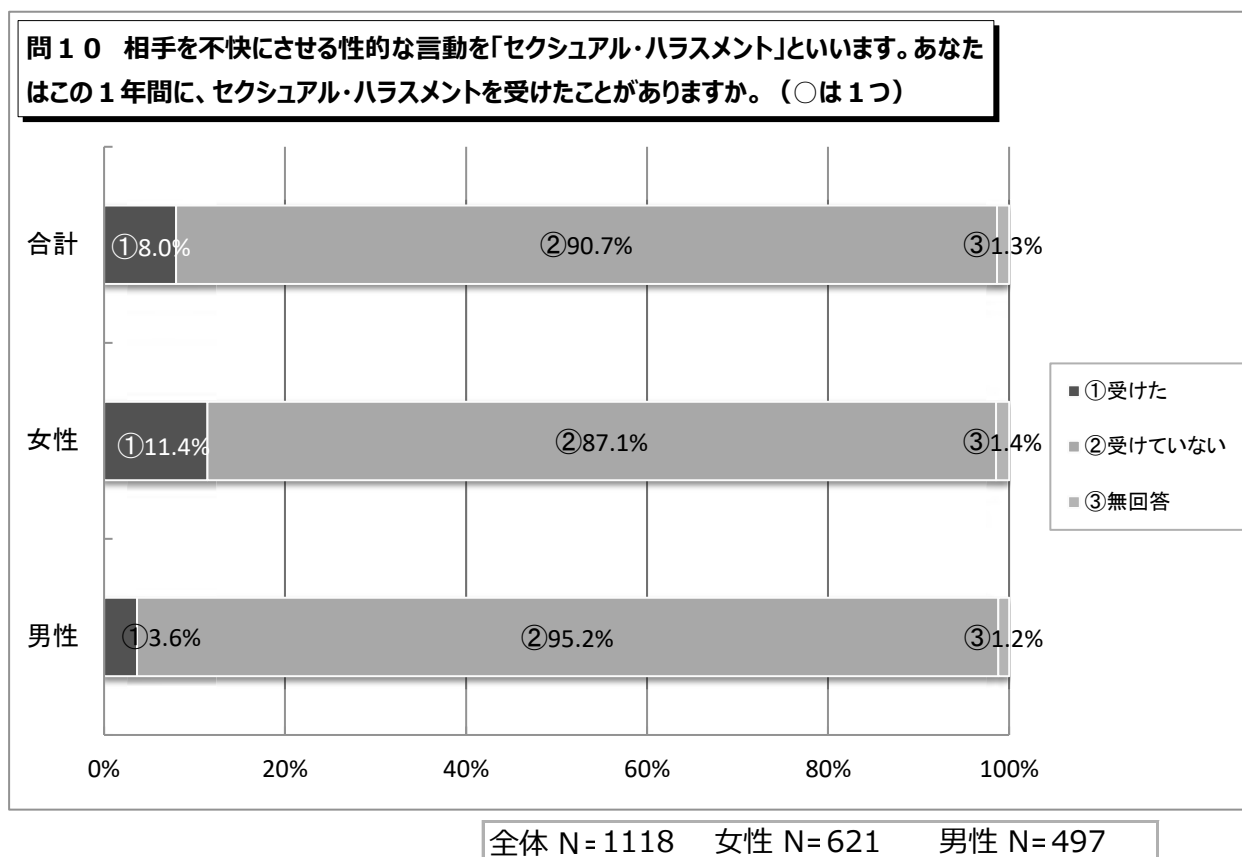


■ 令和元年度調査

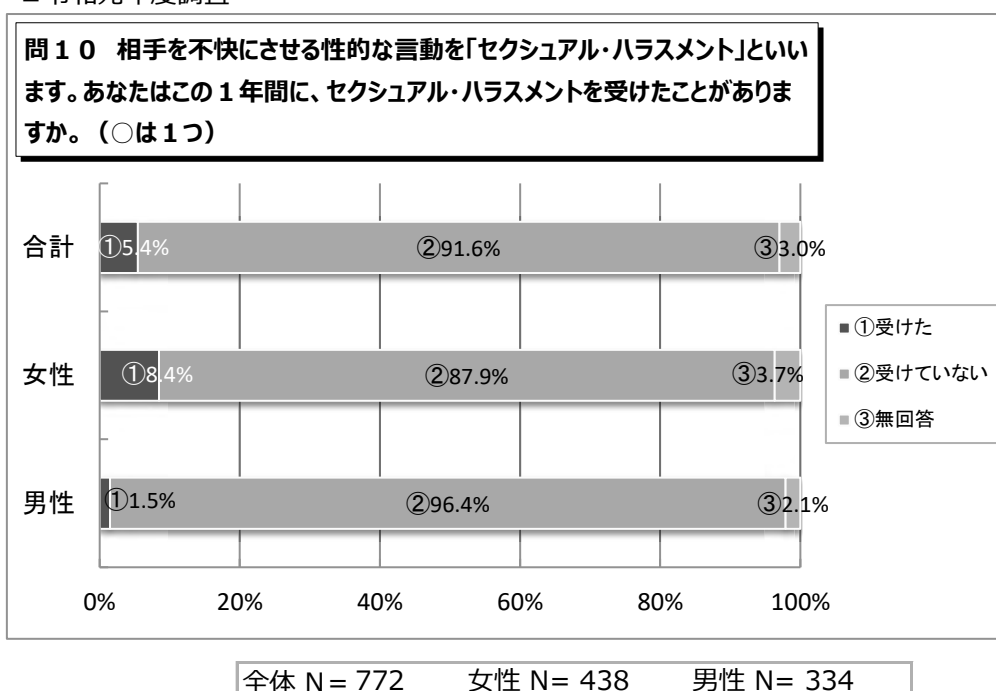
**問9 あなたは、配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（○は3つまで）**



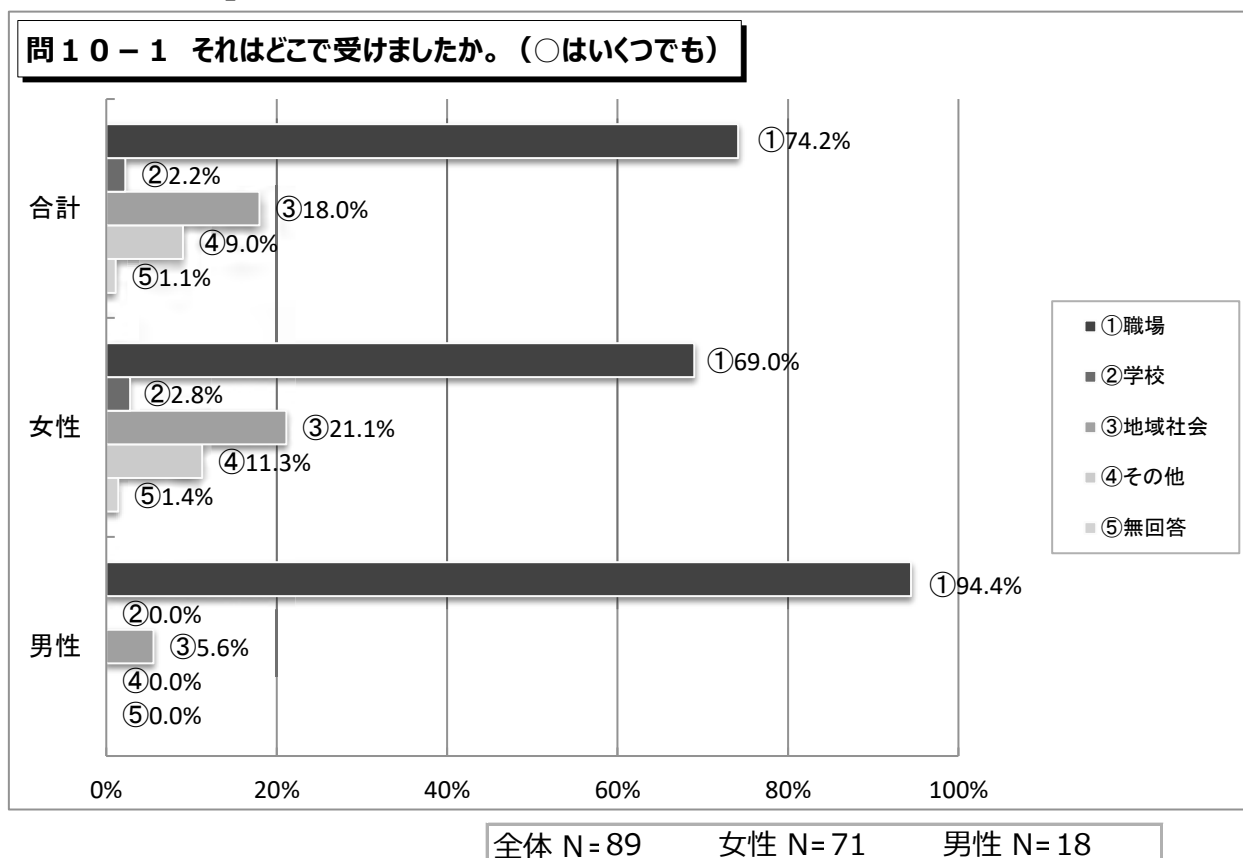
全体 N=613    女性 N=329    男性 N=284



■ 令和元年度調査

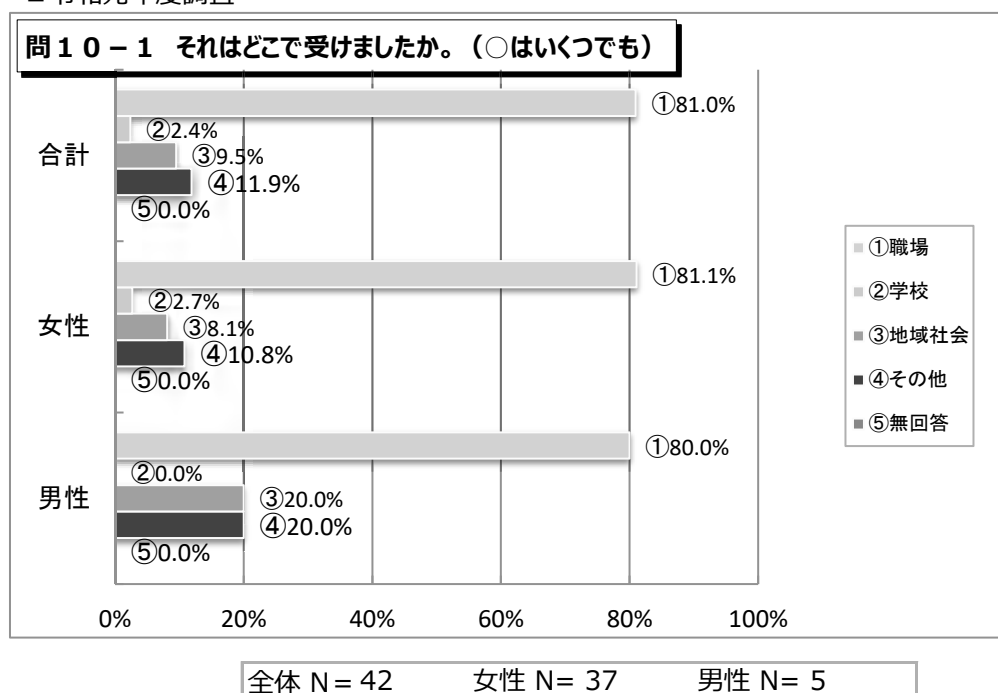


問 10 で「受けた」と回答があった中で

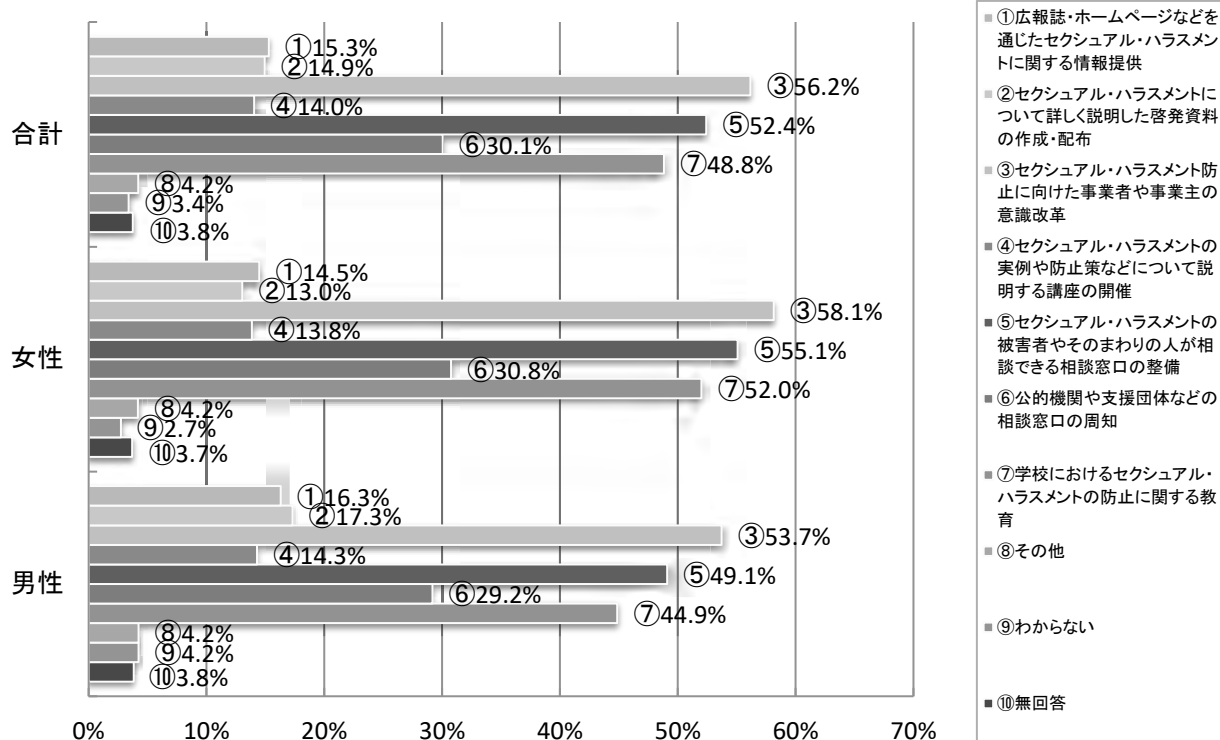


■ 女性、男性とも「職場」でのセクシュアル・ハラスメントの被害経験が多い。

■ 令和元年度調査



**問 1 1 あなたは、セクシュアル・ハラスメントの防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（○は3つまで）**



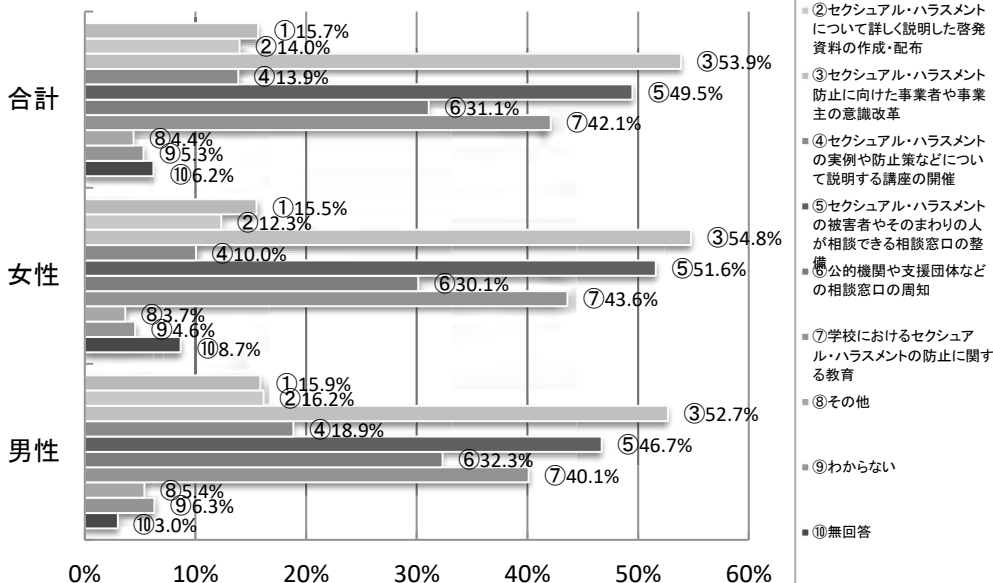
全体 N = 1118 女性 N = 621 男性 N = 497

■セクシュアル・ハラスメントの防止及び被害者支援のために必要なこととしては、「セクシュアル・ハラスメント防止に向けた事業者や事業主の意識改革」という回答が全体で56.2%と最も多い。

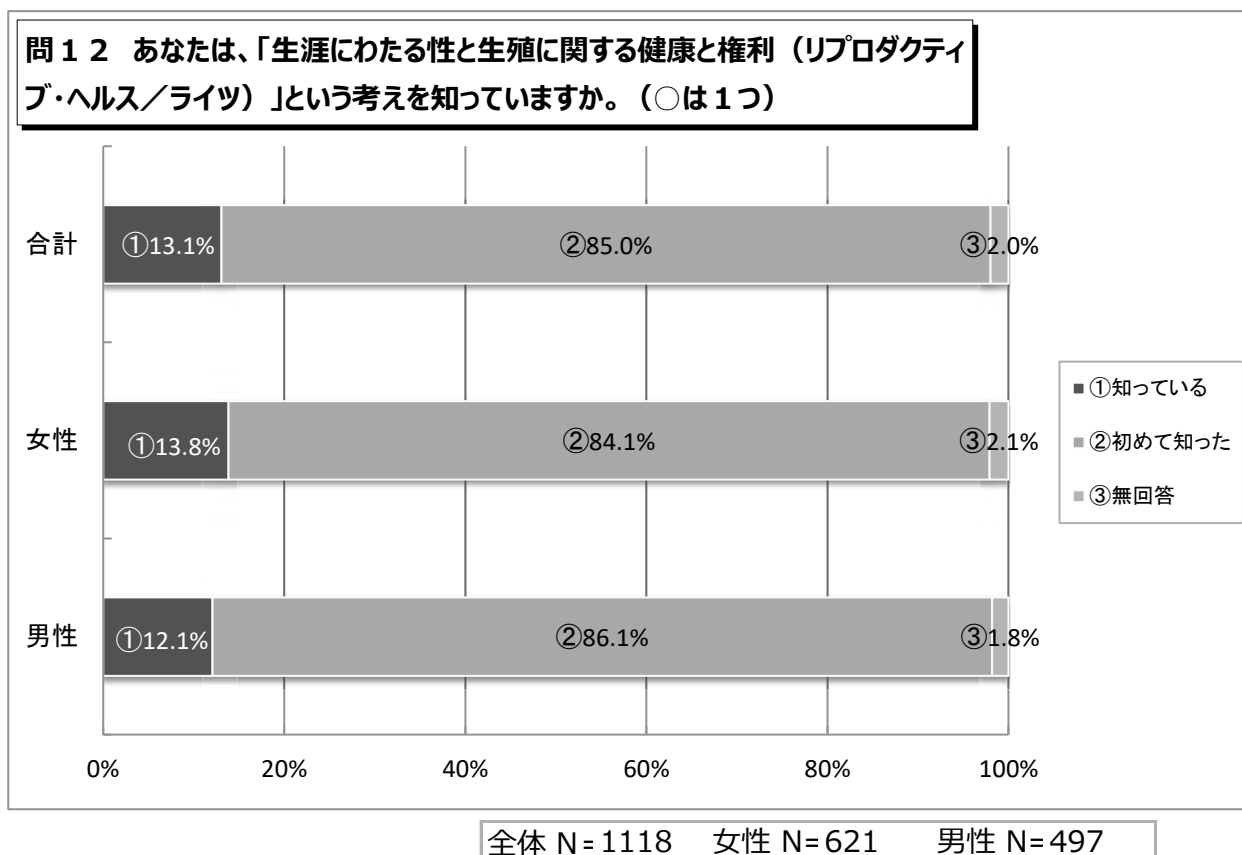
次に「セクシュアル・ハラスメントの被害者やそのまわりの人が相談できる相談窓口の整備」（52.4%）、「学校におけるセクシュアル・ハラスメントの防止に関する教育」（48.8%）と続く。

**■ 令和元年度調査**

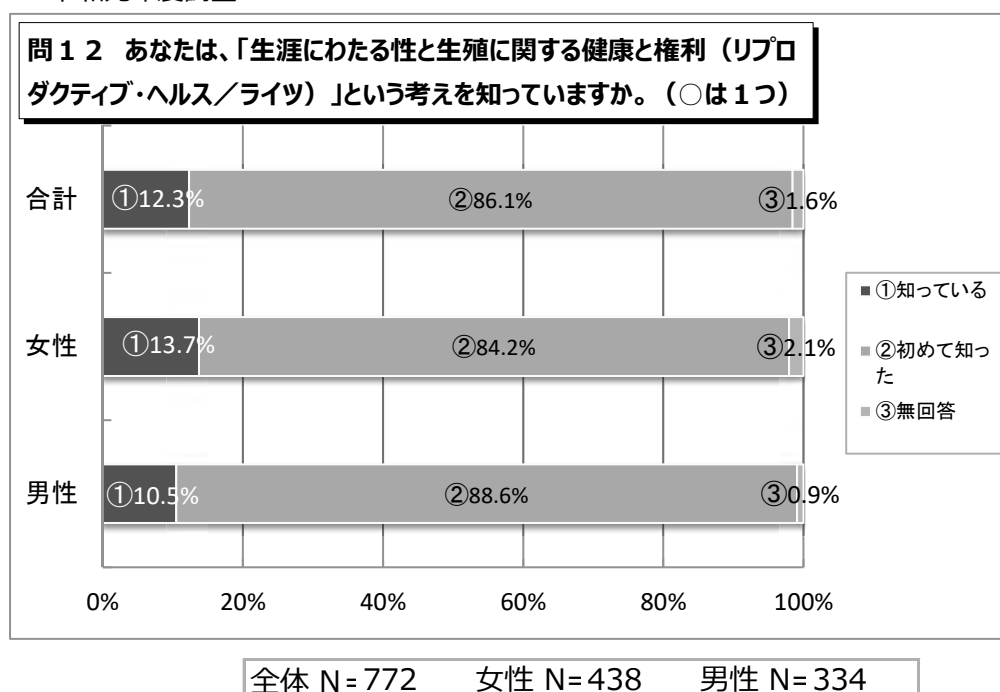
**問 1 1 あなたは、セクシュアル・ハラスメントの防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（○は3つまで）**



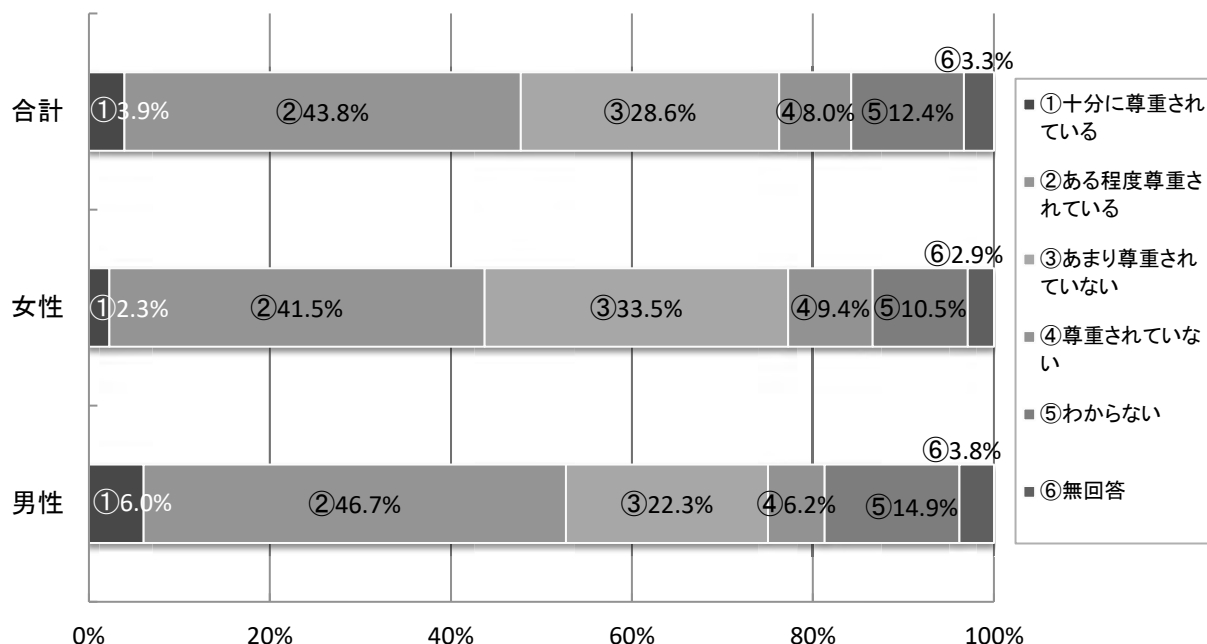
全体 N = 772 女性 N = 438 男性 N = 334



■ 令和元年度調査



**問 1 3 あなたは、問12でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。（○は1つ）**

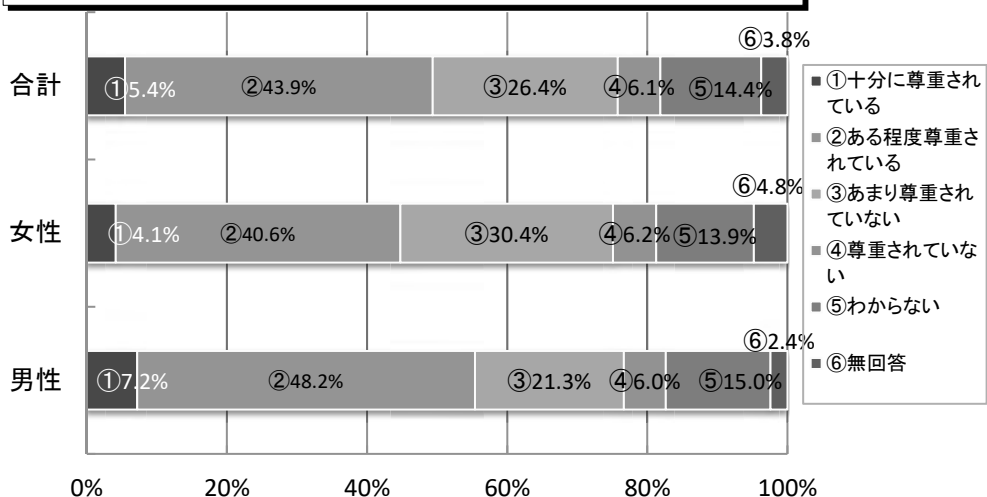


全体 N=1118 女性 N=621 男性 N=497

■妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されているかについて、「あまり尊重されていない」と回答した人は、女性が33.5%、男性が22.3%で、男女差がある。

■令和元年度調査

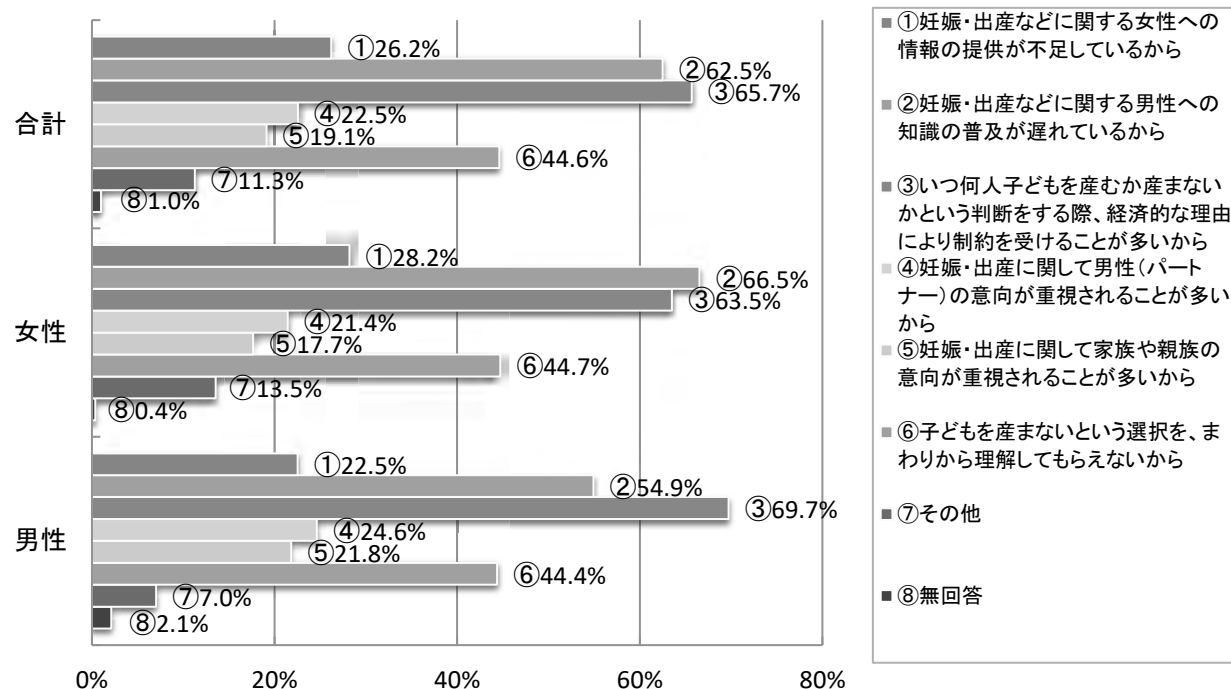
**問 1 3 あなたは、問12でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。（○は1つ）**



全体 N=772 女性 N=438 男性 N=334

問 1 3 で「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と回答があった中で

**問 1 3 - 1 「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）**



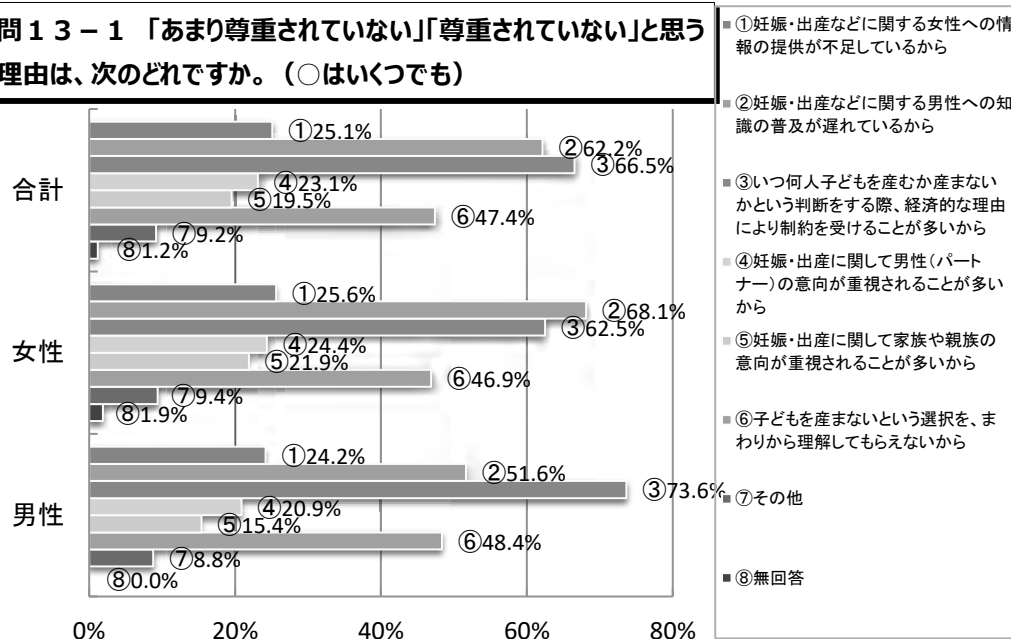
全体 N = 408      女性 N = 266      男性 N = 142

■ 妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由としては、「いつ何人子どもを産むか産まないかという判断をする際、経済的な理由により制約を受けることが多いから」という回答が全体で 65.7%と最も多い。

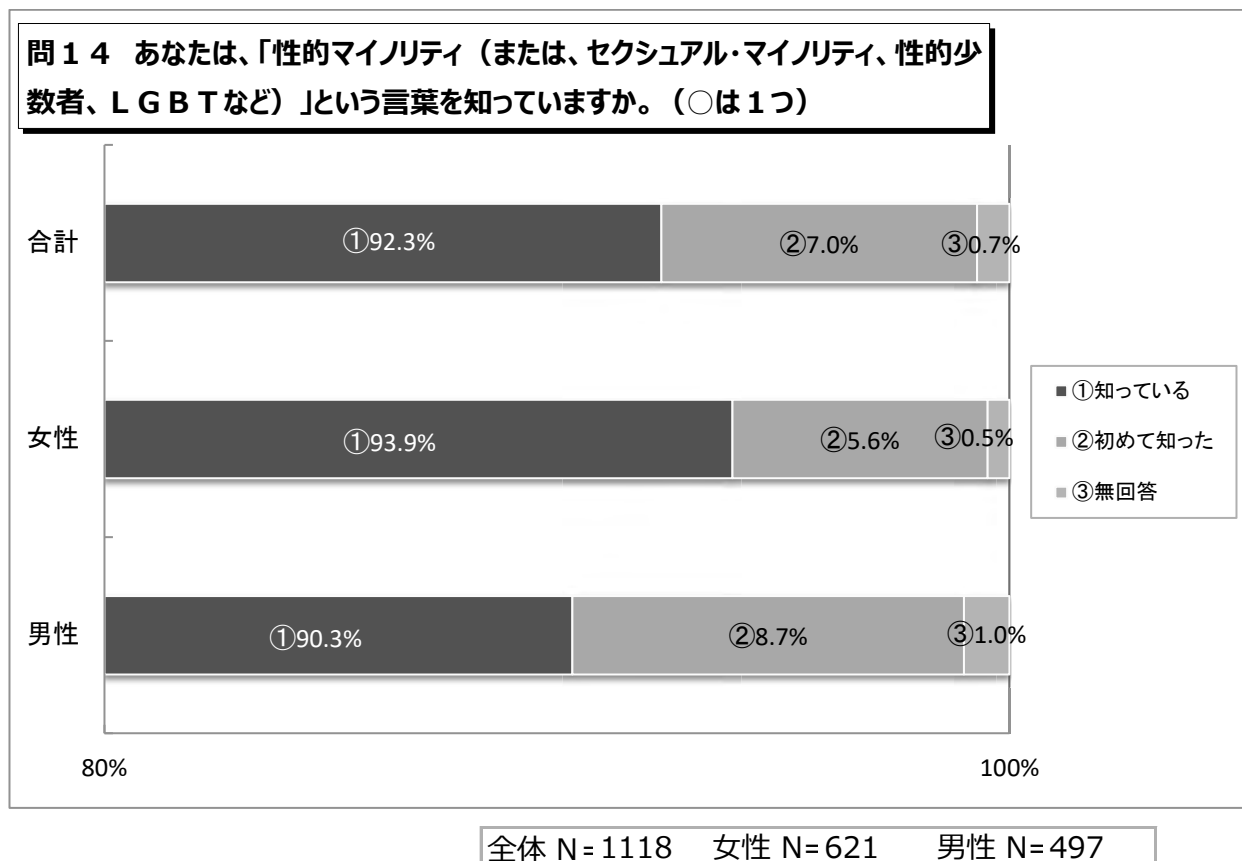
次に「妊娠・出産などに関する男性への知識の普及が遅れているから」（62.5%）、「子どもを産まないという選択を、まわりから理解してもらえないから」（44.6%）と続く。

■ 令和元年度調査

**問 1 3 - 1 「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）**

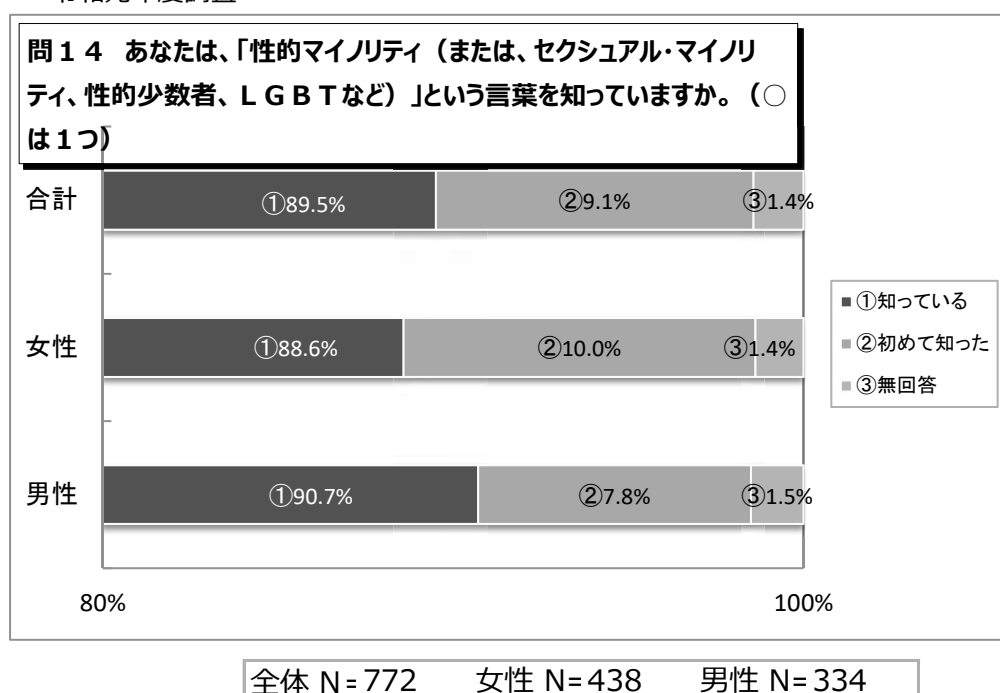


全体 N = 251      女性 N = 160      男性 N = 91

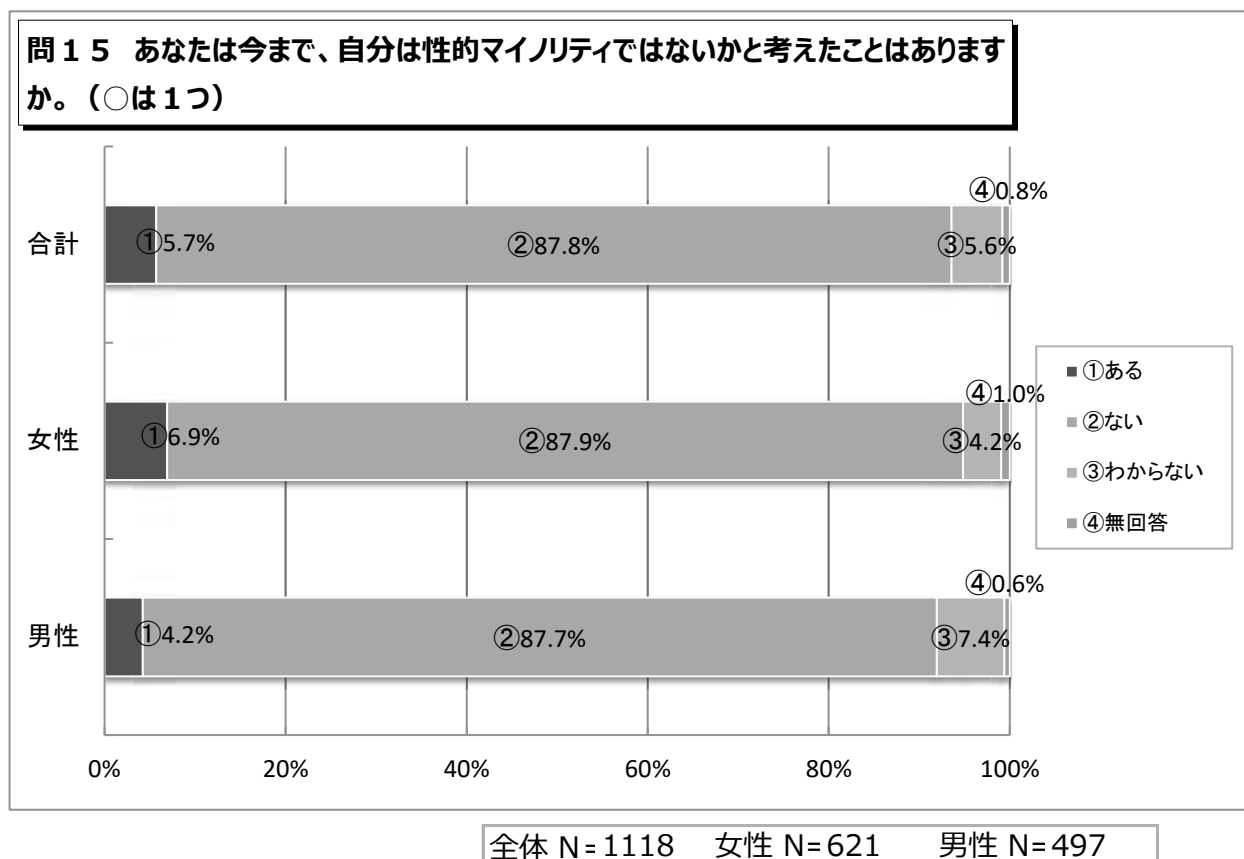


■ 性的マイノリティという言葉を知っているかについて、「知っている」と回答した人は全体で92.3%と多い割合である。

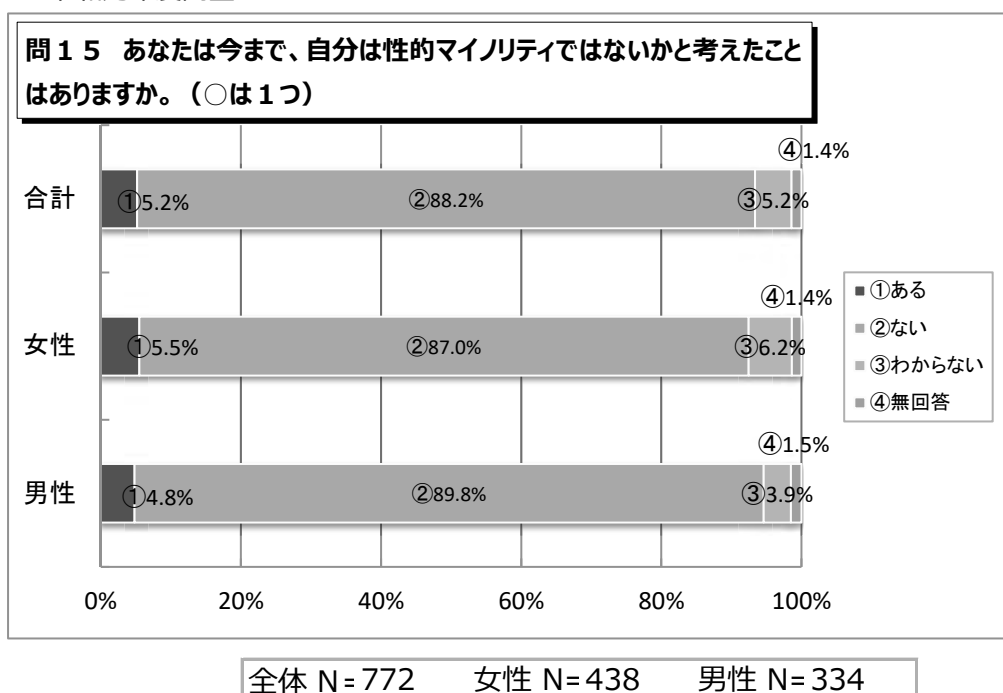
■ 令和元年度調査







■ 令和元年度調査



**問 1 6 あなたは、社会や区がどんな取組を行えば、性的マイノリティの人たちが暮らしやすくなると思いますか。(自由記載)**

<主な意見の内容>

- ・ 性的マイノリティ、性の多様性尊重に関する学校教育の推進、道徳教育、制服の選択の自由化
- ・ 性的マイノリティに関する正しい知識の習得機会の充実
- ・ 性的マイノリティに関する個々人の理解促進、意識改革
- ・ パートナーシップ制度の導入
- ・ 個性の尊重
- ・ 電話・メール・LINE相談窓口の設置、交流会の開催、支援機関の充実、だれでもトイレの増設

■ 令和元年度調査

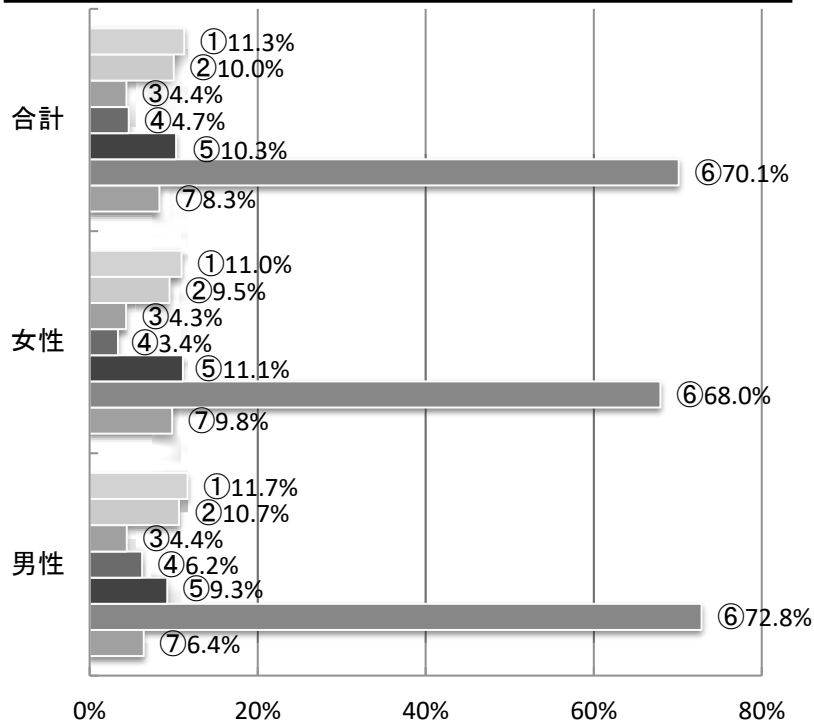
**問 1 6 あなたは、社会や区がどんな取組を行えば、性的マイノリティの人たちが暮らしやすくなると思いますか。(自由記載)**

<主な意見の内容>

- ・ 性的マイノリティに関する教育の推進□
- ・ 性的マイノリティに関する正しい知識の周知や啓発活動の充実□
- ・ 性的マイノリティに関する個々人の理解促進、意識改革□
- ・ 同性婚の法制化または結婚相当の権利保障、自治体による同性同士のパートナーシップ制度の導入□
- ・ 相談窓口の設置や交流の場等の居場所づくり、だれでもトイレの設置

## 【 IV 区の男女平等・共同参画施策 】

問 17 あなたは、目黒区が行っている次の施策や事業を知っていますか。(○はいくつでも)

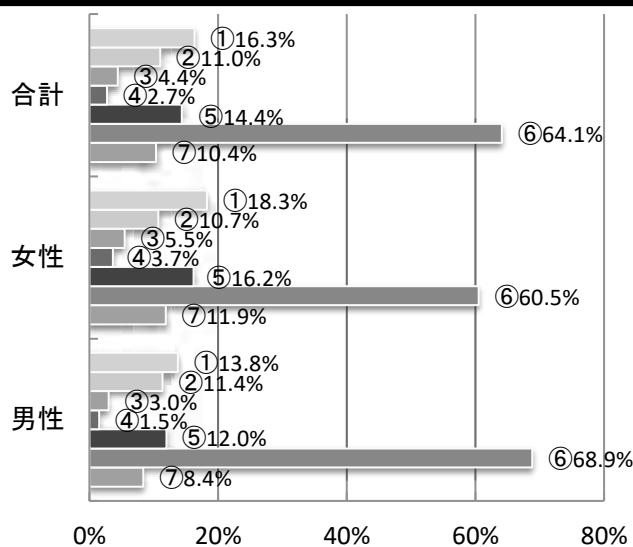


- ①「男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくり条例」を制定していること
- ②「男女平等・共同参画推進計画」に基づき、施策や事業を推進していること
- ③男女平等・共同参画や性の多様性尊重に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、区長の付属機関として「男女平等・共同参画審議会」を設置していること
- ④男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくりの推進を阻害する事項についての区民からの申出等を適切かつ迅速に処理するため、区長の付属機関として「男女平等・共同参画オンブズ(苦情処理機関)」を設置していること
- ⑤「男女平等・共同参画センター」を運営し、各種講座や相談事業を実施していること
- ⑥どれも知らない
- ⑦無回答

全体 N = 1118 女性 N = 621 男性 N = 497

## ■ 令和元年度調査

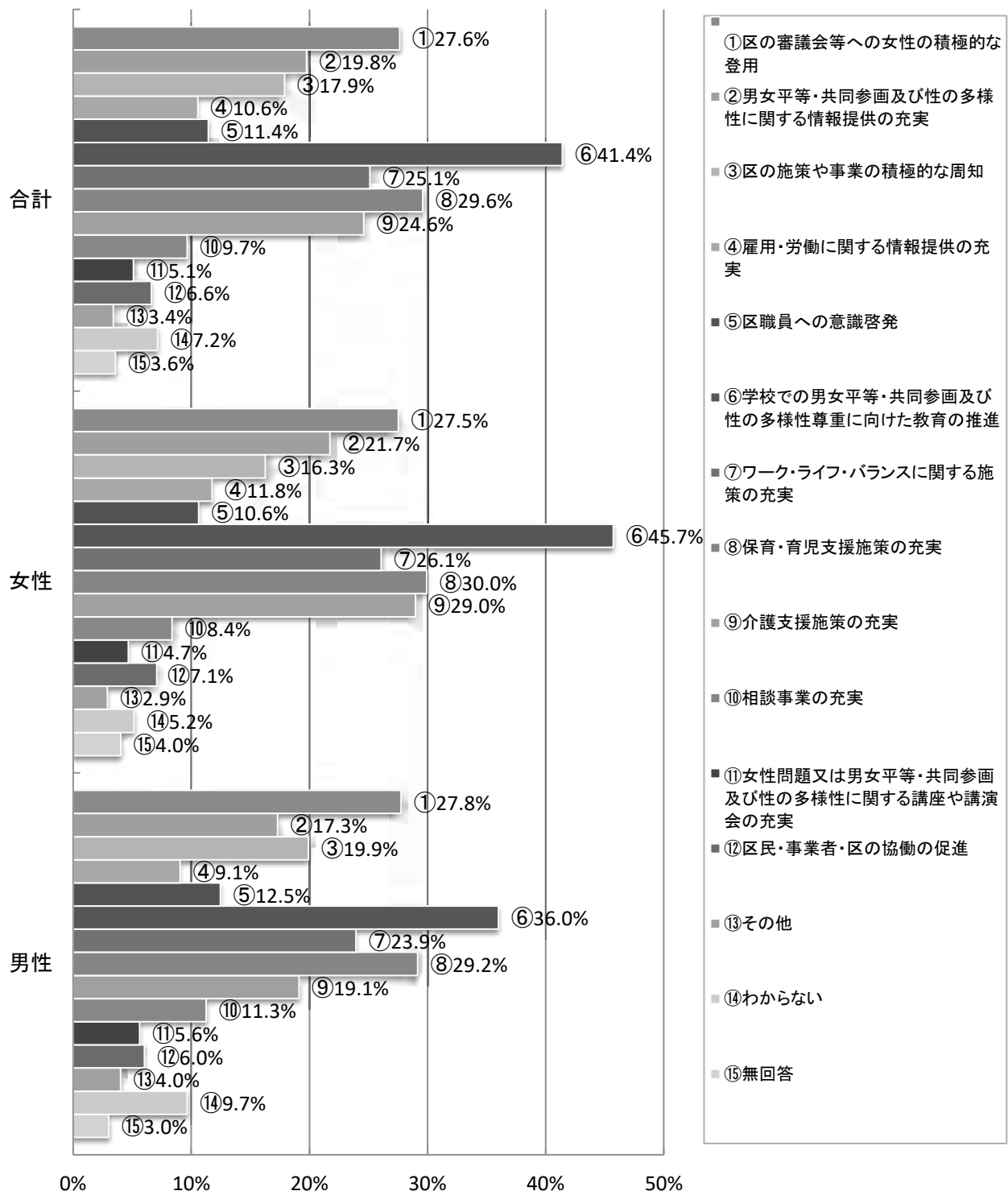
問 17 あなたは、目黒区が行っている次の施策や事業を知っていますか。(○はいくつでも)



- ①「男女が平等に共同参画する社会づくり条例」を制定していること
- ②「男女平等・共同参画推進計画」に基づき、施策や事業を推進していること
- ③男女平等・共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、区長の付属機関として「男女平等・共同参画審議会」を設置していること
- ④男女が平等に共同参画する社会づくりの推進を阻害する事項についての区民からの申出等を適切かつ迅速に処理するため、区長の付属機関として「男女平等・共同参画オンブズ」を設置していること
- ⑤「男女平等・共同参画センター」を運営し、各種講座や相談事業を実施していること
- ⑥どれも知らない
- ⑦無回答

全体 N = 772 女性 N = 438 男性 N = 334

**問 18 あなたは、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（○は3つまで）**

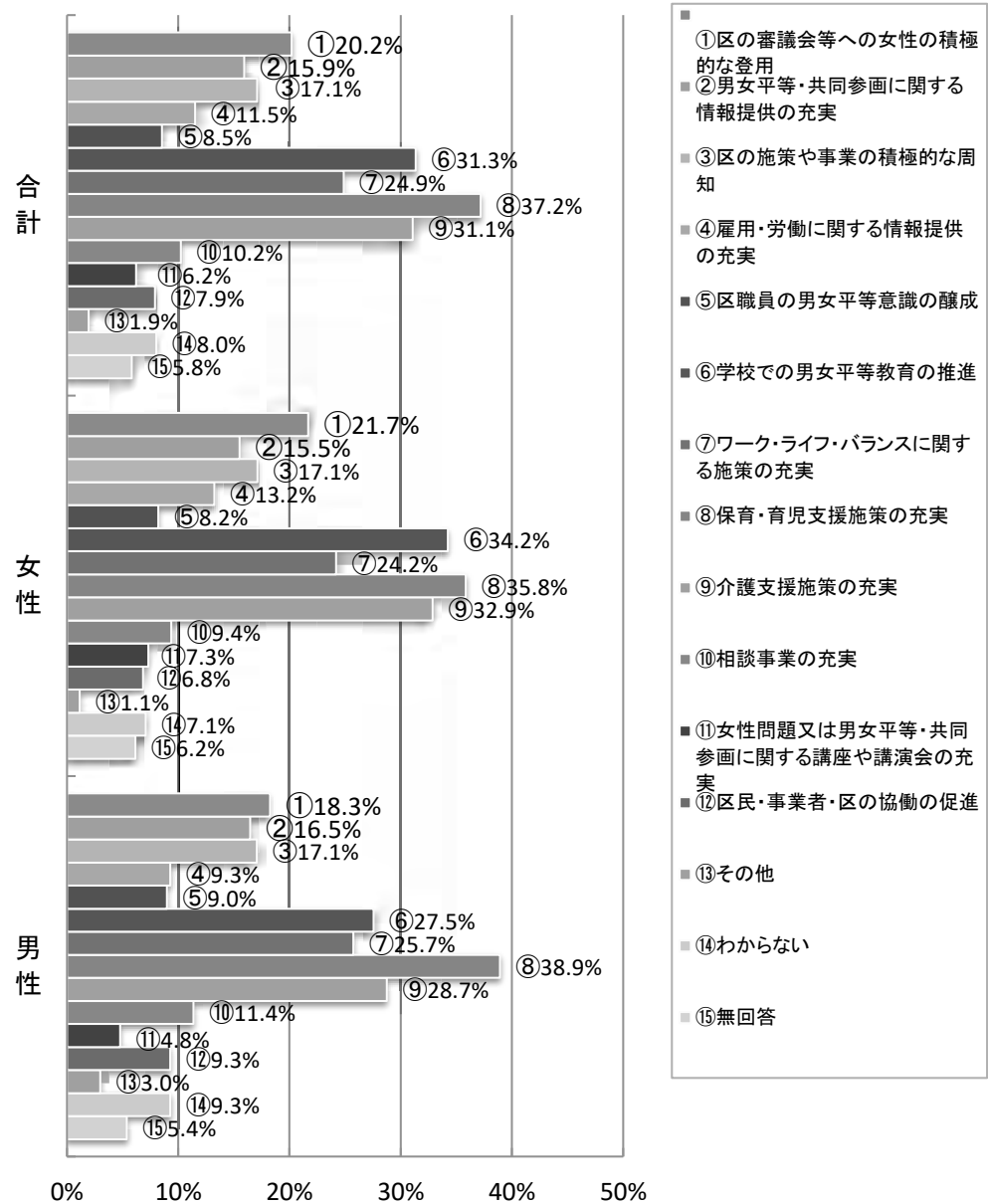


全体 N = 1118    女性 N = 621    男性 N = 497

■男女平等・共同参画を推進するために区が力を入れたらよいこととしては、「学校での男女平等・共同参画及び性の多様性尊重に向けた教育の推進」という回答が全体で41.4%と最も多い。次に「保育・育児支援施策の充実」（29.6%）、「区の審議会等への女性の積極的な登用」（27.6%）、「ワーク・ライフ・バランスに関する施策の充実」（25.1%）と続く。

## ■ 令和元年度調査

**問 18 あなたは、男女平等・共同参画を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（○は3つまで）**

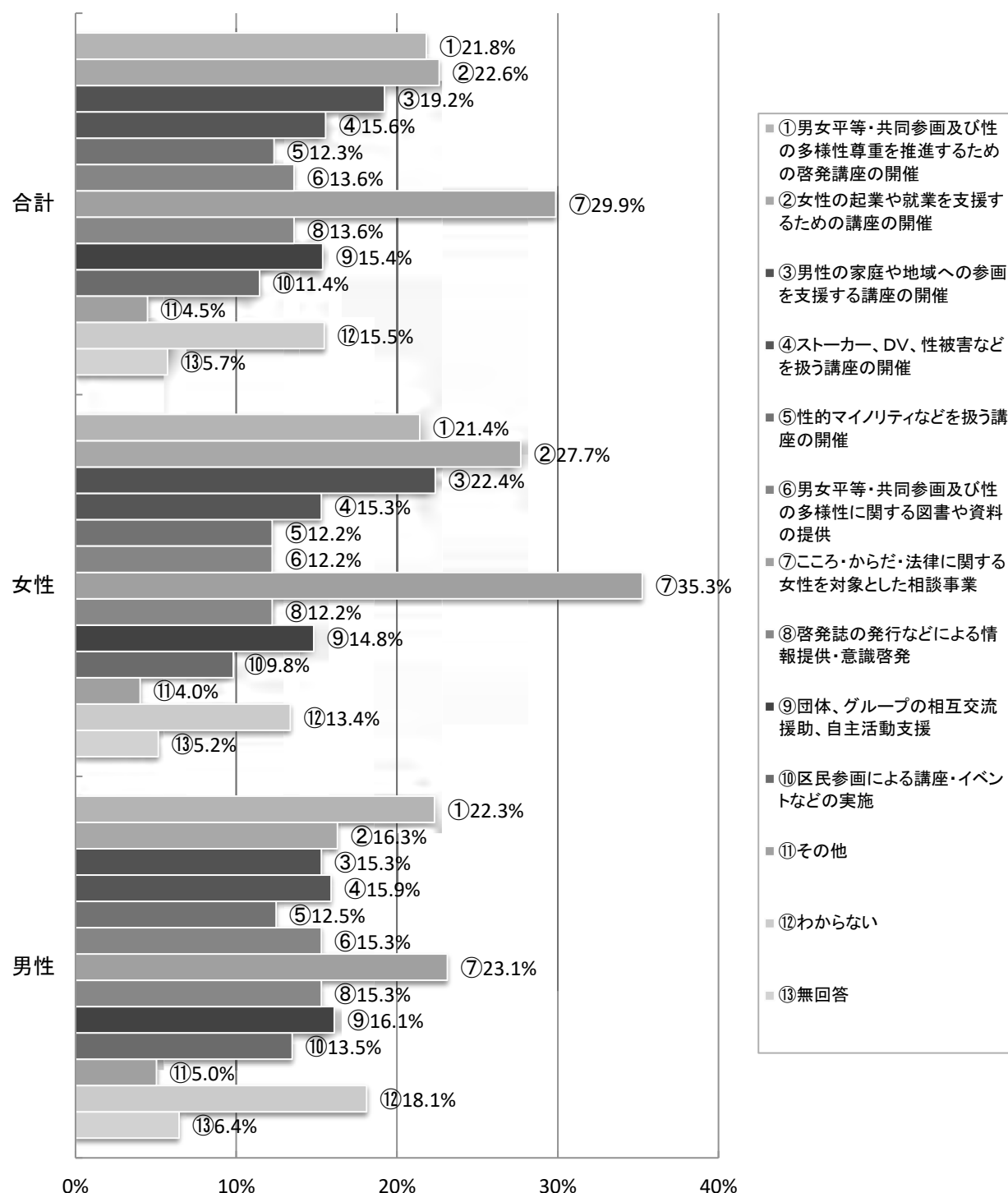


全体 N = 772

女性 N = 438

男性 N = 334

**問 19 目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。（○は3つまで）**



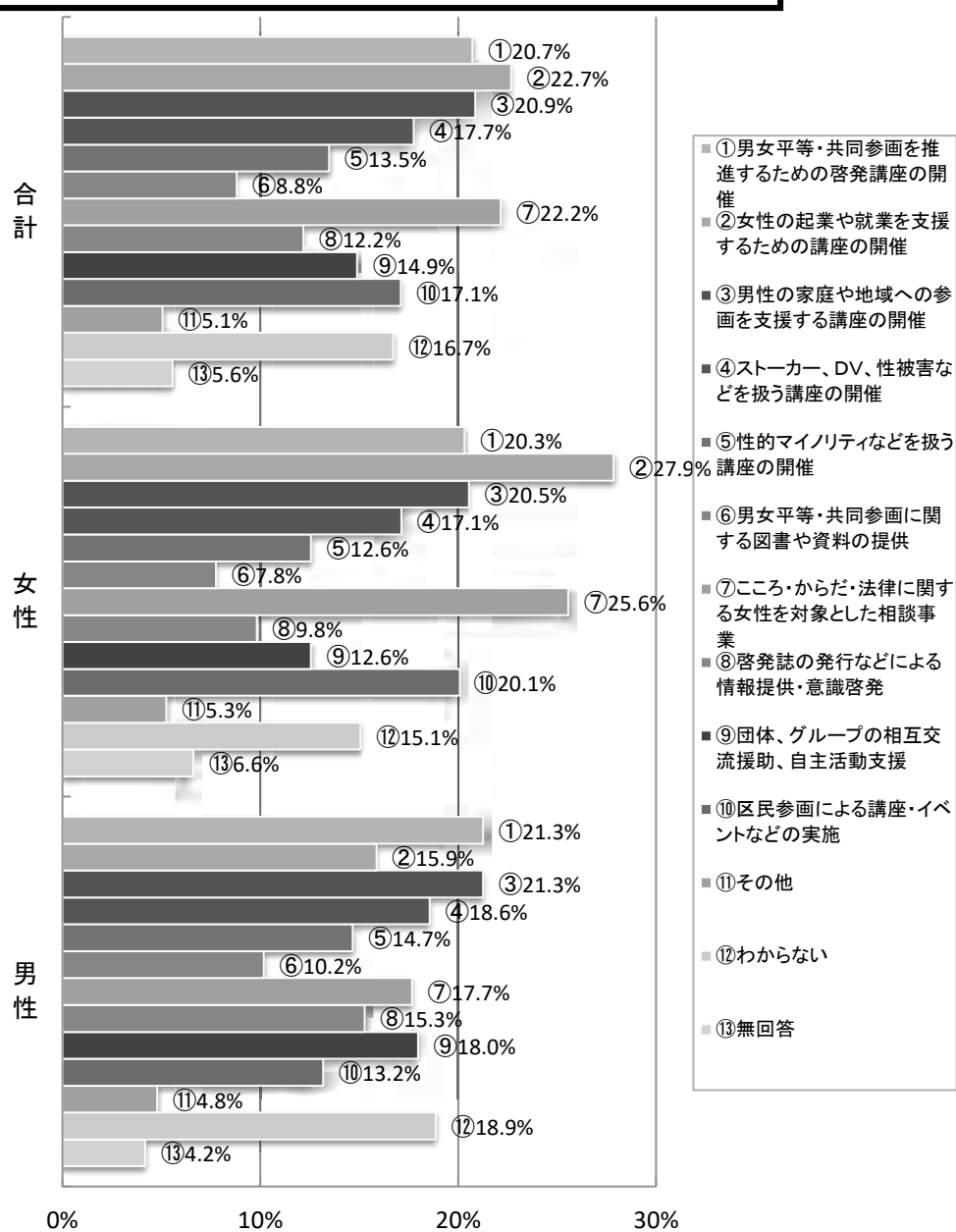
全体 N = 1118    女性 N = 621    男性 N = 497

■ 目黒区男女平等・共同参画センターで実施する事業のうち区が力を入れたらよいものとしては、「こころ・からだ・法律に関する女性を対象とした相談事業」という回答が全体で29.9%と最も多い。

次に「女性の起業や就職を支援するための講座の開催」（22.6%）、「男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するための啓発講座の開催」（21.8%）、「男性の家庭や地域への参画を支援する講座の開催」（19.2%）、と続く。

## ■ 令和元年度調査

**問 19 目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。（○は3つまで）**



全体 N = 772

女性 N = 438

男性 N = 334